’26
（令和 8 年度）

久 留 米 大 学
医学部医学科シラバス
（医学教育カリキュラム）

第 1 学年 ～ 第 6 学年



久留米大学建学の精神

「国手の矜持（ほこり）は常に仁なり」

「諸君が将来医者になって，余暇に山登りをしたとする。途中の一軒家に病に苦しむ老婆の声がある。君ならどうする。その時，そしらぬ顔してゆくか，専門が違うとか，診断の器具がないからと，逃げるか。それでは医者ではない。聴診器がなくとも，薬がなくとも，手があり，目があり，口があるじゃないか，そばに行って少しでもその苦痛を和らげるのが本当の医者だ。」（久留米大学五十年史概説より）
これは，1928年に設立された久留米大学の前身，九州医学専門学校での伊東祐彦校長の第１回講義での話として，医師を目指す学生の胸に深く刻まれ，本学の建学の精神の土台となりました。

「国手」は本来名医の意味で使われますが，「国中ですぐれた名人」（『大漢和辞典』）の意味があり，全学的に通じる言葉です。「矜持」は自信と誇りを持ち，自身を抑制しながら堂々と振る舞うことで，北原白秋はこれに「ほこり」と読みをつけています。「仁」は「礼にもとづく自己抑制と他者への思いやり」（『広辞苑』第五版）を意味しています。

「国手の矜持（ほこり）は常に仁なり」は北原白秋により作詞された，九州医学専門学校の校歌の一節です。

久留米大学基本理念

久留米大学は，真理と正義を探求し，人間愛と人間尊重を希求して，高い理想をもった人間性豊かな実践的人材の育成を目指すとともに，地域文化に光を与え，その輝きを世界に伝え，人類の平和に貢献することを使命とする。

医学部医学科理念

「国手の理想は常に仁なり」

本学医学部医学科は，医学科理念　「国手の理想は常に仁なり」のもと，時代や社会，そして地域の多様なニーズに対応できる実践的でヒューマニズムに富む医師を育成するとともに，高水準の医療や最先端の研究を推進する人材を育成する。

医学科の使命（ミッション）

地域医療を担う，患者に寄り添い高度な医療を実践できる医師の養成

⑴　人間性

患者・家族・医療者を含めたチームにおいて，他者への思いやりと協調性を大切にする信頼される人間性を育てる。

⑵　医　療

多様な医療情報を統合し，論理的思考をもって地域から国際社会に至るまで健康増進と医療の両面で活躍できる，患者・地域・時代に適した医療者を育てる。

⑶　研　究

自ら未解決の課題を見いだし，医学の発展に寄与することを目指して主体的に研究を遂行し得る能力を醸成する。

医学部医学科学修目標

学修目標（三大目標）

⑴　医師や研究者として職責を果たすのに必要な知識と技能を修得する。

⑵　患者に寄り添うとともにチーム医療の実践に必要な態度と習慣を身に付ける。

⑶　時代や社会，そして地域の多様なニーズに対応できる人間性と良識を身に付ける。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

本学医学部医学科は，学修目標（三大目標）すなわち，医師や研究者として職責を果たすのに必要な知識と技能および患者に寄り添い同僚と助け合うのに必要な態度と習慣が身につき，かつ時代や社会のニーズに対応するのに必要な人間性と良識が涵養されたことが，厳格な判定によって確認された場合に学士を授与します。

具体的には，以下のような項目について判定します。

⑴　地域医療に貢献できる知識と技能水準を備えている。

⑵　医師として必要な人間性・プロフェッショナリズムを備えている。

⑶　医師として必要なコミュニケーション能力を備えている。

⑷　生涯にわたり学修を継続する姿勢・能力を備えている。

⑸　医学・医療の国際化に対応し交流する能力を備えている。

学修成果（卒業時コンピテンシー）

1．地域のニーズに貢献できる広範な医学的知識を持ち予防医療を推進する臨床技能を備えている

⑴　地域の疾病構造，医療環境，疾病予防や健康増進を科学的に理解し医療に結び付けることができる。

⑵　社会が求める医学・医療水準を担保した臨床医学の知識と技能を修得し，医療面接や身体診察を行うことができる。

⑶　患者の病態と重症度を把握し，検査計画や鑑別診断を行うことができる。

⑷　患者情報とエビデンスを統合し，診療録作成や説明を行うことができる。

⑸　患者・家族の価値観や心理的社会的背景に配慮できる。

⑹　医療のリスクを理解したうえで安全な医療（医行為）を提供できる。

2．医師として高い倫理観，責任感を持ち幅広い教養と豊かな人間性を備えている

⑴　医師として必要な良心・利他の心・謙虚さをもってプロフェッショナルとして行動できる。

⑵　誠実さ・責任感を持って行動できる。

⑶　社会人としての良識を持ち，コンプライアンスのある行動ができる。

⑷　協同の精神をもって生涯にわたり指導を受け入れ自己研鑽に努めることができる。

⑸　人文・社会・自然科学の幅広い知識と一般教養に基づいた医療行為ができる。

⑹　医療に関わる多職種の役割を理解し，チーム医療を実践できる。

3．患者家族に寄り添い，多職種，異分野，異文化の人々とコミュニケーションする能力を備えている

⑴　患者・家族を思いやり，苦痛や不安に共感できる。

⑵　国籍・人種・宗教・信条・習慣の多様性に配慮し対応できる。

⑶　患者・家族・医療スタッフを含めた患者中心のチーム医療に参加し良好な関係を構築できる。

⑷　自分の考えを分かりやすく他者に説明できる。

4．最新医療知識・技能をアップデートし，自ら課題を見つけて医療・研究を実践していく能力を備えている

⑴　自ら疑問を持ち論理的思考により議論を通じて課題を解決できる。

⑵　国内外の EBM に基づく科学的な情報を常に収集し精査できる。

5．英語力を備え，国際社会に目を向けようとする意欲を持っている

⑴　地球規模の健康問題や医療事情を理解できる。

⑵　日本語以外の言語（少なくとも英語）を用い医療現場で交流できる。

カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

⑴　地域医療に貢献できる知識と技能水準を備えるために

・社会のニーズや医療情勢を知るために社会医学や行動科学に関する科目を提供する。

・診療や研究に従事する教員が専門領域における最新情報を提供する。
基本的な診療技能を修得後，初期臨床研修にスムーズに移行するための診療科別臨床実習を施行する。

・疾患の病態や患者の診察を理解するための基礎医学と診療科別の臨床医学を充実させ，臨床実習前訓練において両者の補足を行い，問題解決能力を修得するための診療参加型実習を充実させる。

・患者情報と科学的根拠（エビデンス）を統合し，診療録の作成および患者・家族への説明を適切に行えるよう，EBM 教育，診療録作成演習，診療実習を体系的に組み込んだカリキュラムを編成する。

・多様な患者・家族の背景を考慮した医療を提供する姿勢を身に付けるため，診療参加型臨床実習を充実させる。

・指導医の適切な監視・指導の下に医療安全を担保した医行為の訓練を行うことのできる臨床実習体制を提供する。

⑵　医師として必要な人間性・プロフェッショナリズムを備えるために

・医療プロフェッショナリズム，協同学習，医学入門実習，施設体験学習など，関連する科目間の連携をユニット化し，プロフェッショナリズムの学修を継続的に支援する。プロフェッショナル学修は臨床実習においても継続する。

・アクティブラーニングを支援する周辺環境を整備し充実させ，仲間と学び合う協同学習の機会を設ける。

・幅広い知識と自主学習の技能を習得するよう，多彩な一般教養科目を設定する。

・大学病院や教育関連病院においてチーム医療や多職種連携を体験できるよう，診療参加型実習を充実させる。

⑶　医師として必要なコミュニケーション能力を備えるために

・診療参加型臨床実習を通して，多様な患者・家族の背景を考慮した医療を提供する姿勢を学ぶ。

・医療や介護のコミュニケーションの現場を早期から知るために医学入門や施設体験実習を提供する。

・低学年の協同学習や基礎医学実習，臨床実習での症例発表を通じて，相手に分かりやすく伝えるプレゼンテーション能力を養成する。

⑷　生涯にわたり学修を継続する姿勢・能力を備えるために

・科学的探究心を育むために研究室配属実習を設定する。

・診療参加型実習を通して，EBM に基づいた情報と患者の状態を考慮した検査・治療方針を学ぶ機会を提供する。

⑸　医学・医療の国際化に対応し交流する能力を備えるために

・医療概説や社会医学において，地球・世界規模の健康問題や医療事情を提供する。

・２年次から４年次にわたり継続的に医学英語の学修機会を提供し，現場で使用される医学英語に慣れるとともに，必要な情報を英語で伝える力を育成する。
さらに，研究室配属やクリニカルクラークシップにおける海外との双方向性の学生交流の場を提供しグローバルな人材を育成する。

アセスメントポリシー

ディプロマポリシーで示した知識・技能・態度の到達度判定の方針を以下に定める。

⑴　知識

①各授業科目の到達目標は担当講座が定める。各科目責任者は到達目標に準拠して評価内容を示し，適宜，形成的な評価を加えながら，最終的に筆記試験によってその到達度をはかる。

②各学年の総合的な知識の到達度を総合試験（筆記試験）により判定する。

⑵　技能

基礎医学実習における実験手技，また医学入門実習や臨床実習において医行為について形成的に評価する。また医行為の総括的評価として共用機構の OSCE（４年，６年）を行う。

⑶　態度

態度評価は１年生から６年生まで行動規範に準拠して作成された態度評価表によって行う。医学生のプロフェッショナリズムを逸脱する行動については，その事象が起こるたびに形成的に学生にフィードバックする。逸脱する行動の繰り返しや逸脱の程度が大きいものについてはプロフェッショナリズム部会の判断を仰ぐ。

※上記の判定結果については態度指導表を用いて本人に通知する。個々の判定についての異議を受けつける。判定評価については随時，教務委員会で協議される。

●学年別到達目標

１年　よき医師として医道を究めるための基礎を形成する。
２年　人体と生命について深く理解する。
３年　人の心と体の疾病と治療について深く理解する。
４年　患者中心の視点と医師の社会的役割を理解し身につける。
５年　診療技能とコミュニケーション能力を身につけ臨床実習で実践する。
６年　臨床推論技法を活用し，臨床医としての基本を固める。

●学年別到達度評価

１年　医学を学ぶ基本についての学習成果を確認する。
２年　基礎医学を修得し，臨床医学への準備ができていることを確認する。
３年　診療に必要な臨床医学についての学習成果を確認する。
４年　臨床実習開始に必要な医療についての学習成果を確認する。
５年　診療参加実習で得た知識と経験を自ら応用できることを確認する。
６年　医師としての基礎を獲得できたことを確認する。

※各ポリシーの対応表については，電子シラバス（Hondana）を参照のこと。
Hondana／教務関係／医学科／医学科教務課（全学年）

目　　次

久留米大学建学の精神・久留米大学基本理念…… 1
医学部医学科理念・医学科の使命（ミッション）・医学部医学科学修目標 …… 2
ディプロマポリシー（学位授与の方針）…… 3
学修成果（卒業時コンピテンシー）…… 4
カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針）…… 5
アセスメントポリシー，学年別到達目標，学年別到達度評価…… 6
目次…… 7
履修及び試験に関する細則（医学部医学科）…… 9
2026年度（令和８年度）学年暦…… 11
2026年度（令和８年度）七曜表…… 13
医学部医学科における評価について…… 14
学生の行動・態度評価について…… 17
臨床実習における学生の行動・態度評価について…… 20
学内・外実習時の心得…… 22
定期試験・各科試験…… 23
電子シラバス（Hondana）について…… 24
科目評価について…… 24
講義・実習における出席確認について…… 25
研究室体験実習について…… 25
総合医学・医療プログラムについて…… 26
第１学年…… 27
　第１学年の学修…… 29
　授業時間割…… 30
　第１学年授業科目，担当者・総括責任者及び単位数…… 38
　第１学年授業期間（受験資格の出欠算出期間）及び試験実施時期一覧表…… 39
　授業科目・単位・履修方法・試験について…… 40
　試験日程及び進級基準…… 43
第２学年…… 45
　第２学年の学修…… 47
　授業時間割…… 48
　第２学年授業期間（受験資格の出欠算出期間）及び試験実施時期一覧表…… 56
　授業科目及び時間数（専門科目）…… 57
　試験日程及び進級基準…… 58

第３学年…… 59
第３学年の学修…… 61
授業時間割…… 62
第３学年授業期間（受験資格の出欠算出期間）及び試験実施時期一覧表…… 71
授業科目及び時間数（専門科目）…… 72
試験日程及び進級基準…… 73
第４学年…… 75
第４学年の学修…… 77
授業時間割…… 78
第４学年授業期間（受験資格の出欠算出期間）及び試験実施時期一覧表…… 83
授業科目及び時間数（専門科目）…… 84
試験日程及び進級基準…… 85
クリニカル・クラークシップ履修時間割…… 86
第５年生…… 89
第５学年の学修…… 91
試験日程・評価及び進級基準…… 92
クリニカル・クラークシップ履修時間割…… 94
第６年生…… 97
第６学年の学修…… 99
試験日程・評価及び卒業基準…… 100
クリニカル・クラークシップ履修時間割…… 102
卒前医学総合講義授業時間割…… 103
クリニカル・クラークシップ…… 105
・このクリカル・クラークシップで何を学ぶか…… 107
・授業科目及び時間数（専門科目）…… 108
・クリニカル・クラークシップ実施要項…… 109
・クリニカル・クラークシップ中の医行為について…… 113
・クリニカル・クラークシップ検査・処置マニュアル…… 115
・学生の針刺し・切創・体液曝露時対応マニュアル（簡易版）…… 118
履修系統図（2022年度入学生から実施）【改訂版】 …… 121
履修系統図（2018年度入学生から実施）…… 122
ナンバリング一覧…… 123
実務経験のある教員等による授業科目…… 127
オフィスアワー…… 129
緊急連絡網…… 141
シラバス受領および内容確認証…… 143

○履修及び試験に関する細則（医学部医学科）

〔昭和52年２月12日
細則　第51－３号〕

（目的）

第１条　医学部規則第６条・第７条・第８条・及び第９条に基づき，医学部医学科の教育課程の履修，試験，進級，卒業及び留年に関する事項は，この細則に定める。

（試験の種類及び実施時期）

第２条　医学部規則第７条第２項に規定する試験は，原則として，次のとおりとする。

⑴　定期試験　学期末又は学年末に実施する。

⑵　各科試験　各科目の授業完了後実施する。

⑶　中間試験　必要ある場合，学期又は学年の中途に実施する。

⑷　総合試験　必要ある場合，実施する。

⑸　追 試 験　第７条に定める正当な理由又は傷病により，中間試験又は定期試験を受験できなかった者は，その試験終了後に実施する。

⑹　再 試 験　定期試験不合格者には当該科目につき原則として１回に限り実施する。ただし，追試験不合格者には再試験を実施しない。

⑺　卒業試験　本細則第10条による。

２　実験については，追・再試験を実施しない。

（追・再試験料）

第３条　追・再試験を受けようとする者は，あらかじめ，所定の届け出を行わなければならない。

２　再試験を受けようとする者は，１科目につき，4,000円を納入しなければならない。

（試験の方法）

第４条　試験の方法については，授業担当者に一任する。

（受験に関する不正行為）

第５条　受験中に不正行為を行った者には，当該期間の試験の全科目を無効とする。

２　特に悪質の不正行為を行った者は，学則により懲戒する。

（試験日）

第６条　試験の期日及び時間割は，原則として，実施の１週間前までに発表する。

（受験資格）

第７条　各科目につき，授業毎に出欠を調べ講義回数の１／３以上，実験及び実習回数の１／４以上欠席した者には，受験資格を与えない。ただし，次に定める理由による欠席回数については，届け出を行った場合は，特別に考慮する。

⑴　本人が結婚するとき　　7日

⑵　忌引

　　1親等の血族及び配偶者　　7日

　　2親等の血族及び2親等内の姻族　　3日

　　3親等の血族及び姻族　　2日

⑶　法令・天災・その他本人の責に帰することのできない理由によって災害を受け，又は交通を遮断されるなどの場合

⑷　その他，事前に医学部長の承認を得た場合

（試験の成績及び評価）

第8条　各科目の試験成績の評価は，ＡＡ（100点～90点），Ａ（89点～80点），Ｂ（79点～70点），Ｃ（69点～60点）及びＤ（60点未満）とし，Ｃ以上を合格とする。

2　追試験及び再試験の合格は，Ｃ（60点）とする。ただし，法令等による出席停止に伴う追試験は，本試験と同様に評価する。

（進級）

第9条　医学部規則第8条に規定する進級の認定は，医学部医学科教授会議（以下「教授会議」という。）において行う。その進級の認定は，次の基準による。

⑴　1年次で次の条件を満たした者

　　必修科目の37単位を修得し，かつ，選択必修科目から2単位，選択科目から3単位以上を修得しなければならない。

⑵　2年次から5年次までは，別に定める進級基準を満たした者

2　前項の進級基準は，教授会議において決定し，年度始めに明示する。

（卒業認定の基準）

第10条　医学部規則第9条に規定する卒業の認定は，6年以上在学し卒業試験合格を基準とする。卒業基準は，教授会議において決定し，年度始めに明示する。

2　卒業試験の細部については，教授会議において定める。

（留年）

第11条　第9条及び第10条の基準に該当しない者は留年とし，再度その学年の取得すべき全科目を受講受験し，その単位を取得または合格しなければならない。

（卒業成績）

第12条　卒業成績は，一般科目及び専門科目の授業科目の総合成績とする。

附　則

この細則は，令和4年4月1日から施行する。

2026年度（令和８年度）学年暦

第　　1　　学　　期				
4月	2	木	入学式	
	3	金	授業開始（２・３・４・５・６年）	
			学年オリエンテーションを行う	
	3	金	新入生オリエンテーション（４／３～４／７）	合同学習会（４年）（４～７月）
	6	月	学友会主催新入生歓迎会及びクラブ紹介	
	7	火	健康診断・胸部Ｘ線検査（４・５・６年）	
	8	水	授業開始（１年）	
	8	水	健康診断・胸部Ｘ線検査（３・５・６年）	国試対策特別講義（６年）（未定）
	9	木	抗体価測定検査（１年）	
	9	木	健康診断・胸部Ｘ線検査（２・５・６年）	
	10	金	健康診断・胸部Ｘ線検査（１・５・６年）	
	29	水	昭和の日	
	30	木	休講（１・２・３・４年）	
5月	1	金	休講（１・２・３・４年）	
	3	日	憲法記念日	第65回九州・山口医科学生体育大会
	4	月	みどりの日	日　程　（４月上旬～５月中旬）
	5	火	こどもの日	主管校　山口大学
	6	水	振替休日	
	13	水	ワクチン接種１回目①（１年）	
	15	金	ワクチン接種１回目②（１年）	
	26	火	りんどう会総会・解剖体慰霊祭	
6月	10	水	ワクチン接種２回目①（１年）	集中講義（５年）（６／６～６／７）
	17	水	ワクチン接種２回目②（１年）	
7月	4	土	メディックメディア模擬試験（６年）	
	5	日	メディックメディア模擬試験（６年）	
	8	水	授業終了（４年）	
	9	木	補充講義（１年）	
	10	金	補充講義（１年）	
	10	金	授業終了（１・２・３・６年）	
	11	土	夏季休暇開始（６年）	
	13	月	試験週間開始【本試】（１・２年）	
	13	月	試験開始【追・再試】（３・４年）	集中講義（４年）（７／９～７／10）
	20	月	海の日	
	23	木	試験終了【追・再試】（４年）	医学科オープンキャンパス
	24	金	試験週間終了【本試】（１・２年）	日　程　７月19日（日）
	24	金	試験終了【追・再試】（３年）	（予備日）８月23日（日）
	24	金	MEC 模擬試験（４年）	
	25	土	夏季休暇開始（３・４年）	
	27	月	試験週間開始【追・再試】（１・２年）	
	31	金	授業終了（５年）	
8月	1	土	夏季休暇開始（５年）	
	4	火	試験週間終了【追・再試】（２年）	
	5	水	試験週間終了【追・再試】（１年）	夏合宿（６年）（８／１～８／４）
	5	水	夏季休暇開始（２年）	
	6	木	夏季休暇開始（１年）	
	11	火	山の日	第78回西日本医科学生総合体育大会
	23	日	夏季休暇終了（３年）	日　程　８月上旬（予定）
	24	月	授業再開（３年）	主管校　富山大学
	27	木	夏季休暇終了（２年）	
	28	金	授業再開（２年）	
	30	日	夏季休暇終了（５・６年）	医学教育ワークショップ（８／８）（予定）
	31	月	実力試験Ａ（５年）	
	31	月	卒業試験Ａ（６年）	
9月	1	火	夏季休暇終了（１年）	
	1	火	実力試験Ａ（５年）	
	1	火	卒業試験Ａ（６年）	施設体験学習Ⅰ（１年）（９／７～９／18）
	2	水	授業再開（１年）	
	2	水	夏季休暇終了（４年）	
	2	水	授業再開（５年）	施設体験学習Ⅰ（２年）（８／28～９／15）
	3	木	授業再開（４年）	
	3	木	授業再開（６年）	RMCP（３年）（８／24～９／25）
	21	月	敬老の日	
	22	火	国民の休日	
	23	水	秋分の日	
	26	土	MEC 模擬試験（５年）	

第　　2　　学　　期				
10月	12	月	スポーツの日	
	13	火	ワクチン接種３回目①（１年）	
	19	月	ワクチン接種３回目②（１年）	
	21	水	授業終了（６年）	
	23	金	休講（１・２・３年）	
	26	月	休講（１・２・３年）	
	30	金	白衣授与式（４年）（予定）	大学祭『あのく祭』（10／23～10／25）
11月	3	火	文化の日	
	9	月	実力試験Ｂ（５年）	
	9	月	卒業試験Ｂ（６年）	国試対策特別講義（６年）（未定）
	10	火	実力試験Ｂ（５年）	
	10	火	卒業試験Ｂ（６年）	メディックメディア模擬試験（６年）
	20	金	試験週間開始【本試】（２年）	（11月下旬～12月上旬）（未定）
	23	月	勤労感謝の日	
12月	1	火	Ｂ型肝炎抗体価確認採血①（１年）	
	2	水	Ｂ型肝炎抗体価確認採血②（１年）	
	2	水	試験週間終了【本試】（２年）	
	3	木	Ｂ型肝炎抗体価確認採血③（１年）	
	4	金	Ｂ型肝炎抗体価確認採血④（１年）	
	9	水	授業終了（１年）	
	10	木	冬季休暇開始（１年）	
	11	金	授業終了（３年）	
	14	月	試験開始【追・再試】（３年）	
	17	木	授業終了（２年）	
	18	金	冬季休暇開始（２年）	
	18	金	試験終了【追・再試】（３年）	
	19	土	冬季休暇開始（３年）	講師面談（６年）（12／22～12／23）
	25	金	授業終了（４・５年）	
	26	土	冬季休暇開始（４・５年）	
1月	1	金	元日	
	3	日	冬季休暇終了（１・２・３・４・５年）	
	4	月	授業再開（１・２・３・４・５年）	
	4	月	卒業試験再試験（６年）	メディックメディア模擬試験（６年）
	11	月	成人の日	（１月）（未定）
	26	火	補充講義（１年）	
	26	火	授業完了（２年）	
	27	水	補充講義（１年）	
	27	水	授業完了（１年）	
	28	木	試験週間開始（１年）	
2月	1	月	試験週間開始【追・再試】（２年）	
	11	木	建国記念の日	
	16	火	試験週間終了【追・再試】（２年）	
	17	水	授業完了（３年）	
	22	月	試験開始【追・再試】（３年）	
	23	火	天皇誕生日	
	24	水	試験週間終了（１年）	
	26	金	試験終了【追・再試】（３年）	
3月	1	月	第４学年総合試験（４年）	
	2	火	第５学年総合試験（５年）	
	3	水	基礎医学 CBT（２年）	春合宿（５年）（３／13～３／16）
	4	木	臨床医学 CBT（３年）	
	12	金	授業完了（４・５年）	
	13	土	MEC 模擬試験（５年）	
	21	日	春分の日	
	22	月	振替休日	
	23	火	卒業式　**※医学科学位記授与式は別日程**	

2026年度（令和８年度）七曜表

	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
4	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
月	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	㉙	30		

	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	3
10	4	5	6	7	8	9	10
	11	⑫	13	14	15	16	17
月	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
5	③	④	⑤	⑥	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
月	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	③	4	5	6	7
11	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
月	22	㉓	24	25	26	27	28
	29	30					

	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
6	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
月	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30				

	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
12	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
月	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
7	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
月	19	⑳	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30	31	

	日	月	火	水	木	金	土
						①	2
1	3	4	5	6	7	8	9
	10	⑪	12	13	14	15	16
月	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

	日	月	火	水	木	金	土
							1
8	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	⑪	12	13	14	15
月	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
2	7	8	9	10	⑪	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
月	21	22	㉓	24	25	26	27
	28						

	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
9	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
月	20	㉑	㉒	㉓	24	25	26
	27	28	29	30			

	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
3	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
月	㉑	㉒	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			

○＝祝日及び振替休日　　□＝学友会行事のための休講

（注）　４月30日（木），５月１日（金）の休講は第５・６学年を除く。
　　10月23日（金），10月26日（月）の休講は第４・５・６学年を除く。

医学部医学科における評価について

久留米大学医学部医学科においてはカリキュラムに規定されているそれぞれの総合試験，科目ごとの評価を行います。さらに医学生として求められる行動と態度についての評価を行います。それぞれの評価は委員会や教授会などで報告され，進級および卒業判定の重要な評価項目となります。

1）総合試験について

第2学年では第1学年の「医学を学ぶ基本についての学習成果を確認する」と第2学年の「基礎医学を修得し，臨床医学への準備ができていることを確認する」を目的で基礎医学 CBT での評価を行います。

第3学年では「診療に必要な臨床医学についての学習成果を確認する」を評価すべく，臨床医学 CBT を行います。

第4学年では臨床実習に参加するために必要な臨床実習生（医学）の称号を得るために全国的な共用試験 CBT と共用試験 OSCE が行われ，臨床実習に進むにはこれに合格する必要があります。

臨床実習が始まると第4学年総合試験（第4学年），第5学年総合試験（第5学年）に加え，実力試験（第5学年）では第6学年の卒業試験と同じ問題を受験します。

第6学年では卒業試験A，B および Post Clinical Clerkship OSCE が行われます。

2）科目試験について

臨床医学の系統的な講義は第3，4学年で終了しますので，臨床の基本，現代の臨床，先端の医療を学生に示し，教育を受ける機会は最後ということになります。加えて，久留米大学医学部医学科において4年生の11月から始まるクリニカル・クラークシップを実りあるものとするのに必要な能力を獲得しなくてはなりません。学生は膨大な知識と技能を学ぶ必要がある一方，講義の時間は限られています。もとより，講義の内容は担当する科目の全てや国家試験に出題される全てですら網羅することはできません。そのため，学生には自学自習することが求められ，それを支援する方法として電子シラバスの活用および積極的に教員に質問することを勧めます。

集中型の講義を含めてそれぞれの科目では各科試験が行われます。学生は講義の内容のみを習得しても不十分であることは前述の通りですので，試験問題は講義の内容以外におよぶものも含まれます。出題形式については MCQ のみではなく，理解度をよりよく確認するために論述問題を出題するようお願いしています。必ずしも小論文形式でなくても，文章の穴埋め形式や正答として単語を記載させる問題が出題されます。また，事前に呈示をお願いしている科目で使用頻度

の高い英単語につきましても形式は問わず試験が行われます。医学英語については医師になった後にも必要なスキルですので，できるだけ試験にも取り入れるようにします。

3）行動と態度の評価について

医学生として求められる行動と態度はコア・カリキュラムにも規定されています。久留米大学医学部医学科の学生として常に求められる行動と態度に加え，学外を含む各種実習中に取るべき態度についても学内外において評価を行います。特に態度が良好な場合や不良な場合には個別に報告されるシステムとなっています。

学生の行動・態度評価項目についての Key Concept と Key Word としては以下の事項があげられます。

・医師になるものへの信頼となる品位の保持

規律，マナー，礼儀，身だしなみ，整理整頓，挨拶，迷惑，不正，責任感，誠実，指摘・指導を受け入れる，優しさ，気遣い，利他，講義に対する真摯さ（飲食，内職，遊び，出入り，遅刻，欠席など）

・医学知識・技術の習得に努める

積極性，努力，不正行為をしない，講義・実習に対する真摯さ，自律

・研究心の向上を図る

積極性，嘘をつかない，事実を正確に表現する，

指摘・指導を受け入れる，反省と改善

研究者のルールを守る（剽窃，盗作，利益相反，利害関係など）

・患者の権利を尊重し，これを擁護するように努める

医療安全，社会性，敬意，守秘義務，利益相反

・同僚を尊重し，多職種の人々と協働して良質な医療を進める

協調，社会性，敬意，差別，約束，規律

・社会人としての常識を保つ

飲酒運転，暴力行為，ハラスメント，法律違反，規律，常識

上記をふまえ当面は次のようなものを行動と態度評価の項目とします。

1．提出物の提出，科目評価入力の期限厳守

2．健康診断受診，ワクチン接種などの指示の遵守

3．講義および実習の出席状況

4．言葉遣い，礼儀

5．名札着用，服装，身だしなみなど

6．学習態度

7．学内ルールの順守
8．社会人としての常識（社会的ルール（法令・学内規則）を守る）
9．賞罰
10．その他

そのほかにも，各科目における科目責任者の責任で行動と態度の評価と判定が行われる場合があります。医師になるものとして常識的な態度をとること自体は困難なことでは無いはずですが，その様な注意を受けた場合には速やかに改善しましょう。

講義等における座席指定について

それぞれの学年ですべての学生が講義を十分に受講できる環境を整えることができる場合には，座席の指定は原則として行わない方針です。なお，科目責任者が座席指定での教育を計画した場合や，新たな感染症流行が発生した場合など，教育上必要と判断された場合には，科目や学年毎に座席指定を行うことがあります。

学生の行動・態度評価について

久留米大学医学部医学科においては講義中および構内での，学生の行動・態度についての評価を行います。

⑴ 講義中をふくめた態度（遅刻，講義中の早退・飲食・私語等）について評価を行います。

⑵ 講義中の資料スライド等をスマホなどで無断撮影・記録することは禁止します。

⑶ 講義中等に配付された資料等について，無断で外部に公表することは著作権の問題に抵触する恐れが高いため禁止します。

⑷ 服装についてはいつでも患者さんに対応できる身なりを心掛けてください。TPO（時間・場所・場合）に応じた服装を心がけることとし，以下の様な身なりでの受講，学内外実習への参加を禁止します。

・短パン，トレーニングウェアなどのだらしない服装
・不潔な服装
・サンダル等の不適切な履物
・不適切な装飾品，髪型，髪の色

○名札着用について

すべての学生は大学構内および学外実習において，学内におけるセキュリティの維持の為に，名札を常時着用しなければいけません。求められた場合にはすぐに呈示してください。

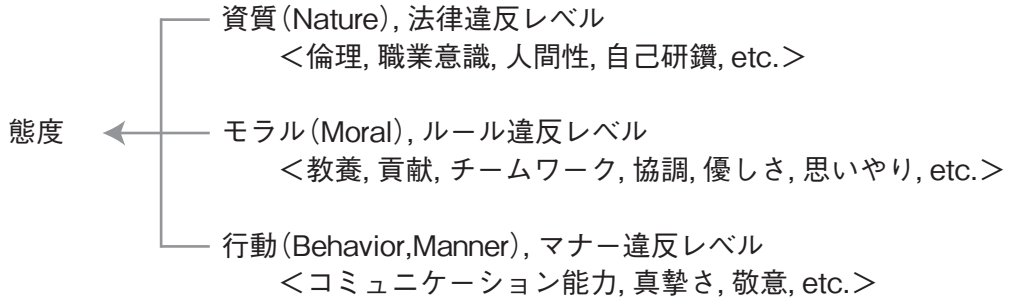
また，クリニカル・クラークシップ実習時は，学年シールを貼付した大学の名札を表に，臨床実習生（医学）認定証（Student Doctor 認定証）を裏になるように着用してください。

※紛失・破損している場合は，すみやかに医学部事務部教務課で再発行の手続きを行ってください。

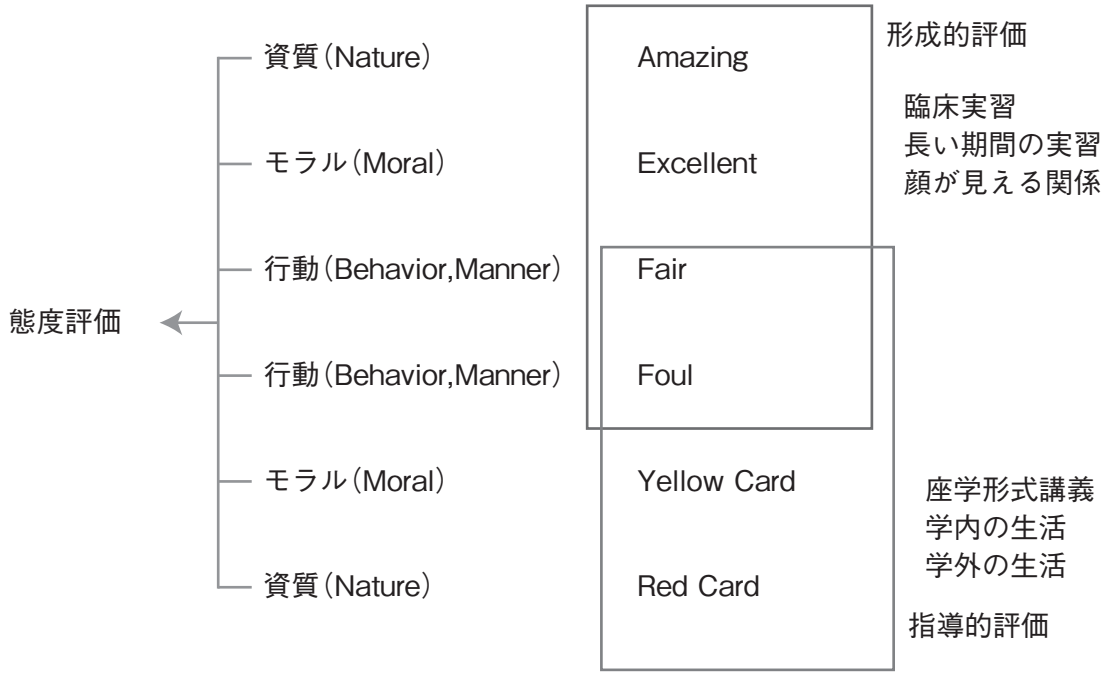
態度の評価について

学力や技術とは異なり，態度の評価は評価者の主観や価値観によって揺らぎがあります。同じ場面で多くの学生の評価を複数人数の教員で行うことも困難であるために，評価者としては独善に陥ることを恐れるあまり，本学においては態度評価自体を行ってきませんでした。

今回，態度を構造化し，評価を行いやすくすることにしました。態度は医師になるものとして持つべき３つの要素に分けることしました。それは資質，モラル，行動です。結果として行動に表れるもののみが見えることとなりますが，さらに深層の‘こころ’の問題があるとすれば，それは探索され評価されるべきものであると考えています。



態度には良い態度から悪い態度があり，ともに評価されるべきです。そのため，構造化された態度は評価としては６段階とするのが適当と考えています。特に長い期間に及ぶ実習や一連の講義などにおいて教員は形成的評価を心掛けることにします。また，評価をする人は教員に限らず，職員，本学に関連の企業の方，周辺住民，市民などに広く求めることにします。



態度評価の例示

・資質（Nature），法律違反レベル「科目責任者・教務委員長・学生委員長」

〈倫理，職業意識，人間性，自己研鑽など〉

例）カンニング，剽窃，盗作等の不正行為，ハラスメント，
差別（性・人種・宗教・性的嗜好・社会経済的状況等），
暴力行為，飲酒運転，守秘義務，社会性の欠如など
複数回の指導を行っても医師となるべき態度を身につけることができない

・モラル（Moral），ルール違反レベル「教育主任・教員」

〈教養，貢献，チームワーク，協調，優しさ，思いやりなど。〉

例）積極性，反省と改善，研究者のルール，規律，利他，嘘をつかないなど

・行動（Behavior,Manner），マナー違反レベル「教員・職員・多くの人々」

〈コミュニケーション能力，真摯さ，敬意など〉

例）整理整頓，挨拶，迷惑，不正，責任感，身だしなみ，自律，遅刻，欠席，約束を守る，
講義に対する真摯さの欠如，学内ルールを守らない指摘・指導を受け入れない，言葉遣いなど

もとより，これらの評価は評価者の主観によるのですから，受けた評価が学生にとっては不本意であることも十分に考えられます。その場合は教務課を経由しての弁明の機会を与えるものとしますので，申し出てください。また，多くの学生が同じような行動をとる中で一人だけが評価される場合もあると想定されますが，その一人についての評価が誤りでない限りは，その評価はその個人のものとして記録されることとします。

入学から卒業に至る態度評価については，知識・技能の評価と同様に一貫して記録し，各学生の成長を俯瞰できるものとします。全ての科目の合否は知識・技能・態度を総合的に勘案して決定します。知識・技能の評価を数値化する事に一定の見解の合意が得られていることから，態度の評価は各科目責任者が担当する講義，実習，クリニカル・クラークシップ科目及び教務委員長が担当する CBT，総合試験，卒業試験の点数に加算，減算する形で行われます。加算および減算の点数については学生本人にできる限り速やかに伝えることとします。なお，各本試験後の不服申し出は無効とします。

臨床実習における学生の行動・態度評価について

久留米大学医学部医学科教務委員会
久留米大学医学部医学教育研究センター

久留米大学医学部医学科においては臨床実習の評価として，学生の行動・態度についての評価を行います。

学生は将来医師になるにふさわしい実習態度をとる者からすでに医師として持つべき態度をとりえる者まで広い範囲でいます。本学における行動・態度が特に問題となる学生とは次のように定義します。

> 診療参加型を含む臨床実習において，医師になるものへの信頼となる品位の保持ができないもの。特に医療安全面から，このままでは将来，患者の診療にたずさわらせることに不安があると考えられるもの。

指導者には患者の診療，介護等において現場で指導に当たる者の視点で，学生が将来臨床医として診療に関わる上で，明らかに不適切な行動や言動が観察された場合や態度についての指導をしても改善が見られない場合などに，その事例についてできるだけ詳しく記載し別紙報告書を提出してもらいます。この評価は学生の指導に用いますが，態度の評価となり得ます。ただし，一人の評価者による評価表の提出のみで留年することはありません。

一方，特に優れた行動・態度をとった学生についても同様に報告してもらいます。

本評価はそれぞれの臨床実習の評価（合否判定）とは別に独立して評価を行いますので，臨床実習自体については従来通りの評価を行います。

医師になるものとして常識的な態度をとること自体は困難なことでは無いはずですが，その様な注意を受けた場合には速やかに改善しましょう。

学生の行動・態度評価項目についてのKey ConceptとKey Word

・医師になるものへの信頼となる品位の保持

規律，マナー，礼儀，身だしなみ，整理整頓，挨拶，迷惑，不正，責任感，誠実，指摘・指導を受け入れる，優しさ，気遣い，利他，講義に対する真摯さ（飲食，内職，遊び，出入り，遅刻，欠席など）

・医学知識・技術の修得に努める

積極性，努力，不正行為をしない，講義・実習に対する真摯さ，自律

・研究心の向上を図る

積極性，嘘をつかない，事実を正確に表現する，
指摘・指導を受け入れる，反省と改善
研究者のルールを守る（剽窃，盗作，利益相反，利害関係など）

・患者の権利を尊重し，これを擁護するように努める

医療安全，社会性，敬意，守秘義務，利益相反

・同僚を尊重し，多職種の人々と協働して良質な医療を進める

協調，社会性，敬意，差別，約束，規律

・社会人としての常識を保つ

飲酒運転，暴力行為，ハラスメント，法律違反，規律，常識

➢医学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）で設定の医師の資質

- プロフェッショナリズム
- 総合的に患者・生活者をみる姿勢
- 生涯にわたって共に学ぶ姿勢
- 科学的探究
- 専門知識に基づいた問題解決能力
- 情報・科学技術を活かす能力
- 患者ケアのための診療技能
- コミュニケーション能力
- 多職種連携能力
- 社会における医療の役割の理解

久留米大学医学部の学修目標は次のとおりです。

⑴　医師や研究者として職責を果たすのに必要な知識と技能を修得する。
⑵　患者に寄り添うとともにチーム医療の実践に必要な態度と習慣を身につける。
⑶　時代や社会，そして地域の多様なニーズに対応できる人間性と良識を涵養する。

学内・外実習時の心得

実習にあたっては，医師を目指す者として恥ずかしくない服装，言葉遣いを心がけ，久留米大学の医学生としての誇りをもって参加する。

特に次の点に注意しなければならないが，これらは患者さんや実習受け入れ先である診療科，病院，施設関係の皆さんの立場から検討し，最低限の事柄をとりあげたものである。この注意すべき事項を守ることが出来ない学生については，実習を認めない場合があるので十分気をつけること。

〈服装，身だしなみについて〉

① 清潔を心がける。
② 頭髪について
・さっぱりとした髪型（フケに注意）にしている。
・長過ぎる髪をしていない。髪が長い学生は束ねるなどして実習の邪魔にならぬよう気をつける（女子学生に）。
・髪の色にも注意する（目立つような色に染めたりしない）。
③ 派手な化粧，マニキュアはしない（女子学生に）。
④ 実習に不要なアクセサリー（指輪，ネックレス，イヤリング，ピアスなど）は身に付けない。
⑤ 不潔なヒゲをしていない。
⑥ 口臭に気をつけている。
⑦ 爪は伸び過ぎていない。
⑧ 白衣について
・白衣着用のまま外出しない。
・汚れたり，しわになったようなものは着用しない。
・ボタンはきちんとかける。
⑨ 名札は必ず付ける。
⑩ 履き物について
・汚れた靴は履かない。
・靴のかかとは踏みつけない。
・ハイヒールやブーツは履かない。
⑪ 認められた以外，ＴシャツとＧパンは禁止する。
⑫ 実習中には時計，指輪を外す。

〈言葉遣いと態度について〉

① 挨拶は相手に伝わるようにきちんとする。
② ハッキリと若者らしい言葉を使う。
③ ポケットに手を突っ込んだままにしない。
④ 機敏な動作を心がける。

定期試験・各科試験

受験心得

「不正行為」および「不正行為とみなされるような行為」
を行わないこと。

受験中に不正行為を行った者は，**当該期間の試験の全科目を無効**とする。
特に悪質な不正行為を行った者は，学則により懲戒する。

受験に際して…

開始**10分前**までには着席 すること。（各自，試験日時を確認しておくこと）

●荷　　物　座席の下に置く。

●使用許可品　鉛筆（シャープペンシル），消しゴム。（ペンケース使用不可）
その他持ち込みが許可されたもの。

●携帯電話　電源を切り，荷物の中に入れる。

●腕　時　計　時計の機能のみのもの。
腕から外して机の上に置く。

●入　　室　試験開始20分まで。

●退　　室　試験開始20分後から試験終了５分前まで。
試験終了を申し出る場合は，手を高く挙げ，試験監督の許可を得てから退室する。

●解答用紙　身体の正面に置く。
番号，氏名をきちんと記入する。
マークシートは丁寧にマークする。
席を離れる場合は裏返す。

●質　　問　手を高く挙げる。

●欠　　席　「履修及び試験に関する細則第７条」に定める正当な理由または傷病等により，やむを得ず試験を欠席する場合は，原則，試験開始時刻までに教務課へ電話連絡を行うこと。試験開始時刻までに連絡を行った場合に限り，受験不能届の提出を認め，提出された受験不能届に基づき追試験の受験可否を審議する。
※試験開始時刻までに教務課へ連絡なく欠席した場合，受験不能届は原則受理しない。この場合，追試験の受験は認められず，当該科目は不合格となる。
追・再試験の追試験は実施されないので注意すること。

●再試験受験届　試験の前日までに手続きを行う。
再試験受験の際は必ず再試験受験票を机上に置くこと。
※試験監督の指示，注意に従うこと。

●試験結果発表　各科目の電子シラバス（Hondana）に，概ね１週間以内に掲載する。
電話などでの問合せには応じない。

●試験問題・解答の公表　各科目の電子シラバス（Hondana）に，本試験の試験問題・解答を公表する。

電子シラバス（Hondana）について

電子シラバス（Hondana）には，講義ごとの「単元（講義タイトル）」「学習目標各論」「準備学習」及び「英語 DB」が掲載されています。

授業の前に必ず確認しておいてください。

久留米大学医学部　電子シラバス（Hondana）

場所：https://hondana.kurume-u.ac.jp

【問い合わせ先】

⑴　システムの不具合について

医学教育研究センター（教育１号館６階）にお問い合わせください。

⑵　ログインに関すること，カリキュラムの内容についての質問

医学部事務部教務課にお問い合わせください。

科目評価について

１．各科目の授業終了後に電子シラバス（Hondana）で科目評価を行ってください。

２．入力締切日

１学期分：８月末日まで

２学期分：２月末日まで

※皆さんの評価が今後の授業に役立ちますので，必ず評価してください。

※入力結果は教務委員長に報告いたします。

講義・実習における出席確認について

講義の出席登録には原則として出席管理システム（ATTENDS）を使用します。

出席登録忘れは「欠席」と判定します。

リアルタイムの出席状況の確認は ATTENDS にて，各科目の出席・欠席回数や受験資格の確認は教務システムにて各自の責任で必ず行ってください。出席登録における不正行為が発覚した場合は，行動・態度評価として厳正に対処します。

また，実習の出席確認・管理は各科目責任者の下で行われます。

出席管理システム（ATTENDS）

https://attends.kurume-u.ac.jp

教務システム（受験資格確認ページ）

https://memo.kurume u.ac.jp/kyoumu/student

※学内ネットワーク限定

研究室体験実習について

第１～６学年「研究室体験実習」については，次のとおりとする。

（目　　的）　医学研究への真摯な態度を体験させ，医学における研究の大切さを心に留めさせる。

（実 施 要 領）　時期は夏季休暇期間を利用し，受入受諾の基礎系及び臨床系講座の研究室にて希望学生のみ対象に行う。

（受付締切日）　５月末日まで

医学部事務部教務課にお問い合わせください。

総合医学・医療プログラムについて

第１～６学年通年プログラム「総合医学・医療」については，次のとおりとする。

※本プログラムの受講は，進級等の成績に影響するものではない。

（目　　的）

学年の枠を超えて，各学年の教材を使用し，後方視的に学修を行うこと，前方視的に将来学修する内容を経験することができる。６年間の視野で見た自分の到達度を振り返ることができる。

（実 施 要 領）

プログラム受講者は全学年の教材（講義資料・オンデマンド講義動画）の中から，希望するものを選び，Hondana 上で受講することができる。受講後には講義内容についての到達度確認テストを受験する。

到達度は形成的評価として Hondana に記録され，振り返ることができる。

（受講の受付）

希望者は医学部事務部教務課に申し込むこと。※随時受付

第　1　学　年

第 1 学 年 の 学 修

久留米大学医学部医学科は，「国手の理想は常に仁なり」を基本理念に掲げています。これは久留米大学の前身である九州医学専門学校の校歌の一節で，北原白秋の作詞によるものです。「国手」とは優れた医師のことです。その理想は常に「仁」であるということを理解しましょう。その「仁」とは「他者に対する親愛の情，優しさ，思いやり」を意味しており，周囲の全てのものに心を配り，全体がより良くなるよう努力することとされています。第１学年の皆さんはこの言葉を常に念頭においていてください。医学部に入学することが皆さんの最終目標ではありません，ここからが本当の意味でのスタートなのです。

今日，医学は急速かつ大きく進歩していますが，医学生の皆さんは６年間というか限られた時間でその内容をしっかり理解し，実践できるところまで自己を高めていかなければなりません。第１学年は「よき医師として医道を究めるための基礎を形成する」ことを目的とします。その意味でも，この１年間は非常に重要です。この時期はこれまで行ってきた受験中心の教育から専門的な医学教育へと円滑な移行を行うべき時期だからです。また教育内容の変化とともに生活様式の変化も伴います。１人での生活や新たにクラブ活動を始める人もいるでしょう。そのように大きく変化した環境の中でこの１学年目のカリキュラムはスタートします。

大学教育は，高校までの教育とは異なり教員が与えてくれるものだけを勉強していればよいというものではありません。素晴らしい医師になろうという高い志をもって入学してきた皆さんは，勉強という「強いて勉める」という受動的態度ではなく，学修という「自ら学んで修める」という能動的態度で医学教育を受けることが必要です。「協同学習」は，少人数でのグループ学習で，自発的に学ぶとともに自ら問題点を発見し，それを解決する能力を身につけること（アクティブラーニング）を目的としています。また，「医学入門実習」や「施設体験学習Ⅰ」など医療の現場に接する機会も含まれていますので，これらを通じて医療人としての感性を磨くとともに，医学生・社会人としての態度や礼儀をしっかりと身に着けてください。また，第２学期からは解剖学や組織学などの基礎医学系講義が早速始まります。第１学年で学習する科目は本格的な医学教育を受ける前段階で必要な科目であり，将来の医療を担う皆さんの学びのスタートです。是非，初心を忘れず常に自分の目標を高く持ってこの第１学年のカリキュラムに臨んでください。

医学部の６年間は非常に多くの医学知識と技能を習得しなければならないので，あっと言う間に終わってしまいます。カリキュラムを理解し，計画をしっかりと立て，予習と復習をする習慣を身につけてください。

第１学年　授業時間割

［第１学期］

令和８年４月３日（金）～７月10日（金）……13週間
＊第５・６週目（４／27（月）～５／８（金））の期間は２週分を１週分として取り扱う。
４月３日（金),6日（月),7日（火）はオリエンテーションを行う。
講義は原則として学年教室（1402教室）で行う。選択必修科目，選択科目，実習科目等については別途教室を指定する。
５月13日（水）13：00，15日（金）13：00～……１回目Ｂ型肝炎ワクチン等接種
６月10日（水）13：00，17日（水）13：00～……２回目Ｂ型肝炎ワクチン等接種
７月９日（木）・10日（金）は補充講義を行う。

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	8:30～9:20	9:30～10:20	10:30～11:20	11:30～12:20	13:20～14:10	14:20～15:10	15:20～16:10	16:20～17:10
							実習は13:20～17:10			
4	8	水	生命科学（物理） 物理量の表現方法 長澤　真樹子	生命科学（物理） 物理量の表現方法 長澤　真樹子	生命科学（生物） 生命科学入門 大沼　雅明	生命科学（生物） 細胞の構造と機能(1) ～細胞という概念について～ 大沼　雅明	自然科学実習 オリエンテーション 自然科学実習（物理Ａ・Ｂ・Ｃ）（長澤　真樹子，花山　秀和） 自然科学実習（化学Ａ・Ｂ・Ｃ）（東元　祐一郎，本田　健） 自然科学実習（生物Ａ・Ｂ・Ｃ）（大沼　雅明，森部　弘樹，高橋　知子）			
4	9	木	生命科学（生物） 細胞の構造と機能(2) ～細胞膜の構造と機能～ 大沼　雅明	生命科学（生物） 細胞の構造と機能(3) ～膜タンパク質の構造と機能～ 大沼　雅明	選択必修科目 ドイツ語（梶浦　直子） フランス語（小澤　南海） 中国語（李　　偉） 韓国語（李　熙卿）		13時～15時30分　抗体価確認検査			
4	10	金	選択科目 文学（藤本　晃嗣） 歴史学（井手　麻衣子） 職業の倫理（土持　貴志） 基礎医学ディベート（首藤　隆秀，東元　祐一郎，古賀　浩徳） スポーツカルチャーを解剖する。(大橋　充典)		協同学習 協同学習１ 小松　誠和		医療プロフェッショナリズム プロフェッショナリズム・アンプロ行動 安川　秀雄，小松　誠和	医療プロフェッショナリズム プロフェッショナリズム・アンプロ行動 安川　秀雄，小松　誠和		健康診断
4	13	月	生命科学（化学） 生体の酸・塩基 東元　祐一郎	生命科学（化学） 生体の酸・塩基 東元　祐一郎	医学統計学（基礎） 医学統計学の概要 古川　恭治	医学統計学（基礎） 医学統計学の概要 古川　恭治	アカデミックリテラシー データサイエンス 柏木　孝仁	アカデミックリテラシー データリテラシー(1) 柏木　孝仁	アカデミックリテラシー データリテラシー(2) 柏木　孝仁	
4	14	火	英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）１クラス（堀　奈緒子） 英語（リーディング）２クラス（宮本　なつき） オーラルイングリッシュ12A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ12B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ12C クラス(ジョナサンピーターアレレス)		英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）３クラス（堀　奈緒子） 英語（リーディング）４クラス（宮本　なつき） オーラルイングリッシュ34A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ34B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ34C クラス(ジョナサンピーターアレレス)		協同学習 協同学習２ 小松　誠和			
4	15	水	生命科学（物理） 単位系と物理量 長澤　真樹子	生命科学（物理） 運動の表現 長澤　真樹子	生命科学（生物） 細胞の構造と機能(4) ～核の構造と機能～ 大沼　雅明	生命科学（生物） 細胞の構造と機能(5) ～リボソームの構造と機能～ 大沼　雅明	自然科学実習 自然科学実習（物理Ａ）（長澤　真樹子，花山　秀和） 自然科学実習（化学Ｂ）（東元　祐一郎，本田　健） 自然科学実習（生物Ｃ）（大沼　雅明，森部　弘樹，高橋　知子）			
4	16	木	生命科学（生物） 細胞の構造と機能(6) ～リソソームの構造と機能～ 大沼　雅明	生命科学（生物） 細胞の構造と機能(7) ～小胞輸送について～ 大沼　雅明	選択必修科目 ドイツ語（梶浦　直子） フランス語（小澤　南海） 中国語（李　　偉） 韓国語（李　熙卿）		自然科学実習 自然科学実習（物理Ｂ）（長澤　真樹子，花山　秀和） 自然科学実習（化学Ｃ）（東元　祐一郎，本田　健） 自然科学実習（生物Ａ）（大沼　雅明，森部　弘樹，高橋　知子）			
4	17	金	選択科目 文学（藤本　晃嗣） 歴史学（井手　麻衣子） 職業の倫理（土持　貴志） 基礎医学ディベート（首藤　隆秀，東元　祐一郎，古賀　浩徳） スポーツカルチャーを解剖する。(大橋　充典)		協同学習 協同学習３ 小松　誠和		医療プロフェッショナリズム 自己の安定化・セルフケア・共同体感覚 安川　秀雄	医療プロフェッショナリズム 自己の安定化・セルフケア・共同体感覚 安川　秀雄		
4	18	土	選択科目（久留米・筑後体験演習）							
4	20	月	生命科学（化学） ミネラル 東元　祐一郎	生命科学（化学） ミネラル 東元　祐一郎	医学統計学（基礎） 確率の基礎 古川　恭治	医学統計学（基礎） 確率の基礎 古川　恭治	医学入門実習 オリエンテーション			
4	21	火	英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）１クラス（堀　奈緒子） 英語（リーディング）２クラス（宮本　なつき） オーラルイングリッシュ12A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ12B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ12C クラス(ジョナサンピーターアレレス)		英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）３クラス（堀　奈緒子） 英語（リーディング）４クラス（宮本　なつき） オーラルイングリッシュ34A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ34B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ34C クラス(ジョナサンピーターアレレス)		協同学習 協同学習４ 小松　誠和			
4	22	水	生命科学（物理） 静電気 花山　秀和	生命科学（物理） 定常電流 花山　秀和	生命科学（生物） 細胞の構造と機能(8) ～ミトコンドリアの構造～ 大沼　雅明	生命科学（生物） 細胞の構造と機能(9) ～ミトコンドリアの機能～ 大沼　雅明	自然科学実習 自然科学実習（物理Ｃ）（長澤　真樹子，花山　秀和） 自然科学実習（化学Ａ）（東元　祐一郎，本田　健） 自然科学実習（生物Ｂ）（大沼　雅明，森部　弘樹，高橋　知子）			
4	23	木	生命科学（生物） 細胞の中ではたらくタンパク質～細胞骨格の構造と機能・微小管～ 大沼　雅明	生命科学（生物） 細胞の中ではたらくタンパク質～細胞骨格の構造と機能・アクチン線維と中間径線維～ 大沼　雅明	選択必修科目 ドイツ語（梶浦　直子） フランス語（小澤　南海） 中国語（李　　偉） 韓国語（李　熙卿）		自然科学実習 自然科学実習（物理Ａ）（長澤　真樹子，花山　秀和） 自然科学実習（化学Ｂ）（東元　祐一郎，本田　健） 自然科学実習（生物Ｃ）（大沼　雅明，森部　弘樹，高橋　知子）			
4	24	金	選択科目 文学（藤本　晃嗣） 歴史学（井手　麻衣子） 職業の倫理（土持　貴志） 基礎医学ディベート（首藤　隆秀，東元　祐一郎，古賀　浩徳） スポーツカルチャーを解剖する。(大橋　充典)		協同学習 協同学習５ 小松　誠和		医療プロフェッショナリズム 地域包括ケア・治らない人を支える 佐々木淳	医療プロフェッショナリズム 地域包括ケア・治らない人を支える 佐々木淳	医療プロフェッショナリズム 地域包括ケア・治らない人を支える 佐々木淳	
4	25	土	選択科目（久留米・筑後体験演習）							
4	27	月	生命科学（化学） 有機化合物の構造と命名 東元　祐一郎	生命科学（化学） 有機化合物の構造と命名 東元　祐一郎	医学統計学（基礎） 医学研究のデザイン 古川　恭治	医学統計学（基礎） 医学研究のデザイン 古川　恭治	医学入門実習 第１回			
4	28	火	英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）１クラス（堀　奈緒子） 英語（リーディング）２クラス（宮本　なつき） オーラルイングリッシュ12A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ12B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ12C クラス(ジョナサンピーターアレレス)		英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）３クラス（堀　奈緒子） 英語（リーディング）４クラス（宮本　なつき） オーラルイングリッシュ34A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ34B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ34C クラス(ジョナサンピーターアレレス)					
4	29	水	昭和の日							
4	30	木	休講							
5	1	金	休講							
5	4	月	みどりの日							
5	5	火	こどもの日							
5	6	水	振替休日							
5	7	木	生命科学（生物） 分子生物学と医学 大沼　雅明	生命科学（生物） DNA・RNA 概論 大沼　雅明	選択必修科目 ドイツ語（梶浦　直子） フランス語（小澤　南海） 中国語（李　　偉） 韓国語（李　熙卿）		自然科学実習 自然科学実習（物理Ｂ）（長澤　真樹子，花山　秀和） 自然科学実習（化学Ｃ）（東元　祐一郎，本田　健） 自然科学実習（生物Ａ）（大沼　雅明，森部　弘樹，高橋　知子）			

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	8:30～9:20	9:30～10:20	10:30～11:20	11:30～12:20	13:20～14:10	14:20～15:10	15:20～16:10	16:20～17:10
							実習は13:20～17:10			
5	8	金	選択科目 文学（藤本　晃嗣） 歴史学（井手　麻衣子） 職業の倫理（土持　貴志） 基礎医学ディベート（首藤　隆秀，東元　祐一郎，古賀　浩徳） スポーツカルチャーを解剖する。（大橋　充典）		協同学習 協同学習6 小松　誠和		医療プロフェッショナリズム エンドオブライフケア 小澤　竹俊	医療プロフェッショナリズム エンドオブライフケア 小澤　竹俊	医療プロフェッショナリズム エンドオブライフケア 小澤　竹俊	
5	9	土	選択科目（久留米・筑後体験演習）							
5	11	月	生命科学（化学） アミノ酸，ペプチド・タンパク質の化学 東元　祐一郎	生命科学（化学） アミノ酸，ペプチド・タンパク質の化学 東元　祐一郎	医学統計学（基礎） 確率変数と分布 古川　恭治	医学統計学（基礎） 確率変数と分布 古川　恭治	医学入門実習 第2回			
5	12	火	英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）1クラス（堀　奈緒子） 英語（リーディング）2クラス（宮本　なつき） オーラルイングリッシュ12A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ12B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ12C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）3クラス（堀　奈緒子） 英語（リーディング）4クラス（宮本　なつき） オーラルイングリッシュ34A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ34B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ34C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		協同学習 協同学習7 小松　誠和			
5	13	水	生命科学（物理） 弾性体 長澤　真樹子	生命科学（物理） 弾性体 長澤　真樹子	生命科学（生物） タンパク質概論 大沼　雅明	生命科学（生物） タンパク質の高次構造 大沼　雅明	ワクチン接種 グループ①1回目			
5	14	木	生命科学（生物） セントラルドグマ 齋藤　成昭	生命科学（生物） 遺伝情報の複製 齋藤　成昭	選択必修科目 ドイツ語（梶浦　直子） フランス語（小澤　南海） 中国語（李　　偉） 韓国語（李　照卿）		自然科学実習 自然科学実習（物理C）（長澤　真樹子，花山　秀和） 自然科学実習（化学A）（東元　祐一郎，本田　健） 自然科学実習（生物B）（大沼　雅明，森部　弘樹，高橋　知子）			
5	15	金	選択科目 文学（藤本　晃嗣） 歴史学（井手　麻衣子） 職業の倫理（土持　貴志） 基礎医学ディベート（首藤　隆秀，東元　祐一郎，古賀　浩徳） スポーツカルチャーを解剖する。（大橋　充典）		協同学習 協同学習8 小松　誠和		医療プロフェッショナリズム コミュニケーション能力 認知論・信頼と尊重 安川　秀雄	医療プロフェッショナリズム コミュニケーション能力 認知論・信頼と尊重 安川　秀雄	ワクチン接種 グループ②1回目	
5	18	月	生命科学（化学） 脂質の化学 東元　祐一郎	生命科学（化学） 脂質の化学 東元　祐一郎	医学統計学（基礎） 離散型確率変数と仮説検定の基本 古川　恭治	医学統計学（基礎） 離散型確率変数と仮説検定の基本 古川　恭治	医学入門実習 第3回			
5	19	火	英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）1クラス（堀　奈緒子） 英語（リーディング）2クラス（宮本　なつき） オーラルイングリッシュ12A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ12B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ12C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）3クラス（堀　奈緒子） 英語（リーディング）4クラス（宮本　なつき） オーラルイングリッシュ34A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ34B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ34C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		協同学習 協同学習9 小松　誠和			
5	20	水	生命科学（物理） 磁場と電流 花山　秀和	生命科学（物理） 電磁誘導と交流 花山　秀和	生命科学（生物） 遺伝情報の転写 齋藤　成昭	生命科学（生物） 遺伝情報の翻訳 齋藤　成昭	自然科学実習 自然科学実習（物理A）（長澤　真樹子，花山　秀和） 自然科学実習（化学B）（東元　祐一郎，本田　健） 自然科学実習（生物C）（大沼　雅明，森部　弘樹，高橋　知子）			
5	21	木	生命科学（生物） 遺伝子転写の制御 齋藤　成昭	生命科学（生物） エピジェネティクス 齋藤　成昭	選択必修科目 ドイツ語（梶浦　直子） フランス語（小澤　南海） 中国語（李　　偉） 韓国語（李　照卿）		自然科学実習 自然科学実習（物理B）（長澤　真樹子，花山　秀和） 自然科学実習（化学C）（東元　祐一郎，本田　健） 自然科学実習（生物A）（大沼　雅明，森部　弘樹，高橋　知子）			
5	22	金	選択科目 文学（藤本　晃嗣） 歴史学（井手　麻衣子） 職業の倫理（土持　貴志） 基礎医学ディベート（首藤　隆秀，東元　祐一郎，古賀　浩徳） スポーツカルチャーを解剖する。（大橋　充典）		協同学習 協同学習10 小松　誠和		医療プロフェッショナリズム コーチング　目的論・対話・傾聴・承認 安川　秀雄	医療プロフェッショナリズム コーチング　目的論・対話・傾聴・承認 安川　秀雄		
5	23	土	選択科目（久留米・筑後体験演習）							
5	25	月	生命科学（化学） 糖質の化学 東元　祐一郎	生命科学（化学） 糖質の化学 東元　祐一郎	医学統計学（基礎） 一標本ｔ検定 古川　恭治	医学統計学（基礎） 一標本ｔ検定 古川　恭治	医学入門実習 第4回			
5	26	火	英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）1クラス（堀　奈緒子） 英語（リーディング）2クラス（宮本　なつき） オーラルイングリッシュ12A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ12B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ12C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）3クラス（堀　奈緒子） 英語（リーディング）4クラス（宮本　なつき） オーラルイングリッシュ34A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ34B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ34C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		協同学習 協同学習11 小松　誠和			
5	27	水	生命科学（物理） 圧力 長澤　真樹子	生命科学（物理） 表面張力と血管や肺胞にかかる圧力 長澤　真樹子	生命科学（生物） 分解・修飾によるタンパク機能制御 齋藤　成昭	生命科学（生物） 細胞周期制御 齋藤　成昭	自然科学実習 自然科学実習（物理C）（長澤　真樹子，花山　秀和） 自然科学実習（化学A）（東元　祐一郎，本田　健） 自然科学実習（生物B）（大沼　雅明，森部　弘樹，高橋　知子）			
5	28	木	生命科学（生物） 細胞の情報伝達Ⅰ －シグナル伝達 佐藤　貴弘	生命科学（生物） 細胞の情報伝達Ⅱ －受容体 佐藤　貴弘	選択必修科目 ドイツ語（梶浦　直子） フランス語（小澤　南海） 中国語（李　　偉） 韓国語（李　照卿）		自然科学実習 自然科学実習（物理A）（長澤　真樹子，花山　秀和） 自然科学実習（化学B）（東元　祐一郎，本田　健） 自然科学実習（生物C）（大沼　雅明，森部　弘樹，高橋　知子）			
5	29	金	選択科目 文学（藤本　晃嗣） 歴史学（井手　麻衣子） 職業の倫理（土持　貴志） 基礎医学ディベート（首藤　隆秀，東元　祐一郎，古賀　浩徳） スポーツカルチャーを解剖する。（大橋　充典）		協同学習 協同学習12 小松　誠和		医療プロフェッショナリズム コーチング　主体論・自律・内発的動機付け 安川　秀雄	医療プロフェッショナリズム コーチング　主体論・自律・内発的動機付け 安川　秀雄		
6	1	月	生命科学（化学） 核酸の化学，反応速度，光と色の化学 東元　祐一郎	生命科学（化学） 核酸の化学，反応速度，光と色の化学 東元　祐一郎	医学統計学（基礎） 信頼区間 古川　恭治	医学統計学（基礎） 信頼区間 古川　恭治	医学入門実習 第5回			
6	2	火	英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）1クラス（堀　奈緒子） 英語（リーディング）2クラス（宮本　なつき） オーラルイングリッシュ12A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ12B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ12C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）3クラス（堀　奈緒子） 英語（リーディング）4クラス（宮本　なつき） オーラルイングリッシュ34A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ34B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ34C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		協同学習 協同学習13 小松　誠和			
6	3	水	生命科学（物理） 原子 花山　秀和	生命科学（物理） 光と粒子 花山　秀和	生命科学（生物） 染色体分配と細胞分裂 豊田　雄介	生命科学（生物） 有性生殖と減数分裂 石川　健	自然科学実習 自然科学実習（物理B）（長澤　真樹子，花山　秀和） 自然科学実習（化学C）（東元　祐一郎，本田　健） 自然科学実習（生物A）（大沼　雅明，森部　弘樹，高橋　知子）			
6	4	木	生命科学（生物） 細胞間のコミュニケーションと組織構築 佐野　浩子	生命科学（生物） 幹細胞の基礎と応用 佐野　浩子	選択必修科目 ドイツ語（梶浦　直子） フランス語（小澤　南海） 中国語（李　　偉） 韓国語（李　照卿）		自然科学実習 自然科学実習（物理C）（長澤　真樹子，花山　秀和） 自然科学実習（化学A）（東元　祐一郎，本田　健） 自然科学実習（生物B）（大沼　雅明，森部　弘樹，高橋　知子）			

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	8:30～9:20	9:30～10:20	10:30～11:20	11:30～12:20	13:20～14:10	14:20～15:10	15:20～16:10	16:20～17:10
							実習は13:20～17:10			
6	5	金	選択科目 文学（藤本　晃嗣） 歴史学（井手　麻衣子） 職業の倫理（土持　貴志） 基礎医学ディベート（首藤　隆秀，東元　祐一郎，古賀　浩徳） スポーツカルチャーを解剖する。（大橋　充典）		協同学習 協同学習14 小松　誠和		医療プロフェッショナリズム コーチング実践 安川　秀雄	医療プロフェッショナリズム コーチング実践 安川　秀雄		
6	6	土	選択科目（久留米・筑後体験演習）							
6	8	月	生命科学（化学） 酵素の化学，酵素反応速度論 東元　祐一郎	生命科学（化学） 酵素の化学，酵素反応速度論 東元　祐一郎	医学統計学（基礎） 2×2分割表 古川　恭治	医学統計学（基礎） 2×2分割表 古川　恭治	医学入門実習 第6回			
6	9	火	英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）1クラス（堀　奈緒子） 英語（リーディング）2クラス（宮本　なつき） オーラルイングリッシュ12A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ12B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ12C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）3クラス（堀　奈緒子） 英語（リーディング）4クラス（宮本　なつき） オーラルイングリッシュ34A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ34B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ34C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		協同学習 協同学習15 小松　誠和			
6	10	水	生命科学（物理） 連続の式 長澤　真樹子	生命科学（物理） ベルヌーイの定理 長澤　真樹子	生命科学（生物） ヒトゲノムの構造と多様性 椎村　祐樹	生命科学（生物） 遺伝子工学の基礎と応用 椎村　祐樹	ワクチン接種 グループ②1回目			
6	11	木	生命科学（生物） 遺伝学(1) ～メンデル遺伝学～ 大沼　雅明	生命科学（生物） 遺伝学(2) ～連鎖現象～ 大沼　雅明	選択必修科目 ドイツ語（梶浦　直子） フランス語（小澤　南海） 中国語（李　　偉） 韓国語（李　照卿）		自然科学実習 自然科学実習（物理A）（長澤　真樹子，花山　秀和） 自然科学実習（化学B）（東元　祐一郎，本田　健） 自然科学実習（生物C）（大沼　雅明，森部　弘樹，高橋　知子）			
6	12	金	選択科目 文学（藤本　晃嗣） 歴史学（井手　麻衣子） 職業の倫理（土持　貴志） 基礎医学ディベート（首藤　隆秀，東元　祐一郎，古賀　浩徳） スポーツカルチャーを解剖する。（大橋　充典）		協同学習 協同学習16 小松　誠和		医療プロフェッショナリズム グリーフケア・遺族ケア 安川　秀雄	医療プロフェッショナリズム グリーフケア・遺族ケア 安川　秀雄		
6	15	月	生命科学（化学） 薬物の化学1 本田　健	生命科学（化学） 薬物の化学1 本田　健	医学統計学（基礎） 連続型データの2標本検定 安川　圭司	医学統計学（基礎） 連続型データの2標本検定 安川　圭司	アカデミックリテラシー データリテラシー(3) 柏木　孝仁	アカデミックリテラシー データリテラシー(4) 柏木　孝仁	アカデミックリテラシー データの表現(1) 小松　誠和	
6	16	火	英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）1クラス（堀　奈緒子） 英語（リーディング）2クラス（宮本　なつき） オーラルイングリッシュ12A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ12B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ12C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）3クラス（堀　奈緒子） 英語（リーディング）4クラス（宮本　なつき） オーラルイングリッシュ34A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ34B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ34C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		協同学習 協同学習17 小松　誠和			
6	17	水	生命科学（物理） X線 花山　秀和	生命科学（物理） レーザー 花山　秀和	生命科学（生物） 遺伝学(3) ～性染色体と伴性遺伝～ 大沼　雅明	生命科学（生物） 細胞質遺伝 大沼　雅明	ワクチン接種 グループ②2回目			
6	18	木	生命科学（生物） 単一の遺伝子が関与して起こる遺伝現象 大沼　雅明	生命科学（生物） 複数の遺伝子が関与することで起こる遺伝現象 大沼　雅明	選択必修科目 ドイツ語（梶浦　直子） フランス語（小澤　南海） 中国語（李　　偉） 韓国語（李　照卿）		自然科学実習 自然科学実習（物理B）（長澤　真樹子，花山　秀和） 自然科学実習（化学C）（東元　祐一郎，本田　健） 自然科学実習（生物A）（大沼　雅明，森部　弘樹，高橋　知子）			
6	19	金	選択科目 文学（藤本　晃嗣） 歴史学（井手　麻衣子） 職業の倫理（土持　貴志） 基礎医学ディベート（首藤　隆秀，東元　祐一郎，古賀　浩徳） スポーツカルチャーを解剖する。（大橋　充典）		協同学習 協同学習18 小松　誠和		医療プロフェッショナリズム ユマニチュード 本田　美和子	医療プロフェッショナリズム ユマニチュード 本田　美和子	医療プロフェッショナリズム ユマニチュード 本田　美和子	
6	20	土	選択科目（久留米・筑後体験演習）							
6	22	月	生命科学（化学） 薬物の化学2 本田　健	生命科学（化学） 薬物の化学2 本田　健	医学統計学（基礎） 統計的仮説検定の考え方 古川　恭治	医学統計学（基礎） 統計的仮説検定の考え方 古川　恭治	アカデミックリテラシー データの表現(2) 小松　誠和	アカデミックリテラシー 情報の検索と発信(1) 太田　啓介	アカデミックリテラシー 情報の検索と発信(2) 太田　啓介	
6	23	火	英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）1クラス（堀　奈緒子） 英語（リーディング）2クラス（宮本　なつき） オーラルイングリッシュ12A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ12B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ12C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）3クラス（堀　奈緒子） 英語（リーディング）4クラス（宮本　なつき） オーラルイングリッシュ34A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ34B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ34C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		協同学習 協同学習19 小松　誠和			
6	24	水	生命科学（物理） 粘性流体 長澤　真樹子	生命科学（物理） 血圧と血流 長澤　真樹子	生命科学（生物） 多因子遺伝 大沼　雅明	生命科学（生物） 染色体の異常 大沼　雅明	自然科学実習 自然科学実習（物理C）（長澤　真樹子，花山　秀和） 自然科学実習（化学A）（東元　祐一郎，本田　健） 自然科学実習（生物B）（大沼　雅明，森部　弘樹，高橋　知子）			
6	25	木	生命科学（生物） 集団遺伝学 大沼　雅明	生命科学（生物） 近親交配と遺伝病 大沼　雅明	選択必修科目 ドイツ語（梶浦　直子） フランス語（小澤　南海） 中国語（李　　偉） 韓国語（李　照卿）		自然科学実習 自然科学実習（物理A）（長澤　真樹子，花山　秀和） 自然科学実習（化学B）（東元　祐一郎，本田　健） 自然科学実習（生物C）（大沼　雅明，森部　弘樹，高橋　知子）			
6	26	金	選択科目 文学（藤本　晃嗣） 歴史学（井手　麻衣子） 職業の倫理（土持　貴志） 基礎医学ディベート（首藤　隆秀，東元　祐一郎，古賀　浩徳） スポーツカルチャーを解剖する。（大橋　充典）		協同学習 協同学習20 小松　誠和		医療プロフェッショナリズム ロールモデル 津田　尚武	医療プロフェッショナリズム ロールモデル 津田　尚武		
6	27	土	選択科目（久留米・筑後体験演習）							
6	29	月	生命科学（化学） 薬物の化学3 本田　健	生命科学（化学） 薬物の化学3 本田　健	医学統計学（基礎） 検定の誤りと検出力 古川　恭治	医学統計学（基礎） 検定の誤りと検出力 古川　恭治	アカデミックリテラシー データの表現(3) 小松　誠和	アカデミックリテラシー データの表現(4) 小松　誠和	アカデミックリテラシー プレゼンテーション 太田　啓介	
6	30	火	英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）1クラス（堀　奈緒子） 英語（リーディング）2クラス（宮本　なつき） オーラルイングリッシュ12A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ12B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ12C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）3クラス（堀　奈緒子） 英語（リーディング）4クラス（宮本　なつき） オーラルイングリッシュ34A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ34B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ34C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		協同学習 協同学習21 小松　誠和			
7	1	水	生命科学（物理） 放射線1 花山　秀和	生命科学（物理） 放射線2 花山　秀和	生命科学（生物） 生物の多様性 大沼　雅明	生命科学（生物） 原核生物の多様性 大沼　雅明	自然科学実習 自然科学実習（物理B）（長澤　真樹子，花山　秀和） 自然科学実習（化学C）（東元　祐一郎，本田　健） 自然科学実習（生物A）（大沼　雅明，森部　弘樹，高橋　知子）			
7	2	木	生命科学（生物） 真核生物の多様性 大沼　雅明	生命科学（生物） 原生生物 大沼　雅明	選択必修科目 ドイツ語（梶浦　直子） フランス語（小澤　南海） 中国語（李　　偉） 韓国語（李　照卿）		自然科学実習 自然科学実習（物理C）（長澤　真樹子，花山　秀和） 自然科学実習（化学A）（東元　祐一郎，本田　健） 自然科学実習（生物B）（大沼　雅明，森部　弘樹，高橋　知子）			

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	8:30～9:20	9:30～10:20	10:30～11:20	11:30～12:20	13:20～14:10	14:20～15:10	15:20～16:10	16:20～17:10
							実習は13:20～17:10			
7	3	金	選択科目 文学（藤本　晃嗣） 歴史学（井手　麻衣子） 職業の倫理（土持　貴志） 基礎医学ディベート（首藤　隆秀，東元　祐一郎，古賀　浩徳） スポーツカルチャーを解剖する。（大橋　充典）		協同学習 協同学習22 小松　誠和		医療プロフェッショナリズム 科目の振り返り 安川　秀雄，小松　誠和	医療プロフェッショナリズム 科目の振り返り 安川　秀雄，小松　誠和		
7	6	月	生命科学（化学） 総合演習 東元　祐一郎	生命科学（化学） 総合演習 東元　祐一郎	医学統計学（基礎） データ・AI 活用の事例 安川　圭司	医学統計学（基礎） データ・AI 活用の事例 安川　圭司	アカデミックリテラシー 医学研究リテラシー 三好　寛明	アカデミックリテラシー データの表現(5) 小松　誠和	アカデミックリテラシー データの表現(6) 小松　誠和	アカデミックリテラシー 医療と VR 片山　礼司
7	7	火	英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）1クラス（堀　奈緒子） 英語（リーディング）2クラス（宮本　なつき） オーラルイングリッシュ12A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ12B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ12C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）3クラス（堀　奈緒子） 英語（リーディング）4クラス（宮本　なつき） オーラルイングリッシュ34A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ34B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ34C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		協同学習 協同学習23 小松　誠和			
7	8	水	生命科学（物理） 物理光学 長澤　真樹子	生命科学（物理） 幾何光学 長澤　真樹子	生命科学（生物） 無脊椎動物の系統進化と多様性 大沼　雅明	生命科学（生物） 脊椎動物の系統進化と多様性 大沼　雅明	自然科学実習 自然科学実習（物理A）（長澤　真樹子，花山　秀和） 自然科学実習（化学B）（東元　祐一郎，本田　健） 自然科学実習（生物C）（大沼　雅明，森部　弘樹，高橋　知子）			
7	9	木	補充講義 未定	アカデミックリテラシー 医療と AI 柏木　孝仁	アカデミックリテラシー プログラミング基礎(1) 柏木　孝仁	アカデミックリテラシー プログラミング基礎(2) 柏木　孝仁	自然科学実習 自然科学実習（物理B）（長澤　真樹子，花山　秀和） 自然科学実習（化学C）（東元　祐一郎，本田　健） 自然科学実習（生物A）（大沼　雅明，森部　弘樹，高橋　知子）			
7	10	金	補充講義 未定		協同学習 協同学習24 小松　誠和		協同学習 協同学習25 小松　誠和			
7	11	土	選択科目（久留米・筑後体験演習）							
7	25	土	選択科目（久留米・筑後体験演習）							

［第２学期］

令和８年９月２日（水）～12月９日（水）……15週間
令和９年１月４日（月）～１月27日（水）……４週間　15週間

令和８年10月13日（火）15：30, 19日（月）15：30～……３回目Ｂ型肝炎ワクチン等接種
令和８年12月１日（火）12：30,　２日（水）12：30,　３日（木）12：30,　４日（金）12：30～……Ｂ型肝炎抗体価確認採血
令和９年１月26日（火）・27日（水）は補充講義を行う。

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	8:30～9:20	9:30～10:20	10:30～11:20	11:30～12:20	13:20～14:10	14:20～15:10	15:20～16:10	16:20～17:10
							実習は13:20～17:10			
9	2	水		地域医療学 日本の医療と地域医療の歴史 富永　正樹	地域医療学 地域医療の現状分析 富永　正樹	地域医療学 外来診療／入院診療／在宅医療 屋宮　清仁	地域医療学 地域包括ケアシステム 屋宮　清仁	地域医療学 人類学と地域医療・地域医療学，地域医療をめぐる社会的課題と将来像 内藤　美智子	地域医療学 行政の役割と関連法規，地域における多職種連携 内藤　美智子	
9	3	木		地域医療学 地域における予防医学 中村　佐知子	地域医療学 地域社会と健康 中村　佐知子		地域医療学 特別講義 今立　俊輔	地域医療学 地域医療を構成する人的要素① 新関　敬	地域医療学 地域医療を構成する人的要素② 新関　敬	
9	4	金					地域医療学 医療計画／医療連携／地域医療構想 迫　智基	地域医療学 医療保険と介護保険 迫　智基	施設体験学習Ⅰ オリエンテーション 富永　正樹	
9	7	月	施設体験学習Ⅰ							
9	8	火								
9	9	水								
9	10	木								
9	11	金								
9	14	月	施設体験学習Ⅰ							
9	15	火								
9	16	水								
9	17	木								
9	18	金								
9	21	月	敬老の日							
9	22	火	国民の休日							
9	23	水	秋分の日							
9	24	木	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む） 解剖学総論 渡部　功一	医学史 筑後地区の医学の歴史と久留米大学 牛嶋　公生	選択必修科目 ドイツ語（梶浦　直子） フランス語（小澤　南海） 中国語（李　　偉） 韓国語（李　熙卿）		組織学実習 組織学総論講義（細胞・上皮） 嶋　雄一			
9	25	金	選択科目 健康・スポーツ科学概論（右田　孝志） 哲学（土持　貴志） 英語 TOEFL（北垣　浩志） 社会心理学（浅野　良輔） 観光英語（大場　智恵子）		人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む） 運動器系・筋学① 田平　陽子		組織学実習 オリエンテーション・顕微鏡の取扱い 嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
9	28	月	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む） 循環器系① 渡部　功一	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む） 循環器系② 渡部　功一	医学統計学（応用） 医学統計学（基礎）の復習 古川　恭治	医学統計学（応用） 医学統計学（基礎）の復習 古川　恭治	選択科目 法学（薗田　史） 数学（森　信之） 人文地理学（崎田　誠志郎） いのちの倫理（伊佐　智子） 経済学概論（宇野木　広樹）			
9	29	火	英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）1クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）2クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ12A クラス（キャスリン　ブラウン） オーラルイングリッシュ12B クラス（ラッツ　ディヴィッド） オーラルイングリッシュ12C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）3クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）4クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ34A クラス（キャスリン　ブラウン） オーラルイングリッシュ34B クラス（ラッツ　ディヴィッド） オーラルイングリッシュ34C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		選択科目 社会学（平井　太規） 論理学（水谷　亮介） 文化人類学（永吉　守） 文献調査法（野村　知子）			
9	30	水	医学心理学 医学教育 岡村　尚昌	医学心理学 行動科学的アプローチ 岡村　尚昌	細胞機能生理学 生体の恒常性と生体における情報伝達（総論） 中島　則行	細胞機能生理学 体液(1) 体液のイオン組成と浸透圧 村井　恵良	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む） 運動器系・骨学実習① 田平　陽子			
10	1	木		医学史 西洋医学史(1) 佐藤　裕	選択必修科目 ドイツ語（梶浦　直子） フランス語（小澤　南海） 中国語（李　　偉） 韓国語（李　熙卿）		組織学実習 組織学総論　上皮組織 嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	8:30～9:20	9:30～10:20	10:30～11:20	11:30～12:20	13:20～14:10	14:20～15:10	15:20～16:10	16:20～17:10
							実習は13:20～17:10			
10	2	金	選択科目 健康・スポーツ科学概論（右田　孝志） 哲学（土持　貴志） 英語 TOEFL（北垣　浩志） 社会心理学（浅野　良輔） 観光英語（大場　智恵子）		人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む） 運動器系・筋学② 田平　陽子	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む） 消化器系① 嶋　雄一	組織学実習 組織学総論　腺組織 嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子			
10	5	月	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む） 循環器系③ 渡部　功一	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む） 循環器系④ 渡部　功一	医学統計学（応用） 研究デザイン 大山　哲司	医学統計学（応用） 研究デザイン 大山　哲司	選択科目 法学（薗田　史） 数学（森　信之） 人文地理学（崎田　誠志郎） いのちの倫理（伊佐　智子） 経済学概論（宇野木　広樹）			
10	6	火	英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）1クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）2クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ12A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ12B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ12C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）3クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）4クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ34A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ34B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ34C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		選択科目 社会学（平井　太規） 論理学（水谷　亮介） 文化人類学（永吉　守） 文献調査法（野村　知子）			
10	7	水	医学心理学 印象形成 岡村　尚昌	医学心理学 社会的認知 岡村　尚昌	細胞機能生理学 体液(2) 体液 pH の調節機構 村井　恵良	細胞機能生理学 体液(3) 体液の溶存ガスと pH の異常 村井　恵良	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む） 運動器系・骨学実習② 田平　陽子			
10	8	木	組織学実習 組織学総論講義（結合組織） 嶋　雄一	医学史 西洋医学史(2) 佐藤　裕	選択必修科目 ドイツ語（梶浦　直子） フランス語（小澤　南海） 中国語（李　　偉） 韓国語（李　照卿）		組織学実習 組織学総論　結合組織 嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
10	9	金	選択科目 健康・スポーツ科学概論（右田　孝志） 哲学（土持　貴志） 英語 TOEFL（北垣　浩志） 社会心理学（浅野　良輔） 観光英語（大場　智恵子）		人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む） 運動器系・筋学③ 田平　陽子	組織学実習 組織学総論講義（軟骨・骨） 嶋　雄一	組織学実習 組織学総論　軟骨・骨 嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
10	12	月	スポーツの日							
10	13	火	英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）1クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）2クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ12A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ12B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ12C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）3クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）4クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ34A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ34B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ34C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		選択科目 社会学（平井　太規） 論理学（水谷　亮介） 文化人類学（永吉　守） 文献調査法（野村　知子）	ワクチン接種 グループ①3回目		
10	14	水	医学心理学 全人的医療 岡村　尚昌	医学心理学 集団の意思決定過程 岡村　尚昌	細胞機能生理学 細胞膜を介した物質輸送 中島　則行	細胞機能生理学 静止電位の発生機構 中島　則行	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む） 運動器系・骨学実習③ 田平　陽子			
10	15	木	組織学実習 組織学総論講義（血液） 嶋　雄一	医学史 解剖の歴史 佐藤　裕	選択必修科目 ドイツ語（梶浦　直子） フランス語（小澤　南海） 中国語（李　　偉） 韓国語（李　照卿）		組織学実習 組織学総論　血液・造血 嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
10	16	金	選択科目 健康・スポーツ科学概論（右田　孝志） 哲学（土持　貴志） 英語 TOEFL（北垣　浩志） 社会心理学（浅野　良輔） 観光英語（大場　智恵子）		人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む） 運動器系・筋学④ 田平　陽子	組織学実習 組織学総論講義（筋） 嶋　雄一	組織学実習 組織学総論　筋組織 嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
10	19	月	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む） 循環器系⑤ 渡部　功一	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む） 循環器系⑥ 渡部　功一	医学統計学（応用） 連続データの二標本問題 安川　圭司	医学統計学（応用） 連続データの二標本問題 安川　圭司	選択科目 法学（薗田　史） 数学（森　信之） 人文地理学（崎田　誠志郎） いのちの倫理（伊佐　智子） 経済学概論（宇野木　広樹）	ワクチン接種 グループ②3回目		
10	20	火	英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）1クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）2クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ12A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ12B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ12C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）3クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）4クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ34A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ34B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ34C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		選択科目 社会学（平井　太規） 論理学（水谷　亮介） 文化人類学（永吉　守） 文献調査法（野村　知子）	組織学実習 組織学総論講義（神経組織） 嶋　雄一		
10	21	水	医学心理学 性格 岡村　尚昌	医学心理学 類型論 岡村　尚昌	細胞機能生理学 活動電位の発生機構 中島　則行	細胞機能生理学 活動電位の伝導 中島　則行	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む） 運動器系・骨学実習④ 田平　陽子			
10	22	木	組織学実習 組織学総論講義（神経組織） 嶋　雄一	医学史 臨床診断学の創始と発展 佐藤　裕	選択必修科目 ドイツ語（梶浦　直子） フランス語（小澤　南海） 中国語（李　　偉） 韓国語（李　照卿）		組織学実習 組織学総論　神経組織(1) 嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
10	23	金	あのく祭							
10	24	土	あのく祭							
10	25	日	あのく祭							
10	26	月	休講							
10	27	火	英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）1クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）2クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ12A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ12B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ12C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ 英語（リーディング）3クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）4クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ34A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ34B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ34C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		選択科目 社会学（平井　太規） 論理学（水谷　亮介） 文化人類学（永吉　守） 文献調査法（野村　知子）			
10	28	水	医学心理学 特性論 岡村　尚昌	医学心理学 適応 岡村　尚昌	細胞機能生理学 シナプス伝達 中島　則行	細胞機能生理学 細胞内信号伝達系(1) 中島　則行				
10	29	木	医学史 北部九州地方の医学・洋学(1) 吉田　洋一		選択必修科目 ドイツ語（梶浦　直子） フランス語（小澤　南海） 中国語（李　　偉） 韓国語（李　照卿）		組織学実習 第1回組織学実習試験 嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
10	30	金	選択科目 健康・スポーツ科学概論（右田　孝志） 哲学（土持　貴志） 英語 TOEFL（北垣　浩志） 社会心理学（浅野　良輔） 観光英語（大場　智恵子）		人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む） 運動器系・筋学⑤ 田平　陽子		組織学実習 オリエンテーション（各論）・組織染色法 嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
11	2	月	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む） 循環器系⑦ 渡部　功一	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む） 循環器系⑧ 渡部　功一	医学統計学（応用） コンピュータ実習① 連続データの二標本問題 安川　圭司	医学統計学（応用） コンピュータ実習① 連続データの二標本問題 安川　圭司	選択科目 法学（薗田　史） 数学（森　信之） 人文地理学（崎田　誠志郎） いのちの倫理（伊佐　智子） 経済学概論（宇野木　広樹）	組織学実習 組織学総論講義（循環器） 嶋　雄一		
11	3	火								

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	8:30～9:20	9:30～10:20	10:30～11:20	11:30～12:20	13:20～14:10	14:20～15:10	15:20～16:10	16:20～17:10
							実習は13:20～17:10			
11	4	水	医学心理学	医学心理学	細胞機能生理学	細胞機能生理学	組織学実習			
			動機づけ	多理論統合モデル	細胞内信号伝達系(2)	横紋筋の構造と機能(1)	循環器(1)　動脈・静脈			
			岡村　尚昌	岡村　尚昌	中島　則行	中島　則行	嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
11	5	木	人体の構築Ⅰ(骨学実習を含む)	医学史	選択必修科目		組織学実習			
			リンパ系・免疫系①	北部九州地方の医学・洋学(2)	ドイツ語（梶浦　直子） フランス語（小澤　南海） 中国語（李　　偉） 韓国語（李　照卿）		循環器(2)　毛細血管　　免疫系(1)　リンパ節			
			嶋　雄一	吉田　洋一			嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
11	6	金	選択科目		人体の構築Ⅰ(骨学実習を含む)	人体の構築Ⅰ(骨学実習を含む)	組織学実習			
			健康・スポーツ科学概論（榎本　美佳） 哲学（土持　貴志） 英語 TOEFL（北垣　浩志） 社会心理学（浅野　良輔） 観光英語（大場　智恵子）		運動器系・筋学⑥	リンパ系・免疫系②	免疫系(2)　胸腺・脾臓・MALT			
					田平　陽子	嶋　雄一	嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
11	9	月	人体の構築Ⅰ(骨学実習を含む)	人体の構築Ⅰ(骨学実習を含む)	医学統計学（応用）	医学統計学（応用）	選択科目		人体の構築Ⅰ(骨学実習を含む)	
			循環器系⑨	循環器系⑩	線形回帰分析	線形回帰分析	法学（薗田　史） 数学（森　信之） 人文地理学（崎田　誠志郎） いのちの倫理（伊佐　智子） 経済学概論（宇野木　広樹）		消化器系②	
			渡部　功一	渡部　功一	安川　圭司	安川　圭司			嶋　雄一	
11	10	火	英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ		英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ		選択科目		人体の構築Ⅰ(骨学実習を含む)	
			英語（リーディング）1クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）2クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ12A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ12B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ12C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		英語（リーディング）3クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）4クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ34A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ34B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ34C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		社会学（平井　太規） 論理学（水谷　亮介） 文化人類学（永吉　守） 文献調査法（野村　知子）	消化器系③	
									嶋　雄一	
11	11	水	医学心理学	医学心理学	細胞機能生理学	細胞機能生理学	組織学実習			
			WHO の健康の定義	未病	横紋筋の構造と機能(2)	平滑筋の構造と機能	消化器系(1)　口腔・歯・舌			
			岡村　尚昌	岡村　尚昌	中島　則行	中島　則行	嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
11	12	木	人体の構築Ⅰ(骨学実習を含む)	医学史	選択必修科目		組織学実習			
			消化器系④	戦争の医学史	ドイツ語（梶浦　直子） フランス語（小澤　南海） 中国語（李　　偉） 韓国語（李　照卿）		消化器系(2)　食道・胃			
			嶋　雄一	園田　真也			嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
11	13	金	選択科目		人体の構築Ⅰ(骨学実習を含む)	人体の構築Ⅰ(骨学実習を含む)	組織学実習			
			健康・スポーツ科学概論（榎本　美佳） 哲学（土持　貴志） 英語 TOEFL（北垣　浩志） 社会心理学（浅野　良輔） 観光英語（大場　智恵子）		運動器系・筋学⑦	消化器系⑤	消化器(3)　小腸・大腸・虫垂			
					田平　陽子	嶋　雄一	嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
11	16	月	人体の構築Ⅰ(骨学実習を含む)	人体の構築Ⅰ(骨学実習を含む)	医学統計学（応用）	医学統計学（応用）	選択科目		人体の構築Ⅰ(骨学実習を含む)	
			末梢神経系①	末梢神経系②	コンピュータ実習② 線形回帰分析	コンピュータ実習② 線形回帰分析	法学（薗田　史） 数学（森　信之） 人文地理学（崎田　誠志郎） いのちの倫理（伊佐　智子） 経済学概論（宇野木　広樹）		消化器系⑥	
			渡部　功一	渡部　功一	安川　圭司	安川　圭司			嶋　雄一	
11	17	火	英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ		英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ		選択科目		人体の構築Ⅰ(骨学実習を含む)	
			英語（リーディング）1クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）2クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ12A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ12B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ12C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		英語（リーディング）3クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）4クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ34A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ34B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ34C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		社会学（平井　太規） 論理学（水谷　亮介） 文化人類学（永吉　守） 文献調査法（野村　知子）	消化器系⑦	
									嶋　雄一	
11	18	水	医学心理学	医学心理学	細胞機能生理学	細胞機能生理学	組織学実習			
			偽薬効果	質的アプローチ	外界の刺激受容の基本原理	機械刺激の受容機構(1) 触覚および深部感覚の受容器	消化器系(4)　肝臓・胆嚢・膵臓			
			岡村　尚昌	岡村　尚昌	中島　則行	中島　則行	嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
11	19	木	人体の構築Ⅰ(骨学実習を含む)	医学史	選択必修科目		組織学実習			
			呼吸器系①	日本における近代医学の導入経過	ドイツ語（梶浦　直子） フランス語（小澤　南海） 中国語（李　　偉） 韓国語（李　照卿）		呼吸器系(1)　鼻腔・喉頭			
			嶋　雄一	園田　真也			嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
11	20	金	選択科目		人体の構築Ⅰ(骨学実習を含む)	人体の構築Ⅰ(骨学実習を含む)	組織学実習			
			健康・スポーツ科学概論（榎本　美佳） 哲学（土持　貴志） 英語 TOEFL（北垣　浩志） 社会心理学（浅野　良輔） 観光英語（大場　智恵子）		運動器系・筋学⑧	呼吸器系②	呼吸器系(2)　肺・気管			
					田平　陽子	嶋　雄一	嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
11	23	月	勤労感謝の日							
11	24	火	英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ		英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ		選択科目			
			英語（リーディング）1クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）2クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ12A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ12B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ12C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		英語（リーディング）3クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）4クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ34A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ34B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ34C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		社会学（平井　太規） 論理学（水谷　亮介） 文化人類学（永吉　守） 文献調査法（野村　知子）		
11	25	水	医学心理学	医学心理学	細胞機能生理学	細胞機能生理学	人体の構築Ⅰ(骨学実習を含む)			
			トランスアクショナル・モデル	ストレスの病理	機械刺激の受容機構(2) 聴覚器における信号変換の仕組み	機械刺激の受容機構(3) 平衡器における信号変換の仕組み	運動器系・骨学実習⑤			
			岡村　尚昌	岡村　尚昌	中島　則行	中島　則行	田平　陽子			
11	26	木		医学史	選択必修科目		組織学実習			
				漢方の歴史(1)	ドイツ語（梶浦　直子） フランス語（小澤　南海） 中国語（李　　偉） 韓国語（李　照卿）		まとめ・補講・自主学習			
				恵紙　英昭			嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
11	27	金	選択科目		人体の構築Ⅰ(骨学実習を含む)		組織学実習			
			健康・スポーツ科学概論（榎本　美佳） 哲学（土持　貴志） 英語 TOEFL（北垣　浩志） 社会心理学（浅野　良輔） 観光英語（大場　智恵子）		運動器系・筋学⑨		第2回組織学実習試験			
					田平　陽子		嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
11	30	月	人体の構築Ⅰ(骨学実習を含む)	人体の構築Ⅰ(骨学実習を含む)	医学統計学（応用）	医学統計学（応用）	選択科目		人体の構築Ⅰ(骨学実習を含む)	
			末梢神経系③	末梢神経系④	分割表の解析とロジスティック回帰分析	分割表の解析とロジスティック回帰分析	法学（薗田　史） 数学（森　信之） 人文地理学（崎田　誠志郎） いのちの倫理（伊佐　智子） 経済学概論（宇野木　広樹）		泌尿器系①	
			渡部　功一	渡部　功一	大山　哲司	大山　哲司			井上　実紀	
12	1	火	英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ		英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ		選択科目		人体の構築Ⅰ(骨学実習を含む)	
			英語（リーディング）1クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）2クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ12A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ12B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ12C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		英語（リーディング）3クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）4クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ34A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ34B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ34C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		社会学（平井　太規） 論理学（水谷　亮介） 文化人類学（永吉　守） 文献調査法（野村　知子）	泌尿器系②	
									井上　実紀	
12	2	水	医学心理学	医学心理学	細胞機能生理学	細胞機能生理学	組織学実習			
			ストレスコントロール	ストレスマネジメントの理論と実践	光刺激の受容機構(1) 眼球の光学的特性	光刺激の受容機構(2) 網膜における信号変換機構	泌尿器系			
			岡村　尚昌	岡村　尚昌	中島　則行	中島　則行	嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	8:30～9:20	9:30～10:20	10:30～11:20	11:30～12:20	13:20～14:10	14:20～15:10	15:20～16:10	16:20～17:10
							実習は13:20～17:10			
12	3	木	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む）	医学史	選択必修科目		組織学実習			
			内分泌系①	漢方の歴史(2)	ドイツ語（梶浦　直子） フランス語（小澤　南海） 中国語（李　　偉） 韓国語（李　照卿）		内分泌系(1)　下垂体・膵臓			
			高橋　史也	八木　実			嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
12	4	金	選択科目		人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む）	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む）	組織学実習			
			健康・スポーツ科学概論（榎本　美佳） 哲学（土持　貴志） 英語 TOEFL（北垣　浩志） 社会心理学（浅野　良輔） 観光英語（大場　智恵子）		運動器系・筋学⑩	内分泌系②	内分泌系(2)　甲状腺・上皮小体・副腎			
					田平　陽子	高橋　史也	嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
12	7	月	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む）	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む）	医学統計学（応用）	医学統計学（応用）	選択科目			
			末梢神経系⑤	末梢神経系⑥	コンピュータ実習③ 分割表の解析とロジスティック回帰分析	コンピュータ実習③ 分割表の解析とロジスティック回帰分析	法学（齧田　史） 数学（森　信之） 人文地理学（崎田　誠志郎） いのちの倫理（伊佐　智子） 経済学概論（宇野木　広樹）			
			渡部　功一	渡部　功一	大山　哲司	大山　哲司				
12	8	火	英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ		英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ		選択科目			
			英語（リーディング）１クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）２クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ12A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ12B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ12C クラス（ジョナサンピーターアレス）		英語（リーディング）３クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）４クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ34A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ34B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ34C クラス（ジョナサンピーターアレス）		社会学（平井　太規） 論理学（水谷　亮介） 文化人類学（永吉　守） 文献調査法（野村　知子）			
12	9	水	医学心理学	医学心理学	細胞機能生理学	細胞機能生理学				
			コミュニケーション	防衛機制	化学刺激の受容機構	侵害刺激・温度刺激の受容機構				
			岡村　尚昌	岡村　尚昌	中島　則行	中島　則行				

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	8:30～9:20	9:30～10:20	10:30～11:20	11:30～12:20	13:20～14:10	14:20～15:10	15:20～16:10	16:20～17:10
							実習は13:20～17:10			
1	4	月	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む）	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む）	医学統計学（応用）	医学統計学（応用）	選択科目		人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む）	
			末梢神経系⑦	末梢神経系⑧	生存時間解析	生存時間解析	法学（齧田　史） 数学（森　信之） 人文地理学（崎田　誠志郎） いのちの倫理（伊佐　智子） 経済学概論（宇野木　広樹）		生殖器系・女性生殖器①	
			渡部　功一	渡部　功一	大山　哲司	大山　哲司			嶋　香奈子	
1	5	火	英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ		英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ		選択科目		人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む）	
			英語（リーディング）１クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）２クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ12A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ12B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ12C クラス（ジョナサンピーターアレス）		英語（リーディング）３クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）４クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ34A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ34B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ34C クラス（ジョナサンピーターアレス）		社会学（平井　太規） 論理学（水谷　亮介） 文化人類学（永吉　守） 文献調査法（野村　知子）		生殖器系・女性生殖器② 嶋　香奈子	
1	6	水	医学心理学	医学心理学	細胞機能生理学	細胞機能生理学	組織学実習			
			共感的理解	認知の歪み	質疑応答と演習	質疑応答と演習	女性生殖器(1)　卵巣・卵管			
			岡村　尚昌	岡村　尚昌	中島　則行	中島　則行	嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
1	7	木	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む）	医学史	選択必修科目		組織学実習			
			生殖器系・女性生殖器③	輸液・栄養療法の歴史	ドイツ語（梶浦　直子） フランス語（小澤　南海） 中国語（李　　偉） 韓国語（李　照卿）		女性生殖器(2)　子宮・胎盤・乳腺			
			嶋　香奈子	加治　建			嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
1	8	金	選択科目		人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む）		組織学実習			
			健康・スポーツ科学概論（奥野　真由） 哲学（土持　貴志） 英語 TOEFL（北垣　浩志） 社会心理学（浅野　良輔） 観光英語（大場　智恵子）		生殖器系・男性生殖器①		男性生殖器(1)　精管・前立腺・陰茎			
					井上　実紀		嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
1	11	月	成人の日							
1	12	火	英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ		英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ		選択科目			
			英語（リーディング）１クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）２クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ12A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ12B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ12C クラス（ジョナサンピーターアレス）		英語（リーディング）３クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）４クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ34A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ34B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ34C クラス（ジョナサンピーターアレス）		社会学（平井　太規） 論理学（水谷　亮介） 文化人類学（永吉　守） 文献調査法（野村　知子）			
1	13	水	医学心理学	医学心理学	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む）		組織学実習			
			エリクソン	人生課題	生殖器系・男性生殖器②		男性生殖器(2)　精巣・精巣上体			
			岡村　尚昌	岡村　尚昌	井上　実紀		嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
1	14	木	組織学実習		選択必修科目		組織学実習			
			組織学総論講義（中枢神経）		ドイツ語（梶浦　直子） フランス語（小澤　南海） 中国語（李　　偉） 韓国語（李　照卿）		神経組織(2)　中枢神経			
			嶋　雄一				嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
1	15	金	選択科目		人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む）	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む）	組織学実習			
			健康・スポーツ科学概論（奥野　真由） 哲学（土持　貴志） 英語 TOEFL（北垣　浩志） 社会心理学（浅野　良輔） 観光英語（大場　智恵子）		感覚器系①	感覚器系②	感覚器系(1)　視覚器			
					平田　憲	平田　憲	嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
1	18	月	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む）	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む）	医学統計学（応用）	医学統計学（応用）	選択科目		人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む）	
			末梢神経系⑨	末梢神経系⑩	コンピュータ実習④ 生存時間解析	コンピュータ実習④ 生存時間解析	法学（齧田　史） 数学（森　信之） 人文地理学（崎田　誠志郎） いのちの倫理（伊佐　智子） 経済学概論（宇野木　広樹）		特別講義	
			渡部　功一	渡部　功一	大山　哲司	大山　哲司			山木　宏一	
1	19	火	英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ		英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ		選択科目			
			英語（リーディング）１クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）２クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ12A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ12B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ12C クラス（ジョナサンピーターアレス）		英語（リーディング）３クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）４クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ34A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ34B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ34C クラス（ジョナサンピーターアレス）		社会学（平井　太規） 論理学（水谷　亮介） 文化人類学（永吉　守） 文献調査法（野村　知子）			
1	20	水	医学心理学	医学心理学	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む）		組織学実習			
			ソーシャルサポート	固有文化	感覚器系③		感覚器系(2)　皮膚			
			岡村　尚昌	岡村　尚昌	嶋　雄一		嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
1	21	木	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む）		選択必修科目		組織学実習			
			感覚器系④		ドイツ語（梶浦　直子） フランス語（小澤　南海） 中国語（李　　偉） 韓国語（李　照卿）		感覚器系(3)　聴覚器・前庭器			
			嶋　雄一				嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			
1	22	金	選択科目				組織学実習			
			健康・スポーツ科学概論（奥野　真由） 哲学（土持　貴志） 英語 TOEFL（北垣　浩志） 社会心理学（浅野　良輔） 観光英語（大場　智恵子）				第３回組織学実習試験			
							嶋　雄一，太田　啓介，井上　実紀，嶋　香奈子，高橋　史也			

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	8:30～9:20	9:30～10:20	10:30～11:20	11:30～12:20	13:20～14:10	14:20～15:10	15:20～16:10	16:20～17:10
							実習は13:20～17:10			
1	25	月			医学統計学（応用）	医学統計学（応用）	選択科目			
					コンピュータ実習⑤ これまでのまとめとデータ・AI利活用	コンピュータ実習⑤ これまでのまとめとデータ・AI利活用	法学（薗田　史） 数学（森　信之） 人文地理学（崎田　誠志郎） いのちの倫理（伊佐　智子） 経済学概論（宇野木　広樹）			
					安川　圭司	安川　圭司				
1	26	火	英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ		英語（リーディング）・オーラルイングリッシュ		補充講義			
			英語（リーディング）1クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）2クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ12A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ12B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ12C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		英語（リーディング）3クラス（宮本　なつき） 英語（リーディング）4クラス（堀　奈緒子） オーラルイングリッシュ34A クラス（キャスリンブラウン） オーラルイングリッシュ34B クラス（ラッツディヴィッド） オーラルイングリッシュ34C クラス（ジョナサンピーターアレレス）		未定			
1	27	水	補充講義				補充講義			
			未定				未定			

2026年度(令和８年度) 第１学年授業科目,担当者･総括責任者及び単位数

	授業科目	担当者・総括責任者	単位	１学期	２学期	修得必要単位数
選択科目	教養と科学					３単位以上を修得
	文学	藤本	1.5	←→		
	歴史学	井手	1.5	←→		
	社会学	平井	1.5		←→	
	法学	薗田	1.5		←→	
	論理学	水谷	1.5		←→	
	健康･スポーツ科学概論	右田･榎本･奥野	1.5		←→	
	文化人類学	永吉	1.5		←→	
	数学	森	1.5		←→	
	文献調査法	野村	1.5		←→	
	哲学	土持	1.5		←→	
	心理学	未定	1.5		←→	
	人文地理学	崎田	1.5		←→	
	職業の倫理	土持	1.5	←→		
	いのちの倫理	伊佐	1.5		←→	
	英語 TOEFL	北垣	1.5		←→	
	基礎医学ディベート	首藤	1.5	←→		
	久留米・筑後体験演習	篠倉・張	2	←→		
	社会心理学	浅野	1.5		←→	
	スポーツカルチャーを解剖する。	大橋	1.5	←→		
	観光英語	大場智	1.5		←→	
	経済学概論	宇野木	1.5		←→	
選択必修科目	教養と科学					２単位を修得
	ドイツ語	梶浦	2			
	フランス語	小澤	2			
	中国語	李偉	2			
	韓国語	李熙卿	2			
必修科目	教養と科学					
	英語（リーディング）	堀・宮本	2			必修（２単位）
	オーラルイングリッシュ	ブラウン アレレス ディヴィッド	2			必修（２単位）
	協同学習	渡部	2			必修（２単位）
	医学史	加治	0.5			必修（0.5単位）
	アカデミックリテラシー	柏木	0.5			必修（0.5単位）
	生命科学（物理）	長澤	1.5			必修（1.5単位）
	生命科学（化学）	東元	1.5			必修（1.5単位）
	生命科学（生物）	大沼	3			必修（３単位）
	自然科学実習（物理）	長澤	1			必修（１単位）
	自然科学実習（化学）	東元	1			必修（１単位）
	自然科学実習（生物）	大沼	1			必修（１単位）
	基礎医学系					
	細胞機能生理学	中島	1.5			必修（1.5単位）
	人体の構築Ⅰ(骨学実習を含む)	渡部	3.5			必修（3.5単位）
	組織学実習	嶋	6			必修（６単位）
	社会医学・行動科学系					
	医療プロフェッショナリズム	安川	1.5			必修（1.5単位）
	地域医療学	富永	0.5			必修（0.5単位）
	医学心理学	岡村	1.5			必修（1.5単位）
	医学統計学（基礎）	古川	1.5			必修（1.5単位）
	医学統計学（応用）	大山	1.5			必修（1.5単位）
	医学入門実習	嶋	1			必修（１単位）
	施設体験学習Ⅰ	富永	2.5			必修（2.5単位）
合計	選択 選択必修 必修		3単位以上 ２単位 37単位			

※ 　は必修科目，←→は選択科目
※年度によっては開講しない科目がある。

第1学年授業期間(受験資格の出欠算出期間)及び試験実施時期一覧表

《自　2026年4月8日（水）　至　2027年2月24日（水）》

科目＼学年・学期	1年 1学期	1年 2学期
文学	〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●	
歴史学	〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●	
社会学		〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
法学		〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
論理学		〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
健康･スポーツ科学概論		〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
文化人類学		〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
数学		〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
文献調査法		〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
哲学		〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
心理学		〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
人文地理学		〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
職業の倫理	〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●	
いのちの倫理		〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
英語 TOEFL		〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
基礎医学ディベート	〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●	
久留米・筑後体験演習	〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●	
社会心理学		〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
スポーツカルチャーを解剖する。	〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●	
観光英語		〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
経済学概論		〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
ドイツ語	〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜	〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
フランス語	〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜	〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
中国語	〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜	〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
韓国語	〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜	〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
英語(リーディング)	〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜	〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
オーラルイングリッシュ	〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜	〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
協同学習	〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜	
医学史		〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
アカデミックリテラシー	〜　　　　　　〜〜〜〜〜〜○●	
生命科学(物理)	〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●	
生命科学(化学)	〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●	
生命科学(生物)	〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●	
自然科学実習(物理)	――――――――――	
自然科学実習(化学)	――――――――――	
自然科学実習(生物)	――――――――――	
細胞機能生理学		〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
人体の構築Ⅰ(骨学実習を含む)		〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
組織学実習		――――――――――――
医療プロフェッショナリズム	〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●	
地域医療学		〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
医学心理学		〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
医学統計学(基礎)	〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●	
医学統計学(応用)		〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜○●
医学入門実習	―――――――　○●	
施設体験学習Ⅰ		―――

〜〜〜〜〜〜は講義時間（1／3以上欠席した者は受験資格を与えない）
――――――は実験・実習期間（1／4以上欠席した者は受験資格を与えない）
○印は定期試験
●印は追試験又は再試験
（注）試験は上記以外にも各科目とも中間試験を行うことがある。

授業科目・単位・履修方法・試験について

1．授業科目

第１学年の授業科目は，必須科目，選択必修科目，選択科目に分かれている。

本年度授業科目，担当者・総括責任者及び単位数は○○ページのとおりである。

2．単位の計算方法

⑴　選択科目

文学，歴史学，社会学，法学，論理学，健康・スポーツ科学概論，文化人類学，数学，文献調査法，哲学，心理学，人文地理学，職業の倫理，いのちの倫理，英語 TOEFL，基礎医学ディベート，社会心理学，スポーツカルチャーを解剖する。，観光英語，経済学概論

毎週２回（授業時間50分）15週（半年間）の授業で1.5単位

久留米・筑後体験演習

毎週１回　15週（半年間）の授業で２単位

⑵　選択必修科目

ドイツ語，フランス語，中国語，韓国語

毎週２回（授業時間50分）30週（１年間）の授業で２単位

⑶　必修科目

英語（リーディング），オーラルイングリッシュ

毎週２回（授業時間50分）30週（１年間）の授業で２単位

協同学習

毎週１回（授業時間250分）15週（半年間）の授業で２単位

医学史，地域医療学

毎週１回（授業時間50分）15週（半年間）の授業で0.5単位

アカデミックリテラシー

毎週１回（授業時間150分）５週（半年間）の授業で0.5単位

生命科学（物理），生命科学（化学），細胞機能生理学，医療プロフェッショナリズム，医学心理学，医学統計学（基礎），医学統計学（応用）

毎週２回（授業時間50分）15週（半年間）の授業で1.5単位

生命科学（生物）

毎週４回（授業時間50分）15週（半年間）の授業で３単位

自然科学実習（物理），自然科学実習（化学），自然科学実習（生物）

毎週１回（授業時間200分）15週（半年間）の授業で１単位

人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む）

毎週４回（授業時間50分）15週（半年間）の授業で3.5単位

組織学実習

毎週３回（授業時間200分）15週（半年間）の授業で６単位

医学入門実習

毎週１回（授業時間200分）７週（半年間）の授業で１単位

施設体験学習Ⅰ

１日８時間１週間の授業で2.5単位

3．進級に必要な条件

１年次においては定められた必修科目37単位，選択必須科目から２単位，選択科目から３単位以上修得しなければならない。

4．留　　年

学年末に進級判定がおこなわれ前項の条件を満たさない者は留年する。

留年者は留年した学年の所定の授業科目の全科目を再履修し，受験して合格しなければならない。

5．履修登録についての注意事項

① 履修科目の単位を修得するためには，自分が履修しようとする科目（必修・選択とも）を学年始めに履修届用紙に記入し，所定の期日までに提出しなければならない。このことは，自分の登録した科目の授業を受け，受験資格を得て単位を修得するための基礎となるものでこの登録を怠ると，たとえ授業に出席したとしても試験を受けることはできない。

② 履修届に登録した科目以外のものは，たとえ受講しても受験資格を与えない。

③ 履修届登録の追加・変更・取消は原則として認めない。

6．試　　験

単位を修得するためには，登録した履修科目の授業に出席し試験に合格しなければならない。

試験には，定期試験，中間試験，追試験，再試験がある。このほかに，授業担当者によっては，学期の中途に平常試験をおこなうことがある。単位の認定は，筆記試験，論文(レポート)，日常の学習状況などで判定される。評価は，ＡＡ・Ａ・Ｂ・ＣおよびＤに分け，Ｃ以上を合格として単位が認定される。Ｄは60点未満である。実験は，毎週１回の実験に出席して，自分で

おこなうことに意義があり，他の科目のように追試験・再試験に該当するものはおこなわれない。

⑴ 試験の種類と内容

① 定期試験

第１学年で履修する授業科目は，１年間を１学期と２学期に分け，それぞれの学期で終了した科目について，学期末に試験をおこなう。これを定期試験という。各科目につき，欠席回数が実講義回数の１／３以上の者は，受験資格を失って単位を修得することができない（再試験も受験できない)。実験・実習の場合は１／４以上の欠席回数で失格となる。

② 中間試験

授業担当者によって，学期の中途に実施されることがある。これのみによって単位を認定されることはないが，単位認定の重要な一要素となる。なお，通年科目の場合，１学期末の試験は中間試験的意味合いのものである。

③ 追試験

正当な理由により，定期試験または中間試験を受験できなかった場合に，その試験終了後におこなわれる。

④ 再試験

各科目の定期試験の結果不合格となった場合，その科目について，学期末に実施される。ただし，追試験の不合格者には再試験を実施しない。

再試験にあたっては，受験の手続きをするとともに，再試験料を前納しなければならない。

追試験と再試験の成績は，合格の場合，すべて60点となる。

⑵ 試験に関する注意事項

上記試験を受けるに際しては，次のことをよく注意すること。

① 試験開始20分を経過した場合は入場を許可しない。

② 試験開始20分後から試験終了５分前までは退場を許可する。

⑶ 受験に関する不正行為

定期試験，追試験及び再試験で不正行為をおこなった場合は，当該期間の試験の全科目が無効となり，従って留年となる。

試験日程及び進級基準

◎　履修および試験に関する細則の第９条第１項第１号及び第２項については，下記のとおりとする。

第１学年

⑴　定期試験（第１学期）

期　間……本　試　験　2026年７月13日（月）～７月24日（金）の２週間

追・再試験　2026年７月27日（月）～８月５日（水）の１週間

科　目……選択・必修科目で指定された科目

⑵　定期試験（第２学期）

期　間……2027年１月28日（木）～２月24日（水）の４週間

科　目……選択・必修科目で指定された科目

以上の本試験・追試験及び再試験を行う。

進級合否判定基準

⑴　態度評価を判定要件とする。態度評価がＤの場合は他科目の成績の如何に関わらず審議対象とする。

⑵　全科目60点以上を合格とする。

⑶「医学入門実習」,「施設体験学習Ⅰ」はＡＡ，Ａ，Ｂ，Ｃを合格とする。

⑷　選択必修科目から２単位，選択科目から３単位以上修得しなければならない。

ただし，第１年次で修得しようとする単位は46単位を超えてはならない。

第　2　学　年

第 2 学 年 の 学 修

久留米大学医学部医学科が掲げる基本理念である「国手の理想は常に仁なり」という言葉を第２学年の皆さんは常に念頭においていて日々を過ごしてください。

第２学年は「人体と生命について深く理解する」時期として位置づけられ，医師としての基本骨格となる必須かつ重要な医学知識を学修する時間が本格的に増えてきます。医学教育は，医学生が卒業時までに身に付けておくべき，必須の実践的診療能力（知識・技能・態度）に関する学修目標等を示したモデル・コア・カリキュラム（コアカリ）に基づいて実施されています。第２学年ではコアカリの中でも医学の基礎的な部分のうち必須であるものを身につけることが求められます。コアカリは基礎医学から，さらに第３学年からの臨床的なコアカリに引き続いていきます。そしてその延長線上に第４学年の最後に行われる共用試験 CBT（Computer-Based Testing），共用試験 OSCE（Objective Structured Clinical Examination）という全国共通に行われる２つの臨床実習前試験へとつながっていきます。これらの試験は臨床実習を始めるために国家試験に準じた試験として位置付けられ，合格の後に初めて Student　Doctor の称号が与えられます。これらのうち共用試験 CBT では第２学年で習う内容もたくさん出題されます。したがって第２学年からの学修はその意味でも非常に重要なものになります。基礎的な科目だから各科試験さえ通ればよい，というものではありません。また正常が理解できないと異常（病気）を知ることはできません。第２学年の学修内容をしっかり理解して，基礎的学問が臨床医学へどのように応用されているかを系統的に把握するようにしてください。さらに第２学年でも，「施設体験学習Ⅱ」といった医療の現場に直に接する授業も継続して行われます。また第２学年までに学んだ内容の総合的理解度を問うための基礎医学 CBT も実施されます。

第２学年では，日々進歩する生命科学を学ぶことを楽しんでください。そして，第１学年で培った協同学習にさらに磨きをかけてくれることを期待します。

第２学年　授業時間割

［第１学期］
令和８年４月３日（金）～７月10日（金）……14週間
＊第５・６週目（４／27（月）～５／８（金））の期間は２週分を１週分として取り扱う。
４月３日（金）１限目（８：30～９：20）は学年オリエンテーションにあてる。
５月26日（火）１～４限目（８：30～12：20）はりんどう会総会にあてる。

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	8：30～9：20	9：30～10：20	10：30～11：20	11：30～12：20	13：20～14：10	14：20～15：10	15：20～16：10	16：20～17：10
							実習は13：20～17：10			
4	3	金		学年オリエンテーション		細菌学	ウイルス学	ウイルス学	ウイルス学	
						微生物学序論，細菌の構造と機能	ウイルス学総論１「ウイルスとは何か」	ウイルス学総論２「ウイルスの感染経路」	ウイルス学総論３「ウイルスの感染サイクル」	
						小椋　義俊	原　好勇	原　好勇	原　好勇	
4	6	月	系統解剖学実習	臨床解剖学	系統解剖学実習		系統解剖学実習			
			ガイダンス	整形外科	背部		背面			
			全員	佐藤　公昭	全員		全員			
4	7	火	細菌学	神経科学	神経科学	系統解剖学実習				
			細菌の増殖・分類・同定	中枢神経系①概論	中枢神経系②概論	背部				
			小椋　義俊	太田　啓介	太田　啓介	全員				
4	8	水		人体機能生理学	人体機能生理学	系統解剖学実習				
				血液(1)血球の分化，赤血球の生成と崩壊	血液(2)赤血球の機能	背部，背部の筋，臀部				
				吉田　史章，山下　道生	吉田　史章，山下　道生	全員				
4	9	木	医療概説	細菌学	医化学	医化学	寄生虫学	寄生虫学		健康診断
			医療概説で何を学ぶか	細菌の遺伝学	科目評価について，医化学の学び方	医化学の学び方２	基礎医学の重要性	寄生虫学総論Ⅰ		
			山田　圭	小椋　義俊	山本　健	山本　健	井上　雅広	井上　雅広		
4	10	金	医化学	医化学	医療概説	細菌学	ウイルス学	ウイルス学	ウイルス学	
			酵素の機能と調節(1)	酵素の機能と調節(2)	漢方医の診療	細菌感染と免疫１	ウイルス学総論４「ウイルスゲノム」	ウイルス学総論５「RNA ウイルスの増殖機構」	ウイルス学総論６「DNA ウイルスの増殖製機構」	
			佐藤　秀明	佐藤　秀明	田中　聡子	小椋　義俊	原　好勇	原　好勇	柏木　孝仁	
4	13	月	系統解剖学実習	臨床解剖学	系統解剖学実習					
			背面の筋，臀部	乳腺外科	背面の筋，臀部					
			全員	山口　美樹	全員					
4	14	火	細菌学	神経科学	神経科学	発生学	系統解剖学実習			
			細菌感染と免疫２	神経細胞の興奮と伝導	基本的な神経回路	分子的制御とシグナル伝達	背面の解剖			
			小椋　義俊	中島　則行	中島　則行	嶋　雄一	全員			
4	15	水		人体機能生理学	人体機能生理学	発生学	系統解剖学実習			
				血液（３）貧血	血液（４）白血球	配偶子形成	背面の解剖			
				吉田　史章，山下　道生	吉田　史章，山下　道生	嶋　雄一	全員			
4	16	木		細菌学	医化学	医化学	神経科学	神経科学		
				感染症の予防	糖代謝（１）	糖代謝（２）	中枢神経系③概論	中枢神経系④脳室		
				小椋　義俊	山本　健	山本　健	太田　啓介	太田　啓介		
4	17	金	医化学	医化学		細菌学	ウイルス学	ウイルス学	ウイルス学	
			糖代謝（３）	糖代謝（４）		細菌の病原性１	ウイルス学総論７「免疫応答」	呼吸器ウイルス感染症１「新型コロナウイルス感染症およびパラミクソウイルス感染症」	呼吸器ウイルス感染症２「インフルエンザ」	
			山本　健	山本　健		奥野　未来	原　好勇	原　好勇	柏木　孝仁	
4	20	月	系統解剖学実習		系統解剖学実習					
			背部の解剖		体壁前面の解剖					
			全員		全員					
4	21	火	細菌学	神経科学	神経科学	発生学	系統解剖学実習			
			細菌の病原性２	中枢神経⑤血流	中枢神経系⑥脊髄	排卵から着床まで	体壁前面の解剖			
			奥野　未来	太田　啓介	太田　啓介	嶋　雄一	全員			
4	22	水		人体機能生理学	人体機能生理学	発生学	系統解剖学実習			
				血液(5)血小板の機能と止血	血液(6)血液凝固・線溶系と出血傾向	二層性胚盤，三層性胚盤，胚子期	体壁前面の解剖			
				吉田　史章，山下　道生	吉田　史章，山下　道生	嶋　雄一	全員			
4	23	木		細菌学	医化学	医化学	寄生虫学	寄生虫学		
				抗菌薬と薬剤耐性１	ビタミンとミネラル(1)	ビタミンとミネラル(2)	寄生虫学総論Ⅱ	原虫総論 原虫Ⅰ（アメーバ）		
				小椋　義俊	杉島　正一	杉島　正一	井上　雅広	栗原　悠介		
4	24	金	医化学	医化学		細菌学	ウイルス学	ウイルス学	ウイルス学	
			ビタミンとミネラル(3)	ビタミンとミネラル(4)		抗菌薬と薬剤耐性２	ウイルス学総論８「ウイルスの病原性」	ウイルス性発疹症１「ヘルペス基礎編」	ウイルス性発疹症２「ヘルペス臨床編」	
			杉島　正一	杉島　正一		小椋　義俊	原　好勇	柏木　孝仁	柏木　孝仁	
4	27	月	系統解剖学実習	臨床解剖学	系統解剖学実習					
			体壁前面の解剖	放射線医学	体壁前面の解剖					
			全員	小金丸　雅道	全員					

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	8:30～9:20	9:30～10:20	10:30～11:20	11:30～12:20	13:20～14:10	14:20～15:10	15:20～16:10	16:20～17:10
							実習は13:20～17:10			
4	28	火	細菌学 抗菌薬と薬剤耐性3 小椋　義俊	神経科学 体性感覚の局所回路と皮質表現 中島　則行	神経科学 痛み感覚 中島　則行	発生学 腸管と体腔，胎児と胎盤 嶋　雄一	系統解剖学実習 体壁前面の解剖 全員			
4	29	水	昭和の日							
4	30	木	休講							
5	1	金	休講							
5	4	月	みどりの日							
5	5	火	こどもの日							
5	6	水	振替休日							
5	7	木		細菌学 グラム陰性通性嫌気性桿菌1 小椋　義俊	医化学 糖代謝(5) 山本　健	医化学 糖代謝(6) 山本　健	寄生虫学 原虫Ⅱ（鞭毛虫） 栗原　悠介	寄生虫学 原虫Ⅲ（マラリア原虫） 上村　春樹		
5	8	金	医化学 糖代謝(7) 山本　健	医化学 糖代謝(8) 山本　健	医療概説 漢方と鍼灸 沈　龍佑	細菌学 グラム陰性通性嫌気性桿菌2 山本　武司	ウイルス学 ウイルス性発疹症3「麻疹」 原　好勇	ウイルス学 ウイルス性発疹症4「風疹」 柏木　孝仁	ウイルス学 エンテロウイルス感染症「ポリオ」 柏木　孝仁	
5	11	月	系統解剖学実習 体壁前面の解剖 全員	臨床解剖学 放射線医学 藤本　公則	系統解剖学実習 心臓，腹部 全員					
5	12	火	細菌学 グラム陰性通性嫌気性桿菌3 山本　武司	神経科学 中枢神経系⑦脳幹 太田　啓介	神経科学 中枢神経系⑧脳幹 太田　啓介	発生学 軸骨格，筋系，体肢の発生 嶋　雄一	系統解剖学実習 心臓，腹部 全員			
5	13	水		人体機能生理学 心臓(1) 心臓の興奮 菊池　清志	人体機能生理学 心臓(2) 心筋の膜電位･膜電流 菊池　清志	発生学 心臓の発生 嶋　雄一	系統解剖学実習 肺，腹部 全員			
5	14	木		細菌学 グラム陰性通性嫌気性桿菌4 山本　武司	医化学 脂質代謝(1) 佐藤　秀明	医化学 脂質代謝(2) 佐藤　秀明	発生学 心臓・脈管の発生 嶋　雄一	発生学 呼吸器の発生 嶋　雄一		
5	15	金	医化学 脂質代謝(3) 佐藤　秀明	医化学 脂質代謝(4) 佐藤　秀明	医療概説 医療の専門職連携 古村　美津代	細菌学 グラム陰性好気性桿菌1 小椋　義俊	ウイルス学 ウイルス性下痢症 濱田　信之	ウイルス学 レトロウイルス感染症1「成人T細胞白血病・リンパ腫」 原　好勇	ウイルス学 レトロウイルス感染症2「エイズ」 原　好勇	
5	18	月	系統解剖学実習 心臓，肺，腹部自主学習 全員	臨床解剖学 心臓血管外科 明石　英俊	系統解剖学実習 胸腹部内臓の解剖 全員					
5	19	火	細菌学 グラム陰性好気性桿菌2 小椋　義俊	神経科学 中枢神経系⑨脳幹 太田　啓介	神経科学 中枢神経系⑩間脳 太田　啓介	発生学 消化器の発生 嶋　雄一	系統解剖学実習 心臓，腹部 全員			
5	20	水		人体機能生理学 心臓（3） 心電図の基礎･応用 菊池　清志	人体機能生理学 心臓（4） 心筋の収縮 菊池　清志	発生学 泌尿生殖器系 嶋　雄一	系統解剖学実習 心臓，腹部 全員			
5	21	木		細菌学 グラム陰性好気性球菌および球桿菌 小椋　義俊	医化学 脂質代謝（5） 佐藤　秀明	医化学 脂質代謝（6） 佐藤　秀明	寄生虫学 原虫Ⅳ (胞子虫:トキソプラズマ･有毛虫:バベシア,大腸バランチジウム,ナナホシクドア)+ニューモシスチスイベロチ(真菌) 栗原　悠介	寄生虫学 原虫Ⅴ ニューモシスチス イベロチ（真菌）の感染症の特徴および診断・治療の概要を理解する 栗原　悠介		
5	22	金	医化学 タンパク質の代謝 原田　二朗	医化学 アミノ酸代謝(1) 原田　二朗	医療概説 医療専門職の役割と連携の変遷 武谷　三恵	細菌学 らせん菌1 小椋　義俊	ウイルス学 ウイルス性肝炎1「B型肝炎」 原　好勇	ウイルス学 ウイルス性肝炎2「C型肝炎」 原　好勇	ウイルス学 ウイルス学総論11「抗ウイルス薬」 柏木　孝仁	
5	25	月	系統解剖学実習 胸部，腹部 全員	臨床解剖学 消化器外科 磯邉　太郎	系統解剖学実習 胸腹部内臓の解剖 全員					
5	26	火	りんどう会総会				系統解剖学実習 解剖体慰霊祭 全員			
5	27	水		人体機能生理学 心臓(5) 心臓機能の自律神経による調節 菊池　清志	人体機能生理学 心臓(6) 心拍出量の内因性調節，心臓のポンプ機能 菊池　清志	発生学 頭頸部・中枢神経系 嶋　雄一	系統解剖学実習 胸部，腹部 全員			
5	28	木		神経科学 中枢神経系⑪間脳 太田　啓介	医化学 アミノ酸代謝（2） 原田　二朗	医化学 アミノ酸代謝（3） 原田　二朗	神経科学 筋の神経支配 中島　則行	神経科学 姿勢制御と筋トーヌス，眼球運動制御 中島　則行		
5	29	金	医化学 アミノ酸代謝(4) 原田　二朗	医化学 アミノ酸代謝(5) 原田　二朗	医療概説 多職種連携グループワーク 山田　圭		ウイルス学 ウイルス性出血熱 原　好勇	ウイルス学 動物媒介性ウイルス感染症 原　好勇	ウイルス学 アルボウイルス感染症「蚊，ダニ媒介性」 原　好勇	

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	8:30～9:20	9:30～10:20	10:30～11:20	11:30～12:20	13:20～14:10	14:20～15:10	15:20～16:10	16:20～17:10
							実習は13:20～17:10			
6	1	月	系統解剖学実習		系統解剖学実習					
			上肢，腹部		上肢，腹部					
			全員		全員					
6	2	火	細菌学	神経科学	神経科学	神経科学	系統解剖学実習			
			らせん菌2	中枢神経系⑫ 上行性伝導路	中枢神経系⑬ 上行性伝導路	中枢神経系⑭ 大脳皮質	腹部，下肢			
			小椋　義俊	太田　啓介	太田　啓介	太田　啓介	全員			
6	3	水	細菌学	人体機能生理学	人体機能生理学	神経科学	系統解剖学実習			
			グラム陽性球菌1	循環(1) 循環器系における基礎的な流体力学1	循環(2) 循環器系における基礎的な流体力学2	中枢神経系⑮ 大脳皮質	頸部，下肢			
			奥野　未来	菊池　清志	菊池　清志	太田　啓介	全員			
6	4	木		細菌学	医化学	医化学	寄生虫学	寄生虫学	臨床解剖学	
				グラム陽性球菌2	エネルギー代謝(1)	エネルギー代謝(2)	条虫総論 条虫Ⅰ(擬葉目:裂頭条虫)	条虫Ⅱ(円葉目:テニア属無鉤条虫,有鉤状虫)	消化器内科	
				奥野　未来	山本　健	山本　健	栗原　悠介	栗原　悠介	中根　智幸	
6	5	金	医化学	医化学	医療概説	医療概説	ウイルス学	ウイルス学	ウイルス学	
			エネルギー代謝(3)	エネルギー代謝(4)	臨床研修制度	専門医制度	ウイルス学総論9 「ウイルスによる癌化機構」	プリオン病	ウイルス学総論10 「ウイルス感染症の診断法」	
			山本　健	山本　健	内野　俊郎	内野　俊郎	原　好勇	濱田　信之	柏木　孝仁	
6	8	月	系統解剖学実習	臨床解剖学	神経科学	系統解剖学実習				
			上肢，下肢	消化器外科	中枢神経系⑯ 小脳	上肢，下肢				
			全員	藤田文彦	中村　悠	全員				
6	9	火	細菌学	神経科学	神経科学	神経科学	系統解剖学実習			
			グラム陽性桿菌	中枢神経系⑰ 小脳	中枢神経系⑱ 基底核	中枢神経系⑲ 基底核	上肢，下肢			
			小椋　義俊	中村　悠	中村　悠	中村　悠	全員			
6	10	水	臨床解剖学	人体機能生理学	人体機能生理学		系統解剖学実習			
			肝胆膵外科	循環(3) 体循環と肺循環	循環(4) 微小循環，静脈循環		上肢，下肢，頭頸部の解剖Ⅰ			
			久下　亨	菊池　清志	菊池　清志		全員			
6	11	木		細菌学	医化学	医化学	神経科学	神経科学	臨床解剖学	
				マイコプラズマ	モノヌクレオチドの代謝(1)	モノヌクレオチドの代謝(2)	視床を介した情報処理，大脳皮質連合野の機能	大脳皮質連合野の機能	放射線医学	
				山本　武司	杉島　正一	杉島　正一	中島　則行	中島　則行	東南　辰幸	
6	12	金	医化学	医化学	医療概説	医療概説	寄生虫学	寄生虫学	ウイルス学	
			モノヌクレオチドの代謝(3)	モノヌクレオチドの代謝(4)	矯正施設の医療	キャリアデザインシミュレーショングループワーク	条虫Ⅲ（包虫症：エキノコックス属：単包条虫・多包条虫）	衛生動物	ウイルス学総論12 「変異と進化」	
			杉島　正一	杉島　正一	川野　大介	山田　圭	栗原　悠介	栗原　悠介	原　好勇	
6	15	月	系統解剖学実習		系統解剖学実習					
			自己学習(復習) 背面の解剖， 体壁前面の解剖		背部の解剖の復習　自主学習 体壁前面の解剖の復習　自主学習					
			全員		全員					
6	16	火	細菌学	発生学	発生学		系統解剖学実習			
			リケッチア， クラミジア	ES細胞，組織幹細胞，iPS細胞，再生医療	増殖因子,生体内再生,ダイレクトリプログラミング,細胞,iPS細胞,臨床試験		胸腹部内臓の解剖の復習　自主学習			
			小椋　義俊	小賀　健一郎	小賀　健一郎		全員			
6	17	水		人体機能生理学	人体機能生理学	神経科学	系統解剖学実習			
				循環(5) 循環の調節機構	循環(6) 循環の内分泌性調節と局所性調節／特殊領域の循環	基底核の機能	上肢，下肢，頭頸部の解剖の復習　自主学習			
				菊池　清志	菊池　清志	吉田　史章	全員			
6	18	木	細菌学	細菌学	医化学	医化学	人体機能生理学	人体機能生理学	医療概説	
			マイコバクテリウム（抗酸菌）1	マイコバクテリウム（抗酸菌）2・放線菌	ヘムの生合成と分解(1)	ヘムの生合成と分解(2)	呼吸器(1) 呼吸器の構造と機能①	呼吸器(2) 呼吸器の構造と機能②	地域医療と家庭医	
			小椋　義俊	小椋　義俊	佐藤　秀明	佐藤　秀明	村井　恵良	村井　恵良	内藤　美智子	
6	19	金	医化学	医化学	医療概説	医療概説	寄生虫学	寄生虫学	細菌学	
			ヘムの生合成と分解(3)	ヘムの生合成と分解(4)	地域における開業医の役割	リハビリテーション	吸虫総論 吸虫Ⅰ	吸虫Ⅱ 吸虫Ⅲ	真菌1	
			佐藤　秀明	佐藤　秀明	棚成　嘉文	松瀬　博夫	井上　雅広	井上　雅広	小椋　義俊	
6	22	月	系統解剖学実習	臨床解剖学	系統解剖学実習					
			上肢，骨盤腔	産婦人科学	上肢，骨盤腔					
			全員	津田　尚武	全員					
6	23	火	臨床解剖学	神経科学	神経科学	臨床解剖学	系統解剖学実習			
			循環器内科	小脳の機能	中枢神経系⑳ 下行性伝導路	泌尿器科	頸部，頭部			
			佐々木　健一郎	吉田　史章	太田　啓介	井川　掌	全員			
6	24	水		人体機能生理学	人体機能生理学	神経科学	系統解剖学実習			
				呼吸器(3) 換気機能1	呼吸器(4) 換気機能2	中枢神経系㉑ 下行性伝導路	頭部，下肢			
				村井　恵良	村井　恵良	太田　啓介	全員			
6	25	木	医療概説	医療概説	医化学	医化学	寄生虫学	寄生虫学	医療概説	
			在宅医療と緩和ケア	救急医療の現状と課題	活性酸素の発生	活性酸素の発生	吸虫Ⅳ	線虫総論 線虫Ⅰ	医療と経済	
			原口　勝	高須　修	原田　二朗	原田　二朗	井上　雅広	栗原　悠介	佐藤　敏信	

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	8:30～9:20	9:30～10:20	10:30～11:20	11:30～12:20	13:20～14:10	14:20～15:10	15:20～16:10	16:20～17:10
							実習は13:20～17:10			
6	26	金	医化学	医化学			寄生虫学	寄生虫学	細菌学	
			代謝性疾患(1)	代謝性疾患(2)			線虫Ⅱ	線虫Ⅲ	真菌2	
			山本　健	山本　健			栗原　悠介	栗原　悠介	小椋　義俊	
6	29	月	系統解剖学実習	臨床解剖学	系統解剖学実習					
			頭部，下肢	解剖学	頭部，下肢					
			全員	井上　詠子	全員					
6	30	火	細菌学	発生学	発生学	臨床解剖学	系統解剖学実習			
			感染症の診断と疫学・常在細菌叢・One Health	感覚器・外皮	先天異常・出生前診断	脳神経外科	上肢，下肢，頭頸部の解剖Ⅱ			
			小椋　義俊	嶋　雄一	嶋　雄一	下川　尚子	全員			
7	1	水	人体機能生理学	人体機能生理学	人体機能生理学	系統解剖学実習				
			呼吸器(5) 肺内ガス分布の不均等，ガスの拡散と換気血流比	呼吸器(6) 末梢組織でのガス交換	消化器(1) 消化管の構造と運動	納棺，清掃，脳実習の準備				
			村井　恵良	村井　恵良	吉田　史章，山下　道生	全員				
7	2	木	医療概説	医療概説	医化学	医化学	人体機能生理学	人体機能生理学		
			患者・家族とのコミュニケーショングループワーク①	患者・家族とのコミュニケーショングループワーク②	代謝相関(1)	代謝相関(2)	消化器(2) 消化管の運動調節	消化器(3) 消化管免疫		
			安川　秀雄	山田　圭	山本　健	山本　健	吉田　史章，山下　道生	吉田　史章，山下　道生		
7	3	金	細菌学	細菌学	医療概説	医療概説	寄生虫学	寄生虫学		
			偏性嫌気性菌1	偏性嫌気性菌2	B型肝炎患者の話	LGBTの正しい理解と対応	線虫Ⅳ	線虫Ⅴ		
			桑原　知巳	桑原　知巳	井出　達也	荒牧　明楽	栗原　悠介	栗原　悠介		
7	6	月		臨床解剖学	系統解剖学実習					
				眼科	中枢神経					
				門田　遊	全員					
7	7	火	臨床解剖学	神経科学	神経科学	系統解剖学実習				
			放射線医学	中枢神経系㉒ 辺縁系	中枢神経系㉓ 辺縁系・まとめ	中枢神経				
			内山　雄介	中村　悠	中村　悠	全員				
7	8	水		人体機能生理学	人体機能生理学	系統解剖学実習				
				消化器(4) 消化管の機能① 上部消化管と肝胆膵	消化器(5) 消化管の機能② 下部消化管	大掃除				
				吉田　史章，山下　道生	吉田　史章，山下　道生	全員				
7	9	木		人体機能生理学	人体機能生理学	人体機能生理学	寄生虫学	寄生虫学		
				消化器(6) 栄養の消化・吸収	特別講義	特別講義	RNA干渉Ⅰ (Worms are wonderful scientists.)The past, present and future of RNAi	RNA干渉Ⅱ (Worms are wonderful scientists.)The past, present and future of RNAi		
				吉田　史章，山下　道生	神吉　智丈	神吉　智丈	井上　雅広	井上　雅広		
7	10	金								

［第2学期］
令和8年8月28日（金）～9月15日（火）……3週間「施設体験学習Ⅱ」にあてる。
令和8年9月16日（水）～11月17日（火）……8週間

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	8:30～9:20	9:30～10:20	10:30～11:20	11:30～12:20	13:20～14:10	14:20～15:10	15:20～16:10	16:20～17:10
							実習は13:20～17:10			
9	16	水		人体機能生理学	人体機能生理学		Practical Clinical English M 2	Practical Clinical English M 2	Practical Clinical English M 2	
				腎臓(1) 腎臓の機能	腎臓(2) 糸球体・近位尿細管機能		Introduction	Respiratory System	Circulation System	
				村井　恵良	村井　恵良		Emiko Mizoguchi	Emiko Mizoguchi	Hiroki Aoki	
9	17	木	免疫学	免疫学	免疫学	免疫学	免疫学	免疫学	臨床解剖学	
			免疫学の基本概念	自然免疫その1	自然免疫その2	自然免疫 その3	抗原認識 その1	抗原認識 その2	形成外科	
			溝口　充志	溝口　恵美子	溝口　充志	溝口　充志	小松　誠和	小松　誠和	力丸英明	
9	18	金	病理学Ⅰ	人体機能生理学	人体機能生理学	病理学Ⅰ	病理学Ⅰ	病理学Ⅰ	病理学Ⅰ	
			序論	腎臓(3) 遠位尿細管・集合管機能	腎臓(4) 排尿機序と尿量規定因子	細胞障害・変性と細胞死①	細胞障害・変性と細胞死②	循環障害①	循環障害②	
			三好　寛明	村井　恵良	村井　恵良	中山　正道	中山　正道	古田　拓也	古田　拓也	
9	21	月	敬老の日							
9	22	火	国民の休日							
9	23	水	秋分の日							
9	24	木		免疫学	免疫学	免疫学	法医学	法医学	法医学	
				免疫系レセプターを介するシグナル伝達	B細胞の分化と維持	T細胞の分化と維持	法医学総論Ⅰ	法医学総論Ⅱ	死体現象・生活反応	
				溝口　充志	小松　誠和	岡田　季之	後任教授	後任教授	後任教授	
9	25	金	法医学	人体機能生理学	人体機能生理学	病理学Ⅰ	病理学Ⅰ	病理学Ⅰ	病理学Ⅰ	
			個人識別	腎臓(5) 体液異常と病態生理	腎臓(6) 腎不全と病態生理	循環障害③	遺伝子異常と疾患・発生発達異常①	遺伝子異常と疾患・発生発達異常②	遺伝子異常と疾患・発生発達異常③	
			副島　美貴子	村井　恵良	村井　恵良	古田　拓也	三好　寛明	三好　寛明	古田　拓也	

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	8：30～9：20	9：30～10：20	10：30～11：20	11：30～12：20	13：20～14：10	14：20～15：10	15：20～16：10	16：20～17：10
							実習は13：20～17：10			
9	28	月	病理学Ⅰ	病理学Ⅰ	病理学Ⅰ	病理学Ⅰ	細菌学実習			
			代謝障害①	代謝障害②	代謝障害③	代謝障害④	実験手技の習得			
			近藤　礼一郎	近藤　礼一郎	渡邊　順子	渡邊　順子	感染医学講座（基礎感染医学部門）の全教員			
9	29	火	薬理学Ⅰ	薬理学Ⅰ	薬理学Ⅰ	Practical Clinical English M 2	細菌学実習			
			薬理学入門①	薬理学入門②	薬理学の概念と薬物の種類①	Clinical Anatomy	菌種の推定１			
			後任教授	後任教授	首藤　隆秀	Koichi Watanabe	感染医学講座（基礎感染医学部門）の全教員			
9	30	水	臨床解剖学	人体機能生理学	人体機能生理学	Practical Clinical English M 2	細菌学実習			
			耳鼻咽喉科	内分泌(1) 総論 （ホルモンの分泌と作用機序）	内分泌(2) 視床下部・下垂体系	Biostatistics	菌種の推定２			
			末吉　慎太郎	吉田　史章，山下　道生	吉田　史章，山下　道生	Kyoji Furukawa	感染医学講座（基礎感染医学部門）の全教員			
10	1	木		免疫学	免疫学	寄生虫学実習				
				T細胞性免疫応答 その１	T細胞性免疫応答 その２	線虫・条虫・吸虫・外部寄生虫				
				溝口　充志	溝口　恵美子	井上　雅広，栗原　悠介，上村　春樹				
10	2	金	病理学Ⅰ	人体機能生理学	人体機能生理学	寄生虫学実習				
			細胞診	内分泌(3) ホルモンによる調節(1) 甲状腺ホルモン／成長・発育に関わるホルモン	内分泌(4) ホルモンによる調節(2) 上皮小体ホルモン／副腎皮質ホルモン	マラリア				
			西田　直代	吉田　史章，山下　道生	吉田　史章，山下　道生	井上　雅広，栗原　悠介，上村　春樹				
10	5	月	病理学Ⅰ	病理学Ⅰ	病理学Ⅰ	医化学実習				
			炎症と創傷治癒①	炎症と創傷治癒②	炎症と創傷治癒③	α組＝課題Ｄ：肝抽出液を用いた尿素サイクルの解析 β組＝課題Ｂ：タンパク質の精製と分析(1)				
			三好　寛明	三好　寛明	三好　寛明	佐藤　秀明，杉島　正一，原田　二朗，塚口　舞				
10	6	火	薬理学Ⅰ	薬理学Ⅰ	薬理学Ⅰ	医化学実習				
			薬理学の概念と薬物の種類②	薬理作用の本質①	薬理作用の本質②	α組＝課題Ａ：PCR による DNA 診断(1) β組＝課題Ｂ：タンパク質の精製と分析(2)				
			首藤　隆秀	後任教授	後任教授	佐藤　秀明，杉島　正一，原田　二朗，塚口　舞				
10	7	水	臨床解剖学	人体機能生理学	人体機能生理学	医化学実習				
			歯科口腔外科	特別講義	特別講義	α組＝課題Ａ：PCR による DNA 診断(2) β組＝課題Ｃ：酵素反応機構解析				
			中村　守厳	樽野　陽幸	樽野　陽幸	佐藤　秀明，杉島　正一，原田　二朗，塚口　舞				
10	8	木		免疫学	免疫学	臨床解剖学	法医学	法医学	法医学	
				体液性免疫応答と疾患 その１	体液性免疫応答と疾患 その２	消化器外科	損傷Ⅰ	損傷Ⅱ	医師の四大義務規範	
				溝口　充志	溝口　充志	疋田　茂樹	後任教授	後任教授	後任教授	
10	9	金		人体機能生理学	人体機能生理学	Practical Clinical English M 2	人体機能生理学	人体機能生理学	Practical Clinical English M 2	
				内分泌(5) ホルモンによる調節(3) 血糖調節，その他のホルモン	内分泌（６） 性ホルモンと月経周期	Urinary System, Reproductive System	質疑応答と演習①	質疑応答と演習②	Nervous System	
				吉田　史章，山下　道生	吉田　史章，山下　道生	Nobukazu Komatsu	吉田　史章	吉田　史章	Yukie Kawahara	
10	12	月	スポーツの日							
10	13	火	薬理学Ⅰ	薬理学Ⅰ	薬理学Ⅰ	医化学実習				
			予備日	薬理作用の本質③	薬理作用の本質④	α組＝課題Ｃ：酵素反応機構解析 β組＝課題Ａ：PCR による DNA 診断(1)				
				後任教授	後任教授	佐藤　秀明，杉島　正一，原田　二朗，塚口　舞				
10	14	水	臨床解剖学	人体機能生理学	人体機能生理学	医化学実習				
			スポーツ医学	特別講義 「膜生理の基礎とシミュレーションソフトの使い方」	特別講義 「膜生理の基礎とシミュレーションソフトの使い方」	α組＝課題Ｂ：タンパク質の精製と分析(1) β組＝課題Ａ：PCR による DNA 診断(2)				
			田渕　幸祐	安田　浩樹	安田　浩樹	佐藤　秀明，杉島　正一，原田　二朗，塚口　舞				
10	15	木		免疫学	免疫学	医化学実習				
				体液性免疫応答と疾患 その３	体液性免疫応答と疾患 その４	α組＝課題Ｂ：タンパク質の精製と分析(2) β組＝課題Ｄ：肝抽出液を用いた尿素サイクルの解析				
				溝口　充志	溝口　充志	佐藤　秀明，杉島　正一，原田　二朗，塚口　舞				
10	16	金	薬理学Ⅰ	薬理学Ⅰ	法医学	法医学	ウイルス学実習			
			薬物動態①：薬物の生体膜通過	薬物動態②：薬物の吸収	頭部損傷・交通事故損傷Ⅰ	頭部損傷・交通事故損傷Ⅱ	ウイルスおよび培養細胞の取り扱い方			
			黒岩　真帆美	黒岩　真帆美	後任教授	後任教授	スタッフ全員			
10	19	月	法医学	病理学Ⅰ	病理学Ⅰ	病理学Ⅰ	ウイルス学実習			
			血液型	炎症と創傷治癒④	炎症と創傷治癒⑤	神経病理	ウイルスの定量法			
			副島　美貴子	髙野　桂	髙野　桂	古田　拓也	スタッフ全員			
10	20	火	臨床解剖学	法医学	法医学	免疫学	法医学実習			
			心臓血管外科	死体検案Ⅰ	死体検案Ⅱ	適応免疫の動態	死体検案書の作成			
			廣松　伸一	後任教授	後任教授	仁平　寛士	後任教授，副島　美貴子			
10	21	水	薬理学Ⅰ	薬理学Ⅰ	薬理学Ⅰ	免疫学	ウイルス学実習			
			薬物動態③：薬物の体内分布と体内変化	薬物動態④：薬物の排泄	予備日	粘膜免疫系	ウイルス感染症の血清学的診断法			
			黒岩　真帆美	黒岩　真帆美		小松　誠和	スタッフ全員			

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	8:30～9:20	9:30～10:20	10:30～11:20	11:30～12:20	13:20～14:10	14:20～15:10	15:20～16:10	16:20～17:10
							実習は13:20～17:10			
10	22	木	Practical Clinical English M 2	免疫学	免疫学	人体機能生理学実習	薬理学 I	薬理学 I	薬理学 I	
			Physiology	宿主防御機構の破綻 先天性免疫不全 後天性免疫不全	自己免疫　概念	オリエンテーション （実習説明会）	薬物動態⑤： TDMの基礎知識と実践	薬物投与計画①	薬物投与計画②	
			Noriyuki Nakashima	溝口　恵美子	小松　誠和	実習担当教員	酒井　義朗	首藤　隆秀	首藤　隆秀	
10	23	金	あのく祭							
10	24	土	あのく祭							
10	25	日	あのく祭							
10	26	月	休講							
10	27	火	人体機能生理学実習							
			人体機能生理学実習							
			吉田　史章，村井　恵良，菊池　清志，山下　道生，中島　則行，中島　明子							
10	28	水	病理学 I	病理学 I	病理学 I	免疫学	薬理学 I	薬理学 I	薬理学 I	
				腫瘍①	腫瘍②	自己免疫　各論	薬理作用に及ぼす生体側の要因	薬物相互作用①	薬物相互作用②	
				秋葉　純	秋葉　純	溝口　恵美子	黒岩　真帆美	後任教授	後任教授	
10	29	木	人体機能生理学実習							
			人体機能生理学実習							
			吉田　史章，村井　恵良，菊池　清志，山下　道生，中島　則行，中島　明子							
10	30	金	Practical Clinical English M 2	法医学	法医学	免疫学	免疫学	免疫学	免疫学実習	
			Medical Genetics	窒息 I	窒息 II	宿主防御機構の破綻 分子擬態	アレルギーと過敏反応 その1	アレルギーと過敏反応 その2	免疫学実習オリエンテーション	
			Ken Yamamoto	池松　和哉	池松　和哉	溝口　充志	溝口　充志	溝口　充志	溝口　充志，溝口　恵美子， 仁平　寛士，小松　誠和，岡田　季之	
11	2	月	人体機能生理学実習							
			人体機能生理学実習							
			吉田　史章，村井　恵良，菊池　清志，山下　道生，中島　則行，中島　明子							
11	3	火	文化の日							
11	4	水		Practical Clinical English M 2	Practical Clinical English M 2	Practical Clinical English M 2	免疫学実習			
				Digestive system	Microscopic Anatomy	Microbiology	マウスの一次リンパ組織，二次リンパ組織の観察と 免疫担当細胞の分離・染色			
				Emiko Mizoguchi	Yuichi Shima	Yoshitoshi Ogura	岡田　季之 溝口　充志，溝口　恵美子，小松　誠和，仁平　寛士			
11	5	木	人体機能生理学実習							
			人体機能生理学実習							
			吉田　史章，村井　恵良，菊池　清志，山下　道生，中島　則行，中島　明子							
11	6	金		薬理学 I	薬理学 I	薬理学 I	免疫学実習			
				反復応用と 薬理作用	薬物の毒性①	薬物の毒性②	イムノクロマト法によるアレルゲンの同定／ アナフィラキシーショックへの対応／まとめ			
				河原　幸江	後任教授	後任教授	小松　誠和，溝口　充志 溝口　恵美子，岡田　季之，仁平　寛士			
11	9	月	人体機能生理学実習							
			人体機能生理学実習							
			吉田　史章，村井　恵良，菊池　清志，山下　道生，中島　則行，中島　明子							
11	10	火	人体機能生理学実習							
			人体機能生理学実習							
			吉田　史章，村井　恵良，菊池　清志，山下　道生，中島　則行，中島　明子							
11	11	水		病理学 I	病理学 I		免疫学実習			
				腫瘍③	腫瘍④		ELISAによる免疫関連物質の測定			
				秋葉　純	秋葉　純		小松　誠和，仁平　寛士 溝口　充志，溝口　恵美子，岡田　季之			
11	12	木	免疫学	免疫学	免疫学	Practical Clinical English M 2	免疫学実習			
			アレルギーと過敏反応 その3	アレルギーと過敏反応 その4	移植免疫	Immune System	フローサイトメトリー			
			溝口　充志	溝口　充志	溝口　充志	Atsushi Mizoguchi	岡田　季之 溝口　充志，溝口　恵美子，小松　誠和，仁平　寛士			
11	13	金	薬理学 I	薬理学 I	薬理学 I	免疫学	免疫学実習			
			薬物の毒性③	薬物の毒性④	医薬品開発と臨床研究	免疫応答の人為的制御 免疫抑制薬・生物学的製剤・ワクチン	免疫学実習まとめ			
			後任教授	黒岩　真帆美	黒岩　真帆美	溝口　充志	小松　誠和，仁平　寛士 溝口　充志，溝口　恵美子，岡田　季之			
11	16	月	病理学 I	病理学 I	病理学 I	病理学 I	Practical Clinical English M 2	免疫学	免疫学	
			病理とは？	分子病理	病理診断学総論		Summary	免疫応答の人為的制御 腫瘍免疫 その1	免疫応答の人為的制御 腫瘍免疫 その2	
			谷川　健	古田　拓也	草野　弘宣		Emiko Mizoguchi	小松　誠和	山田　亮	
11	17	火	薬理学 I	薬理学 I	法医学	法医学				
			薬害	予備日	溺死 I	溺死 II				
			黒岩　真帆美		後任教授	後任教授				

令和８年12月３日（木）～12月17日（木）……３週間

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	8:30～9:20	9:30～10:20	10:30～11:20	11:30～12:20	13:20～14:10	14:20～15:10	15:20～16:10	16:20～17:10
							実習は13:20～17:10			
12	3	木	基礎放射線医学	基礎放射線医学	法医学	法医学	基礎放射線医学			
			医学における放射線利用	放射線の安全利用	内因性急死Ⅰ	内因性急死Ⅱ	放射線物理学			
			田上　秀一	久志野　彰寛	後任教授	後任教授	久志野　彰寛			
12	4	金	法医学	法医学	基礎放射線医学	基礎放射線医学	基礎放射線医学	基礎放射線医学		
			異常温熱による障害Ⅰ	異常温熱による障害Ⅱ	放射線利用の基礎	核医学検査の基礎と臨床１	放射線療法１	CT 検査		
			佐藤　寛晃	佐藤　寛晃	田上　秀一	倉田　精二	淡河　恵津世	内山　雄介		
12	7	月	基礎放射線医学	基礎放射線医学	法医学	法医学	基礎放射線医学	基礎放射線医学		
			血管造影検査	MRI 検査	児童虐待・嬰児殺Ⅰ	児童虐待・嬰児殺Ⅱ	放射線生物学	放射線療法２		
			小金丸　雅道	長田　周治	後任教授	後任教授	大屋　夏生	淡河　恵津世		
12	8	火	法医学	法医学	基礎放射線医学	基礎放射線医学	法医学実習			
			法医中毒学Ⅰ	法医学中毒Ⅱ	胸部Ｘ線撮影	血管画像解剖とIVR	皮膚紋理検査			
			後任教授	後任教授	藤本　公則	小金丸　雅道	後任教授，副島　美貴子			
12	9	水	基礎放射線医学	基礎放射線医学	基礎放射線医学		法医学実習			
			消化管内視鏡検査	放射線の健康影響	胸部画像解剖		血液型判定（Ａグループ）			
			福永　秀平	古川　恭治	藤本　公則		後任教授，副島　美貴子			
12	10	木	法医学	法医学	基礎放射線医学	基礎放射線医学	法医学実習			
			予備日	予備日	医用機器	核医学検査の基礎と臨床２	血液型判定（Ｂグループ）			
			後任教授	後任教授	堀之内　瑞貴	倉田　精二	後任教授，副島　美貴子			
12	11	金		基礎放射線医学	法医学	法医学	法医学	法医学	基礎放射線医学	
				超音波検査	予備日	予備日	予備日	予備日	造影検査	
				黒松　亮子	後任教授	後任教授	後任教授	後任教授	東南　辰幸	
12	14	月								
12	15	火	試験日							
12	16	水	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	
			自律神経系作用薬①アドレナリン作用薬	自律神経系作用薬②アドレナリン作用薬	自律神経系作用薬③抗アドレナリン薬	自律神経系作用薬④	自律神経系作用薬⑤	実習･ロールプレイ･P-drug の説明	P-drug	
			後任教授	後任教授	後任教授	大西　克典	大西　克典	薬理学スタッフ	首藤　隆秀	
12	17	木	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	
			高血圧治療薬①	高血圧治療薬②	特別講義 薬物標的となるトランスポーター	造血薬	生体内活性物質	向精神薬①（抗うつ薬）	向精神薬②（気分安定薬）	
			中村　祐樹	中村　祐樹		大西　克典	河原　幸江	首藤　隆秀	首藤　隆秀	

令和９年１月４日（月）～１月20日（水）……３週間

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	8:30～9:20	9:30～10:20	10:30～11:20	11:30～12:20	13:20～14:10	14:20～15:10	15:20～16:10	16:20～17:10
							実習は13:20～17:10			
1	4	月	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ実習			
			ホルモンとその関連物質①経口血糖降下薬	ホルモンとその関連物質②インスリン製剤	鎮痛薬①抗炎症薬・解熱鎮痛薬	鎮痛薬②	実習Ⅰ：血圧に関する生理・薬理／実習Ⅱ：痛みの生理と鎮痛薬			
			後任教授	後任教授	河原　幸江	河原　幸江	薬理学スタッフ			
1	5	火	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ実習			
			ホルモンとその関連物質③　甲状腺ホルモンと抗甲状腺薬	ホルモンとその関連物質④　副腎皮質ホルモン	拍律調整薬①	拍律調整薬②血圧上昇薬	実習Ⅰ：血圧に関する生理・薬理／実習Ⅱ：痛みの生理と鎮痛薬			
			後任教授	後任教授	河原　幸江	河原　幸江	薬理学スタッフ			
1	6	水	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ実習			
			抗パーキンソン病薬	向精神薬③（薬物依存）	心不全治療薬	心不全治療薬	実習Ⅰ：血圧に関する生理・薬理／実習Ⅱ：痛みの生理と鎮痛薬			
			後任教授	首藤　隆秀			薬理学スタッフ			
1	7	木	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ実習			
			向精神薬④（抗不安薬･睡眠薬）	向精神薬⑤（抗精神病薬）	抗てんかん薬	抗感染症薬①	実習Ⅲ：二重盲検比較試験			
			上松　謙	首藤　隆秀	首藤　隆秀	首藤　隆秀	薬理学スタッフ			
1	8	金	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ実習			
			麻酔薬	筋弛緩薬	冠血管拡張薬	冠血管拡張薬	実習Ⅲ：二重盲検比較試験考察／実習Ⅰ：血圧に関する生理・薬理／実習Ⅱ：痛みの生理と鎮痛薬			
			河原　幸江	河原　幸江			薬理学スタッフ			
1	11	月	成人の日							

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	8:30～9:20	9:30～10:20	10:30～11:20	11:30～12:20	13:20～14:10	14:20～15:10	15:20～16:10	16:20～17:10
							実習は13:20～17:10			
1	12	火	臨床検査医学	臨床検査医学	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ実習			
			臨床検査のオリエンテーション 臨床検査の基準値	血液生化学検査	抗感染症薬②	認知症治療薬	実習Ⅳ：行動薬理と抗けいれん作用／実習Ⅴ：腸管の自律神経支配と薬理			
			内藤　嘉紀	内藤　嘉紀	首藤　隆秀	大西　克典	薬理学スタッフ			
1	13	水	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	臨床検査医学	臨床検査医学	薬理学Ⅱ実習			
			消化器作用薬①	消化器作用薬②	血液生化学検査	血清・免疫学的検査	実習Ⅳ：行動薬理と抗けいれん作用／実習Ⅴ：腸管の自律神経支配と薬理			
			中村　祐樹	中村　祐樹	内藤　嘉紀	内藤　嘉紀	薬理学スタッフ			
1	14	木	臨床検査医学	臨床検査医学	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ実習			
			血清・免疫学的検査	尿検査・糞便検査	抗悪性腫瘍薬①	抗悪性腫瘍薬②	実習Ⅳ：行動薬理と抗けいれん作用／実習Ⅴ：腸管の自律神経支配と薬理			
			内藤　嘉紀	内藤　嘉紀	首藤　隆秀	首藤　隆秀	薬理学スタッフ			
1	15	金			薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ実習			
					予備日	予備日	実習Ⅳ：行動薬理と抗けいれん作用／実習Ⅴ：腸管の自律神経支配と薬理			
							薬理学スタッフ			
1	18	月	臨床検査医学	臨床検査医学	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ実習			
			一般検査・止血血栓検査	一般検査・止血血栓検査	抗悪性腫瘍薬③	血液凝固阻止薬と促進薬	薬物治療：ロールプレイによる体験			
			山口　真紀	山口　真紀	首藤　隆秀	大西　克典	薬理学スタッフ			
1	19	火	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	臨床検査医学	臨床検査医学	薬理学Ⅱ実習			
			利尿薬	脂質異常症治療薬	細菌検査	呼吸機能検査・ガス分析	TBL 演習			
			後任教授	黒岩　真帆美	内藤　嘉紀	内藤　嘉紀	薬理学スタッフ			
1	20	水	臨床検査医学	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ	薬理学Ⅱ実習			
			病理検査と病理診断	生殖器作用薬	処方せん①	処方せん②	TBL 演習			
			内藤　嘉紀	河原　幸江	後任教授	後任教授	薬理学スタッフ			

第２学年授業期間（受験資格の出欠算出期間）及び試験実施時期一覧表

《自　2026年４月３日（金）　至　2027年３月３日（水）》

学年／学期／科目	２年	
	１学期	２学期
Practical Clinical English M2		〜〜〜〜〜〜〜〜 ○●
神経科学	〜〜〜〜〜〜〜〜 ○●	
人体機能生理学	〜〜〜〜〜〜〜〜 ○●	〜〜〜〜〜〜〜〜 ―――――――― ○●
発生学	〜〜〜〜〜〜〜〜 ○●	
臨床解剖学	〜〜〜〜〜〜〜〜	〜〜〜〜〜〜〜〜 ○●
系統解剖学実習	〜〜〜〜〜〜〜〜 ――――――――	
医化学	〜〜〜〜〜〜〜〜 ○●	―――――――― ●
細菌学	〜〜〜〜〜〜〜〜	―――――――― ○●
ウイルス学	〜〜〜〜〜〜〜〜 ○	―――――――― ●
寄生虫学	〜〜〜〜〜〜〜〜	―――――――― ○●
免疫学		〜〜〜〜〜〜〜〜 ―――――――― ○●
薬理学Ⅰ		〜〜〜〜〜〜〜〜 ○●
薬理学Ⅱ		〜〜〜〜〜〜〜〜 ―――――――― ○●
病理学Ⅰ		〜〜〜〜〜〜〜〜 ○●
医療概説	〜〜〜〜〜〜〜〜 ○●	
法医学		〜〜〜〜〜〜〜〜 ―――――――― ○●
施設体験学習Ⅱ		――
基礎放射線医学		〜〜〜〜〜〜〜〜 ○●
臨床検査医学		〜〜〜〜〜〜〜〜 ○●

〜〜〜〜〜〜〜は講義期間（１／３以上欠席した者は受験資格を与えない）

――――――――は実習期間（１／４以上欠席した者は受験資格を与えない）

○印は定期試験

●印は追試験又は再試験

（注）試験は上記以外にも各科目とも中間試験を行うことがある。

授業科目及び時間数（専門科目）

		授業科目	学年	2年		
			週数	33週		
			区分	講義	実習	合計
			科目責任者・総括責任者	時間数	時間数	
専門科目	必修科目	教養と科学				
		Practical Clinical English M2	溝口恵	11:40		11:40
		基礎医学系				
		神経科学	中島	26:40		26:40
		人体機能生理学	吉田史	38:20	40:00	78:20
		発生学	嶋	13:20		13:20
		臨床解剖学	渡部	18:20		18:20
		系統解剖学実習	渡部	36:40	130:00	166:40
		医化学	山本	38:20	25:00	63:20
		細菌学	小椋	26:40	10:00	36:40
		ウイルス学	感染制御学後任教授	23:20	10:00	33:20
		寄生虫学	井上	18:20	8:20	26:40
		免疫学	溝口充	21:40	20:00	41:40
		薬理学Ⅰ	薬理学後任教授	23:20		23:20
		薬理学Ⅱ	薬理学後任教授	40:00	36:40	76:40
		病理学Ⅰ	三好	24:10		24:10
		社会医学・行動科学系				
		医療概説	山田	16:40		16:40
		法医学	法医学後任教授	25:00	13:20	38:20
		施設体験学習Ⅱ	富永		66:40	66:40
		臨床医学系				
		基礎放射線医学	田上	15:50		15:50
		臨床検査医学	内藤	9:10		9:10
合計			必修	427:30	360:00	787:30
					787:30	787:30

試験日程及び進級基準

◎　履修および試験に関する細則の第９条第１項第１号及び第２項については，下記のとおりとする。

第２学年

⑴　各科試験

期　間……本　試　験　2026年７月13日（月）～７月24日（金）の２週間

追・再試験　2026年７月27日（月）～８月４日（火）の２週間

科　目……「神経科学」,「人体機能生理学」,「発生学」,「医化学」,「ウイルス学」,「医療概説」

⑵　各科試験

①　期　間……本試験　2026年11月20日（金）～12月２日（水）の２週間

科　目……「Practical Clinical English M2」,「人体機能生理学」,「臨床解剖学」,「細菌学」,「寄生虫学」「免疫学」,「薬理学Ⅰ」,「病理学Ⅰ」

②　期　間……本試験　2026年12月15日（火）

科　目……「法医学」,「基礎放射線医学」

③　期　間……本試験　2027年１月25日（月）・１月26日（火）

科　目……「薬理学Ⅱ」,「臨床検査医学」

④　期　間……追・再試験　2027年２月１日（月）～２月16日（火）の２週間

科　目……「Practical Clinical English M2」,「人体機能生理学」,「臨床解剖学」,「医化学」,「細菌学」,「ウイルス学」,「寄生虫学」「免疫学」,「薬理学Ⅰ」,「病理学Ⅰ」,「法医学」,「基礎放射線医学」,「薬理学Ⅱ」,「臨床検査医学」

⑶　基礎医学 CBT……2027年３月３日（水）

進級合否判定基準

⑴　態度評価を判定要件とする。態度評価がＤの場合は他科目の成績の如何に関わらず審議対象とする。

⑵　全科目および基礎医学 CBT の成績が60点以上を合格とする。

⑶「施設体験学習Ⅱ」は，ＡＡ，Ａ，Ｂ，Ｃを合格とする。

第　3　学　年

第 3 学 年 の 学 修

久留米大学医学部医学科が掲げる基本理念である「国手の理想は常に仁なり」という言葉を第３学年の皆さんは常に念頭においていて日々を過ごしてください。

第３学年では，「人の心と体の疾病とその診断および治療について深く理解する」ことを目標とします。モデル・コア・カリキュラム（コアカリ）に関連する臨床系の科目が始まります。主に各器官別また全身に及ぶ病変についての講義が行われ，ほとんどの臨床系の科目を修了します。第２学年のコアカリで学習した分子レベル，細胞レベル，臓器レベルの知識をフルに活用して，臨床を中心とした内容を理解するように努力してください。第３学年のカリキュラムを構成する科目の全てが第４学年に行われる共用試験 CBT（Computer-Based Testing）の出題範囲に入ってきますので，知識を確実に身につけるようにしましょう。第３学年で学ぶ内容は，共用試験 CBT だけでなく，総合試験や国家試験の出題内容にも直結しています。しっかり学修して，いつでも引き出せる知識にしてください。また，講義の形態が集中して短期間に行われます。一連の講義の最後に試験が行われますので，常に予習と復習を行い，それぞれの講義をしっかりと聴き，理解することが必要となります。臨床医学の基礎を学ぶのですから，これらの講義について行けないと今後の学修にも大きく影響しますので頑張りどころです。行うべきことを確実に実践しましょう。

このシラバスにはそれぞれの科目における到達目標が記載されています。それが確実にできる様になるのが第３学年のミッションです。そのためにはシラバスと電子シラバス（Hondana）を十分に活用してください。電子シラバスにはより詳細な情報が掲載されています。しっかり両者を把握してください。シラバスの内容を知らないようでは第一歩を踏み出すことができません。早いうちにあなたの一年間について把握をし，計画を立てましょう。

医学生は科学者の一員でもあります。第３学年の９月には約１か月間 RMCP（Research Mind Cultivation Program）という基礎または臨床の講座に配属され教員と共に研究に触れ，実践する機会があります。是非，リサーチ・マインドとはどういうものなのかを体験してください。そして常に医学生，社会人，医療人，研究者として常識ある態度を身につけましょう。学生であることで甘えられると勘違いをしないでください。ルールを知らなかったということは言い訳にはなりません，十分に注意する様にしてください。あなたの行動は全てあなたの自由意志の下に行われており，その結果はあなたの責任であることを再認識しておいてください。態度評価は厳格に行います。

第３学年　授業時間割

［第１学期］
令和８年４月３日（金）～７月10日（金）……13週間
＊第５・６週目（４／27（月）～５／８（金））の期間は２週分を１週分として取扱う。
４月３日（金）１限目（９：20～10：10），２限目（10：20～11：10）は，学年オリエンテーションにあてる。

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	9：20～10：10	10：20～11：10	11：20～12：10	12：20～13：10	14：10～15：00	15：10～16：00	16：10～17：00	17：10～18：00
							実習は14：10～18：00			
4	3	金	学年オリエンテーション		医療倫理学	医療倫理学	感染症学	感染症学	感染症学	
					医療倫理学で何を学ぶか	医療倫理演習①	感染症総論１（病原性・感染経路）	感染症総論２（診断と治療）	感染症総論３（法律）	
					山田　圭	山田　圭	後藤　憲志	後藤　憲志	三宅　淳	
4	6	月	病理学Ⅱ	病理学Ⅱ	病理学Ⅱ	病理学Ⅱ	学友会行事			
			呼吸器①	呼吸器②	呼吸器③	呼吸器④				
			草野　弘宣	草野　弘宣	草野　弘宣	草野　弘宣				
4	7	火	病理学Ⅱ	病理学Ⅱ	病理学Ⅱ	医療倫理学	感染症学	感染症学	感染症学	
			循環器①	循環器②	循環器③	医療事故と医療訴訟①	感染症総論４（抗ウイルス薬）	呼吸器感染症	インフルエンザ	
			加藤　誠也	加藤　誠也	加藤　誠也	稲葉　一人	岩橋　潤	後藤　憲志	宮﨑　裕之	
4	8	水	感染症学	医療倫理学	医療倫理学	医療倫理学	医療倫理学	医療倫理学	健康診断	
			医療従事者(職業)関連感染症	医療事故と医療訴訟②	患者中心の視点とチーム医療①	患者中心の視点とチーム医療②	生命倫理と医療倫理	患者の権利と個人情報保護		
			宮﨑　裕之	稲葉　一人	稲葉　一人	稲葉　一人	稲葉　一人	稲葉　一人		
4	9	木	医療倫理学	医療倫理学	医療倫理学	医療倫理学	医療倫理学	感染症学	感染症学	
			生殖技術と生命倫理	胎児医療と臨床倫理	医療倫理演習②	研究倫理	研究倫理	小児ウイルス感染症１	小児ウイルス感染症２	
			荒木　研士郎	寺町　陽三	山田　圭	関口　美穂	関口　美穂	大津　寧	大津　寧	
4	10	金	病理学Ⅱ	病理学Ⅱ	病理学Ⅱ	病理学Ⅱ	感染症学	感染症学	感染症学	
			乳腺	肝臓①	肝臓②	肝臓③	結核	結核の感染対策	真菌と日和見感染症	
			山口　倫	秋葉　純	秋葉　純	秋葉　純	上村　知子	後藤　憲志	長藤　宏司	
4	13	月	病理学Ⅱ	病理学Ⅱ	病理学Ⅱ	感染症学	感染症学	感染症学	感染症学	
			消化器①	消化器②	消化器③	小児細菌感染症１	小児細菌感染症２	神経感染症	腸管感染症の治療	
			髙野　桂	髙野　桂	髙野　桂	三宅　淳	後藤　憲志	立石　貴久	後藤　憲志	
4	14	火	感染症学	医療倫理学			感染症学	感染症学	感染症学	
			原虫疾患・寄生虫疾患	遺伝カウンセリングと生命倫理			ダニ媒介性疾患とクラミジア	院内感染	性感染症２	
			原　　樹	渡邊　順子			後藤　憲志	後藤　憲志	大蔵　尚文	
4	15	水	医療倫理学	医療倫理学	医療安全	医療倫理学	医療倫理学	医療倫理学	漢方医学	漢方医学
			精神障害への偏見・スティグマ	人工中絶と生命倫理	医療の不確実性と医療安全，医療安全の歴史，医療安全推進の基本的な考え方	脳死と生命倫理	がん告知と生命倫理	安楽死と尊厳死の生命倫理	呼吸器疾患の漢方治療	外科・整形外科疾患の漢方治療，癌における漢方治療
			内野　俊郎	堀之内　崇士	横山　晋二	柴田　龍宏	満岡　聰	満岡　聰	八木　実	八木　実
4	16	木	Practical Clinical English M3	医療安全	医療安全	漢方医学	漢方医学	漢方医学	漢方医学	
			Cardiology	ヒューマンエラーとエラーの管理，KYT（危険予知トレーニング）	インシデント報告システム，事故が起きにくいシステム，組織で取り組む医療安全	漢方治療の基本	漢方と波動医学	消化器疾患の漢方治療	皮膚科・泌尿器科領域の漢方治療	
			Hiroki Aoki	早川　晴美	田中　美穂	惠紙　英昭	惠紙　英昭，西村　靖子	坂田　雅浩	坂田　雅浩	
4	17	金	医療安全	医療安全	医療安全	Practical Clinical English M3	漢方医学	漢方医学	漢方医学	
			事故発生時の対応，医療事故調査制度	医療人としての倫理，インフォームド・コンセント	医師の法的責任，医療紛争について理解する	Pathology	産婦人科・女性に対する漢方治療	緩和ケア領域の漢方治療	精神科領域の漢方治療	
			合原　則隆	横山　晋二	横山　晋二	Rei−ichiro Kondo	駒井　幹	惠紙　英昭	惠紙　英昭	
4	20	月		病理学Ⅱ	病理学Ⅱ	Practical Clinical English M3	漢方医学	漢方医学	漢方医学	
				リンパ節	血液	Cardiovascular Surgery	女性外来の漢方治療	小児疾患の漢方治療	小児疾患の漢方治療	
				三好　寛明	三好　寛明	Eiki Tayama	亀尾　順子	田中　聡子	田中　聡子	
4	21	火	病理学Ⅱ	病理学Ⅱ	病理学Ⅱ	病理学Ⅱ	病理学Ⅱ	病理学Ⅱ	病理学Ⅱ	
			内分泌①	内分泌②	内分泌③	生殖器①(男性)	腎・泌尿器	糸球体疾患	骨軟部	
			古田　拓也	近藤　礼一郎	近藤　礼一郎	近藤　礼一郎	近藤　礼一郎	加藤　誠也	三好　寛明	
4	22	水	感染症学	医療倫理学	Practical Clinical English M3		感染症学	感染症学		
			免疫低下者における感染症	臓器移植と生命倫理	Hematology		新興・再興感染症	海外旅行に関連した感染症		
			富永　正樹	柴田　龍宏	Emiko Mizoguchi		後藤　憲志	後藤　憲志		
4	23	木		病理学Ⅱ	病理学Ⅱ	病理学Ⅱ	病理学Ⅱ	感染症学		
				生殖器②(子宮)	生殖器③(卵巣)		口腔・唾液腺	性感染症１		
				真田　咲子	真田　咲子		三好　寛明	豊澤　徳行		
4	24	金	病理学Ⅱ	病理学Ⅱ	病理学Ⅱ	病理学Ⅱ	病理学Ⅱ	病理学Ⅱ	病理学Ⅱ	
			細胞診	周産期	胆管・胆嚢・十二指腸乳頭部	膵臓	脳神経①	脳神経②	脳神経③	
			中山　正道	真田　咲子	中山　正道	中山　正道	古田　拓也	古田　拓也	宮田　元	
4	27	月	試験日（病理学Ⅱ／感染症学／医療倫理学／漢方医学／医療安全）							
4	28	火								

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	9:20～10:10	10:20～11:10	11:20～12:10	12:20～13:10	14:10～15:00	15:10～16:00	16:10～17:00	17:10～18:00
							実習は14:10～18:00			
4	29	水	昭和の日							
4	30	木	休講							
5	1	金	休講							
5	4	月	みどりの日							
5	5	火	こどもの日							
5	6	水	振替休日							
5	7	木	試験日（病理学Ⅱ／感染症学／医療倫理学／漢方医学／医療安全）							
5	8	金	循環器内科	循環器内科	循環器内科	循環器内科	麻酔科	麻酔科	麻酔科	
			心機能および循環調節・腫瘍循環器	循環器の診察・主要徴候	血栓と循環器疾患	生活習慣病・動脈硬化の概念	麻酔の概念, 歴史	麻酔と呼吸生理	麻酔と循環生理	
			福本　義弘	福本　義弘	福本　義弘	榎本　美佳	平木　照之	平木　照之	渡邉　誠之	
5	11	月	病理学Ⅱ実習							
			症例検討①							
			病理学講座スタッフ							
5	12	火	循環器内科	循環器内科	心臓・血管外科	心臓・血管外科	麻酔科	麻酔科	麻酔科	
			循環器観血的検査・治療について	心不全１	心臓手術後術後管理合併症	心膜の疾患 心臓腫瘍 肺塞栓症	吸入麻酔薬, 鎮静薬	筋弛緩薬, 鎮痛薬	術前評価と麻酔の実際	
			佐々木　健一郎	加藤　倫子	有永　康一	有永　康一	三島　康典	平田　麻衣子	藤田　太輔	
5	13	水	循環器内科	循環器内科	心臓・血管外科	心臓・血管外科	麻酔科	循環器内科	循環器内科	
			負荷心電図・心筋シンチ	心不全２	心臓外科総論	心臓外科に関連した解剖生理薬理	局所麻酔薬	心電図	心エコー図	
			田原　宣広	加藤　倫子	田山　栄基	田山　栄基	上瀧　正三郎	山方　勇樹	安川　秀雄	
5	14	木	麻酔科	麻酔科	心臓・血管外科	心臓・血管外科	麻酔科	麻酔科	心臓・血管外科	
			脊髄くも膜下麻酔, 硬膜外麻酔	輸血	虚血性心疾患の外科治療	重症心不全に対する外科治療（心移植 補助人工心臓）	麻酔と神経生理	緩和ケアⅠ	血管外科に関連した解剖	
			大下　健輔	大下　健輔	高木　数実	高木　数実	原　将人	福重　哲志	廣松　伸一	
5	15	金	循環器内科	循環器内科	心臓・血管外科	心臓・血管外科	麻酔科	麻酔科	麻酔科	
			高血圧１	高血圧２	血管外科総論 血管内治療	腹部大動脈瘤の外科治療	集中治療医学	心臓手術の麻酔	小児手術の麻酔	
			深水　亜子	深水　亜子	大塚　裕之	大塚　裕之	新山　修平	原　将人	吉野　淳	
5	18	月	病理学Ⅱ実習							
			症例検討②							
			病理学講座スタッフ							
5	19	火	麻酔科	麻酔科	心臓・血管外科	心臓・血管外科	麻酔科	麻酔科	心臓・血管外科	
			緩和ケアⅡ	高齢者の麻酔	胸部大動脈瘤 急性大動脈解離の外科治療	急性および慢性動脈閉塞症の診断と治療	区域麻酔, 神経ブロック	ペインクリニックⅠ	弁膜症の外科治療	
			津田　勝哉	川上　真代	新谷　悠介	金本　亮	太田　聡	佐野　智美	高瀬谷　徹	
5	20	水	循環器内科	循環器内科	循環器内科	循環器内科	麻酔科	麻酔科	麻酔科	
			肺高血圧	冠動脈疾患・狭心症	冠動脈疾患・心筋梗塞	二次性循環器疾患・心臓腫瘍	帝王切開の麻酔, 分娩麻酔	脳神経手術の麻酔	周術期合併症, 麻酔関連偶発症	
			田原　宣広	光武　良亮	光武　良亮	本多　亮博	木本　義敬	亀山　直光	亀山　直光	
5	21	木	循環器内科	循環器内科	循環器内科	循環器内科	麻酔科	麻酔科		
			ショックおよび循環器疾患	不整脈１	不整脈２	心筋疾患・心筋症・心筋炎	ペインクリニックⅡ	気道確保, 麻酔器具, 麻酔器		
			川上　将司	大江　征嗣	大江　征嗣	安川　秀雄	山本　洋介	横溝　美智子		
5	22	金	循環器内科	循環器内科	心臓・血管外科	心臓・血管外科	麻酔科	麻酔科	麻酔科	
			弁膜症１	弁膜症２	先天性心疾患の外科治療(1)	先天性心疾患の外科治療(2)	鏡視下手術の麻酔	蘇生法	脳死と臓器移植	
			仲吉　孝晴	仲吉　孝晴	庄嶋　賢弘	庄嶋　賢弘	平木　照之	伊藤　貴彦	原　将人	
5	25	月	病理学Ⅱ実習							
			症例検討③							
			病理学講座スタッフ							
5	26	火	心臓・血管外科	心臓・血管外科	麻酔科	麻酔科	循環器内科	循環器内科	麻酔科	
			下肢静脈瘤の病態治療	深部静脈血栓症の診断治療	周術期モニタリング	輸液, 電解質	心膜疾患	失神	手術室環境	
			廣松　伸一	廣松　伸一	中川　景子	中川　景子	大野　聡子	板家　直樹	太田　聡	
5	27	水								
5	28	木	試験日（循環器内科／麻酔科）							
5	29	金								
6	1	月	病理学Ⅱ実習							
			症例検討④							
			病理学講座スタッフ							
6	2	火					試験日（心臓・血管外科）			
6	3	水	血液内科	血液内科	Practical Clinical English M3		膠原病内科	血液内科	血液内科	
			貧血１	貧血２	Gastroenterology		膠原病総論	血液検査	血小板減少症	
			中村　剛之	中村　剛之	Masahito Nakano		海江田信二郎	毛利　文彦	山口　真紀	
6	4	木	臨床栄養学	臨床栄養学	臨床栄養学	臨床栄養学	膠原病内科	膠原病内科		
			救急(系統講義)	救急(症例検討)	肺・呼吸器(系統講義)	肺・呼吸器(症例提示)	免疫アレルギーの基礎	免疫アレルギーの基礎		
			橋詰　直樹	橋詰　直樹	橋詰　直樹	橋詰　直樹	溝口　充志	溝口　充志		

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	9:20～10:10	10:20～11:10	11:20～12:10	12:20～13:10	14:10～15:00	15:10～16:00	16:10～17:00	17:10～18:00
							実習は14:10～18:00			
6	5	金	膠原病内科	膠原病内科	血液内科	血液内科	膠原病内科	膠原病内科	血液内科	
			予備日	予備日	貧血3	小児血液学1	RA	関節リウマチ類縁疾患	造血幹細胞移植療法	
					大屋　周期	明井　孝弘	海江田　信二郎	海江田　信二郎	長藤　宏司	
6	8	月	病理学Ⅱ実習							
			症例検討⑤							
			病理学講座スタッフ							
6	9	火	臨床栄養学	臨床栄養学	臨床栄養学	臨床栄養学	膠原病内科	膠原病内科		
			褥瘡(系統講義)	褥瘡(症例検討)	腎不全患者に対する栄養療法(系統講義)	腎不全患者に対する栄養療法(症例検討)	膠原病疾患におけるアレルギーの基礎知識	予備日		
			升井　大介	升井　大介	柴田　了	柴田　了	星野　友昭			
6	10	水	臨床栄養学	臨床栄養学	臨床栄養学	臨床栄養学	膠原病内科	膠原病内科		
			肝胆膵	肝胆膵	NSTと教育	NSTと教育	SLE	炎症性筋疾患		
			川口　巧	川口　巧	朝川　貴博	朝川　貴博	海江田　信二郎	海江田　信二郎		
6	11	木			臨床栄養学	臨床栄養学	膠原病内科	膠原病内科	膠原病内科	
					消耗性疾患，周術期(系統講義)	消耗性疾患，周術期(症例検討)	膠原病関連肺疾患	血管炎症候群1	血管炎症候群2	
					七種　伸行	七種　伸行	岡元　昌樹	海江田　信二郎	海江田　信二郎	
6	12	金	Practical Clinical English M3	臨床栄養学	臨床栄養学	臨床栄養学	膠原病内科	膠原病内科	血液内科	
			Surgery	摂食嚥下障害(系統講義)	摂食嚥下障害(症例検討)	生活習慣病(系統講義)	予備日	予備日	血液凝固線溶異常症・血栓症	
			Toru Hisaka	佐藤　文彦	佐藤　文彦	渡邉　千加世			山口　真紀	
6	15	月	病理学Ⅱ実習							
			症例検討⑥							
			病理学講座スタッフ							
6	16	火	臨床栄養学	臨床栄養学	血液内科	血液内科	膠原病内科	膠原病内科		
			栄養療法の選択－静脈栄養法・経腸栄養法	栄養素投与量の決定	骨髄病理	リンパ節病理	特別講義	特別講義		
			浅桐　公男	浅桐　公男	三好　寛明	三好　寛明	藤尾　圭志	藤尾　圭志		
6	17	水	臨床栄養学	臨床栄養学	血液内科	臨床栄養学	膠原病内科	膠原病内科	臨床栄養学	
			小児(系統講義)	小児(症例検討)	小児血液学2	栄養不良と生理機能，栄養評価，日本人の食事摂取基準	全身性強皮症・混合性結合織病	シェーグレン症候群・その他の膠原病疾患1	生活習慣病(症例検討)	
			浅桐　公男	浅桐　公男	大園　秀一	石井　信二	海江田　信二郎	海江田　信二郎	渡邉　千加世	
6	18	木	臨床栄養学	臨床栄養学	臨床栄養学	臨床栄養学	膠原病内科	膠原病内科	臨床栄養学	
			体液と電解質の基礎	絶食と侵襲に対する代謝反応	がん，緩和	がん，緩和	予備日	シェーグレン症候群・その他の膠原病疾患2	生化学	
			加治　建	加治　建	東舘　成希	東舘　成希		海江田　信二郎	坂本　早季	
6	19	金	血液内科	血液内科	臨床栄養学	臨床栄養学	血液内科	血液内科	血液内科	
			多発性骨髄腫	悪性リンパ腫・血球貪食症候群	消化器（消化管の臨床解剖と消化吸収）	消化器（消化管吸収障害と蛋白漏出胃腸症）	白血病1	白血病2	白血病3	
			大崎　浩一	大崎　浩一	竹田津　英稔	竹田津　英稔	長藤　宏司	長藤　宏司	長藤　宏司	
6	22	月	病理学Ⅱ実習							
			症例検討⑦							
			病理学講座スタッフ							
6	23	火								
6	24	水	試験日（血液内科／膠原病内科／臨床栄養学）							
6	25	木								
6	26	金	消化器内科	消化器内科	消化器外科	消化器外科	消化器内科	消化器内科	消化器外科	
			消化管の炎症性疾患の原因，診断，治療	潰瘍性大腸炎・クローン病	胆道の外科的疾患と治療	膵臓の外科的疾患と治療	肝臓の構造と機能，ビリルビン代謝	肝腫瘍	胃・十二指腸疾患の外科的治療(良性)	
			吉岡　慎一郎	吉岡　慎一郎	久下　亨	久下　亨	古賀　浩徳	古賀　浩徳	磯邉　太郎	
6	29	月	病理学Ⅱ実習							
			症例検討⑧							
			病理学講座スタッフ							
6	30	火	消化器外科	消化器外科	消化器内科		消化器内科	消化器内科	消化器内科	
			原発性肝腫瘍の外科治療	転移性肝癌ならびに脾疾患の外科治療	胆膵疾患の画像診断		消化管疾患の画像診断	膵臓疾患	胆道疾患	
			酒井　久宗	酒井　久宗	阪上　尊彦		中根　智幸	平井　真吾	平井　真吾	
7	1	水	消化器内科	消化器内科	消化器外科	消化器内科	消化器外科	消化器外科	消化器内科	
			食道・胃・十二指腸の良性疾患	食道・胃の悪性疾患	肝移植	肝硬変	下部消化管の外科的治療(悪性疾患)	悪性食道疾患の外科治療	ウイルス性肝炎(慢性肝炎)	
			福永　秀平	福永　秀平	後藤　祐一	中村　徹	吉田　武史	最所　公平	井出　達也	
7	2	木	消化器内科	消化器外科	消化器内科	消化器内科	消化器外科	消化器内科	Practical Clinical English M3	
			肝疾患の画像診断	胃・十二指腸疾患の外科的治療(悪性)	下部消化管の良性疾患	アルコール性肝障害・非アルコール性脂肪性薬物性肝障害 肝疾患・代謝性肝疾患	良性食道疾患の外科治療	下部消化管の腫瘍性病変	Nephrology	
			黒松　亮子	磯邉　太郎	桑木　光太郎	川口　巧	森　直樹	中根　智幸	Kensei Taguchi	

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	9:20～10:10	10:20～11:10	11:20～12:10	12:20～13:10	14:10～15:00	15:10～16:00	16:10～17:00	17:10～18:00
							実習は14:10～18:00			
7	3	金	消化器内科 ウイルス性肝炎（急性肝炎），急性肝不全 天野　恵介	消化器内科 自己免疫性肝疾患 天野　恵介		消化器外科 腹部一般外科・術後外科代謝 石橋　生哉	消化器内科 門脈圧亢進症と食道，胃静脈瘤 井上　博人	消化器内科 消化器内科で使用する器具 竹田津　英稔	消化器外科 下部消化管の外科的治療（良性疾患） 大地　貴史	
7	6	月	病理学Ⅱ実習							
7	7	火	病理学Ⅱ実習							
7	8	水								
7	9	木	試験日（消化器内科／消化器外科）							
7	10	金								

令和８年８月24日（月）～９月25日（金）……５週間

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	9:20～10:10	10:20～11:10	11:20～12:10	12:20～13:10	14:10～15:00	15:10～16:00	16:10～17:00	17:10～18:00
							実習は14:10～18:00			
8	24	月	RMCP（Research Mind Cultivation Program）							
8	25	火								
8	26	水								
8	27	木								
8	28	金								
8	31	月	RMCP（Research Mind Cultivation Program）							
9	1	火								
9	2	水								
9	3	木								
9	4	金								
9	7	月	RMCP（Research Mind Cultivation Program）							
9	8	火								
9	9	水								
9	10	木								
9	11	金								
9	14	月	RMCP（Research Mind Cultivation Program）							
9	15	火								
9	16	水								
9	17	木								
9	18	金								
9	21	月	敬老の日							
9	22	火	国民の休日							
9	23	水	秋分の日							
9	24	木	RMCP（Research Mind Cultivation Program）							
9	25	金								

［第２学期］

令和８年９月28日（月）～12月11日（金）……11週間

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	9:20～10:10	10:20～11:10	11:20～12:10	12:20～13:10	14:10～15:00	15:10～16:00	16:10～17:00	17:10～18:00
							実習は14:10～18:00			
9	28	月	腎臓内科 腎臓の構造と機能 甲斐田　裕介	腎臓内科 原発性糸球体疾患① 甲斐田　裕介	腎臓内科 ネフローゼ症候群 甲斐田　裕介	腎臓内科 原発性糸球体疾患② 中野　薫	腎臓内科 慢性腎臓病（CKD） 柴田　了	腎臓内科 急性腎障害（AKI） 田口　顕正		
9	29	火	腎臓内科 小テスト 甲斐田　裕介	腎臓内科 尿細管・間質性疾患 柴田　了	腎臓内科 糖尿病性腎臓病 深水　圭	腎臓内科 最新の慢性腎臓病治療 深水　圭	腎臓内科 全身性疾患と腎障害 児玉　豪	腎臓内科 腎血管障害 伊藤　佐久耶		
9	30	水	腎臓内科 小テスト 甲斐田　裕介	腎臓内科 水･電解質異常① 甲斐田　裕介	腎臓内科 水･電解質異常② 甲斐田　裕介	腎臓内科 慢性腎不全の病態・合併症 實吉　帝奈	腎臓内科 遺伝性疾患と腎障害 深水　圭	腎臓内科 腎代替療法 伊藤　佐久耶		
10	1	木	腎臓内科 小テスト 甲斐田　裕介	腎臓内科 グループワーク① ドクター腎 深水　圭， 児玉　豪	腎臓内科 グループワーク② 腎病理クイズ Q＆A 柴田　了， 甲斐田　裕介	腎臓内科 グループワーク③ 腎代替療法・その他Q＆A 田口　顕正， 伊藤　佐久耶				
10	2	金	腎臓内科 自主学習				試験日（腎臓内科）			
10	5	月	呼吸器内科 症候と病態 星野　友昭	呼吸器内科 免疫とアレルギーの基礎 星野　友昭	小児外科 先天性横隔膜異常，腹壁異常，鼠径ヘルニア，停留精巣Ⅰ 加治　建	小児外科 先天性横隔膜異常，腹壁異常，鼠径ヘルニア，停留精巣Ⅱ 加治　建	泌尿器科 総論１（腎・尿路） 末金　茂高	泌尿器科 総論２（生殖器） 末金　茂高	小児外科 小児肝胆道疾患 加治　建	

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	9:20～10:10	10:20～11:10	11:20～12:10	12:20～13:10	14:10～15:00	15:10～16:00	16:10～17:00	17:10～18:00
							実習は14:10～18:00			
10	6	火	呼吸器内科	呼吸器内科	小児外科	小児外科	泌尿器科	泌尿器科	Practical Clinical English M3	
			特別講義	特別講義	小児救急疾患の診断と治療Ⅰ	小児救急疾患の診断と治療Ⅱ	診断・検査	精巣・陰嚢疾患	Urology	
			菅村　和夫	菅村　和夫	浅桐　公男	浅桐　公男	末金　茂高	熊谷　壽二	Tsukasa Igawa	
10	7	水	呼吸器内科	呼吸器内科	呼吸器・乳腺外科	呼吸器・乳腺外科	泌尿器科	泌尿器科	呼吸器内科	
			呼吸器の構造と病理１	呼吸器の構造と病理２	転移性肺腫瘍	縦隔疾患（縦隔腫瘍，重症筋無力症など）	腎細胞癌（腫瘍）	腎尿路外傷・異物	肺循環	
			富永　正樹	富永　正樹	樫原　正樹	樫原　正樹	植田　浩介	植田　浩介	古賀　丈晴	
10	8	木	呼吸器内科	呼吸器内科	呼吸器・乳腺外科	呼吸器・乳腺外科	泌尿器科	泌尿器科	呼吸器内科	
			特別講義	特別講義	原発性肺癌	肺癌の手術手技と術後合併症	先天・小児泌尿器科	勃起･射精障害，男性不妊	縦隔腫瘍・胸膜腫瘍	
			清家　正博	清家　正博	寺﨑　泰宏	寺﨑　泰宏	上村　慶一郎	上村　慶一郎	山田　一彦	
10	9	金	泌尿器科	泌尿器科	小児外科	小児外科	泌尿器科	泌尿器科	小児外科	
			前立腺癌	副腎・後腹膜腫瘍	小児の小腸，下部消化管疾患	小児の小腸，下部消化管疾患	腎移植・腎不全	尿路上皮癌	小児縦隔･肺疾患	
			井川　掌	井川　掌	古賀　義法	古賀　義法	西原　聖顕	西原　聖顕	坂本　早季	
10	12	月	スポーツの日							
10	13	火	呼吸器内科	呼吸器内科	小児外科	小児外科	泌尿器科	小児外科	泌尿器科	
			間質性肺炎	全身疾患の肺病変	小児良性腫瘍	小児固形性腫瘍Ⅰ（小児腫瘍総論）	尿路感染症（性感染症含む）	小児食道疾患	トピック	
			岡元　昌樹	岡元　昌樹	升井　大介	橋詰　直樹	築井　克聡	深堀　優	井川　掌	
10	14	水	呼吸器内科	呼吸器内科	小児外科	小児外科	Practical Clinical English M3	泌尿器科	小児外科	
			呼吸器の構造と病理３	非結核性抗酸菌症	小児固形性腫瘍Ⅱ（神経芽腫，Wilms 腫瘍）	小児固形性腫瘍Ⅲ（肝芽腫）	Pediatrics 1	排尿障害（前立腺肥大･神経因性膀胱等）	小児固形性腫瘍Ⅳ（その他の腫瘍）	
			富永　正樹	田口　和仁	橋詰　直樹	橋詰　直樹	Shuichi Ozono	黒瀬　浩文	橋詰　直樹	
10	15	木	呼吸器内科	呼吸器内科	呼吸器・乳腺外科	呼吸器・乳腺外科			呼吸器内科	
			閉塞性肺疾患１ COPD	閉塞性肺疾患２ 喘息	胸膜疾患（気胸，膿胸，中皮腫など）	胸腔ドレーン（目的･疾患･手技･原理など）			呼吸器感染症	
			川山　智隆	川山　智隆	横山　新太郎	横山　新太郎			末安　禎子	
10	16	金	呼吸器内科	呼吸器内科	呼吸器・乳腺外科	呼吸器・乳腺外科	呼吸器内科	呼吸器内科	泌尿器科	
			呼吸器の生理と機能	胸部腫瘍	呼吸器インターベンション	呼吸器の構造と機能，呼吸不全	診断検査の基本	予備日	尿路結石	
			北里　裕彦	東　公一	光岡　正浩	光岡　正浩	枝國　信貴		江島　和久	
10	19	月	Practical Clinical English M3	小児科	呼吸器・乳腺外科	呼吸器・乳腺外科	呼吸器内科	呼吸器内科	泌尿器科	
			Gynecology	小児の呼吸器疾患	乳腺の構造と機能，乳腺疾患の診察，診断法	良性の乳腺腫瘍，乳腺炎，乳癌	呼吸器の日和見感染症	特別講義	尿路管理・尿路変更	
			Naotake Tsuda	西小森　隆太	山口　美樹	岩熊　伸高	富永　正樹	石井　直人	上村　慶一郎	
10	20	火	小児科	小児科	呼吸器・乳腺外科	小児科	呼吸器内科	呼吸器内科	小児科	
			小児科総論：小児の成長	小児科総論：小児の発達	乳癌の治療	小児神経：てんかん	アレルギー性肺疾患	呼吸不全・呼吸調節障害	小児神経各論：発達障害	
			海野　聡子	原　宗嗣	唐　宇飛	小池　敬義	木下　隆	木下　隆	原　宗嗣	
10	21	水	小児科	小児科	産婦人科	産婦人科	小児科	Practical Clinical English M 3	呼吸器内科	
			小児救急	小児科総論：小児保健	産婦人科学総論，性腺と生殖管機能と構造	婦人科診察法・検査法	小児科総論：小児の栄養	Pulmonology	気道疾患	
			向井　純平	満尾　美穂	津田　尚武	田崎　慎吾	津村　直弥		川山　智隆	
10	22	木	小児科	小児科	産婦人科	産婦人科				
			小児循環器疾患：総論	小児循環器疾患：各論１ 心構造異常	体外受精の実際	不妊症の診断・治療				
			寺町　陽三	寺町　陽三	蔵本　武志	三田尾　拡				
10	23	金	あのく祭							
10	24	土	あのく祭							
10	25	日	あのく祭							
10	26	月	休講							
10	27	火	試験日（呼吸器内科／呼吸器・乳腺外科／小児外科／泌尿器科）							
10	28	水								
10	29	木								
10	30	金								
11	2	月	小児科	小児科	産婦人科	産婦人科	小児科	小児科	小児科	
			小児アレルギー疾患	小児消化器疾患：総論	妊娠の生理（受精･着床･母体･付属物）	産科診察法（レオポルド･エコー･Bishop score）	小児消化器疾患：腸疾患	小児消化器疾患：肝胆道疾患	小児感染症：総論	
			西小森　隆太	水落　建輝	吉里　俊幸	吉里　俊幸	水落　建輝	水落　建輝	屋宮　清仁	
11	3	火	文化の日							
11	4	水	小児科	小児科	産婦人科	産婦人科	産婦人科	産婦人科	小児科	
			小児血液疾患	小児の血液悪性疾患，小児の固形腫瘍	正常分娩，産褥	産科超音波診断（胎児の正常と異常）	内分泌疾患の治療・診断	特異的妊娠合併症（流早産，前期破水）	予防接種	
			大園　秀一	満尾　美穂	横峯　正人	堀之内　崇士	三田尾　拡	堀之内　崇士	田中　悠平	

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	9:20～10:10	10:20～11:10	11:20～12:10	12:20～13:10	14:10～15:00	15:10～16:00	16:10～17:00	17:10～18:00
							実習は14:10～18:00			
11	5	木	産婦人科	産婦人科	小児科	小児科	小児科	小児科	小児科	
			胎児心拍数図1	胎児心拍数図2	新生児：総論 出生の生理的変化	新生児：各論1 ハイリスク新生児，分娩蘇生	小児循環器：各論2 心筋症，後天性疾患	小児循環器： 不整脈	外来小児科	
			上妻　友隆	上妻　友隆	木下　正啓	木下　正啓	鍵山　慶之	鍵山　慶之	長井　健祐	
11	6	金	小児科	小児科	産婦人科	産婦人科	小児科	小児科	小児科	
			小児免疫の 発達と免疫疾患	小児感染症各論	母子保健・ 母子健康	特異的妊娠合併症 （妊娠悪阻，妊娠高血圧症候群）	小児科： 臨床遺伝：総論	小児科： 臨床遺伝： 先天異常	新生児：各論2 呼吸器， 神経疾患	
			西小森　隆太	後藤　憲志	蔵本　昭孝	蔵本　昭孝	渡邊　順子	渡邊　順子	木下　正啓	
11	9	月	小児科	小児科	産婦人科	産婦人科	産婦人科	産婦人科	小児科	
			小児腎疾患： 小児腎炎， ネフローゼ症候群	小児の電解質異常	特異的妊娠合併症 （胎児付属物の異常）	異常分娩 （産道，娩出力，胎位，回旋）	産科治療 （急速遂娩， 産科手術）	異常分娩 （損傷，出血）， 産褥	小児膠原病	
			田中　征治	田中　征治	堀之内　崇士	堀之内　崇士	武藤　愛	武藤　愛	田中　征治	
11	10	火	小児科	小児科	産婦人科	産婦人科	小児科	小児科	小児科	
			小児科： 先天代謝異常症Ⅰ： 総論，マススク リーニング	小児内分泌1 甲状腺疾患，副腎疾患を中心に（低身長，高身長，肥満，やせ）	子宮頸部腫瘍	子宮体部腫瘍の 診断と治療	新生児：各論4 消化器，感染症	新生児：各論4 血液疾患， 代謝疾患	小児神経総論： 主な症状と病態	
			渡邊　順子	齊木　玲央	津田　尚武	矢幡　秀昭	嶽間澤　昌史	嶽間澤　昌史	原　宗嗣	
11	11	水			産婦人科	産婦人科	小児科	産婦人科	産婦人科	
					特異的妊娠 合併症 （多胎妊娠）	合併症妊娠 （糖代謝異常）	特別講義 小児救急	合併症妊娠 （内分泌，循環器，腎臓，血液）	非特異的妊娠 合併症 （母子感染）	
					横峯　正人	宗　邦夫	清水　直樹	横峯　正人	下村　卓也	
11	12	木		小児科	産婦人科	産婦人科	産婦人科	産婦人科	小児科	
				小児循環器： 川崎病	産科救急 （ショック，DIC）	女性ヘルスケア	出生前診断 （総論， 遺伝学的検査）	血液型不適合妊娠 （ABO，Rh不適合）， 産科画像診断 （胎盤，頸管）	小児神経各論： 熱性けいれん， 髄膜炎，脳炎， 脳症	
				寺町　陽三	清水　隆宏	駒井　幹	吉里　俊幸	川上　浩介	原　宗嗣	
11	13	金	小児科	小児科	小児科	産婦人科	小児科	産婦人科	小児科	
			小児科： 先天代謝異常症Ⅱ： 各論	小児心身医学総論	小児心身医学各論	卵巣腫瘍 （付属器疾患）	新生児：各論5 早産，循環器	腫瘍と 遺伝学的検査	小児神経筋疾患， 運動麻痺	
			渡邊　順子	石井　隆大	石井　隆大	西尾　真	中村　美彩	西尾　真	原　宗嗣	
11	16	月	小児科	小児科	産婦人科	産婦人科	産婦人科	産婦人科	小児科	
			小児内分泌2 甲状腺疾患，副腎疾患を中心に（内分泌的危急疾患　新生児マススクリーニング，DSDなど）	小児科総論： 小児科の魅力	性分化の異常， 性器の先天異常	婦人科体部疾患 （筋腫・内膜症）	感染症・骨盤臓器脱 （クラミジア， 梅毒，ヘルペス）， 絨毛性疾患	婦人科治療総論	小児神経： 小児の神経変性疾患・末梢神経障害	
			齊木　玲央	水落　建輝	権藤　佳奈子	田崎　和人	勝田　隆博	嘉村　敏治	原　宗嗣	
11	17	火								
11	18	水								
11	19	木	試験日（小児科／産婦人科）				内分泌代謝内科	内分泌代謝内科	内分泌代謝内科	
							内分泌代謝学入門	下垂体機能亢進症 （先端巨大症）	下垂体機能亢進症 （Cushing病・ プロラクチノーマ）	
							野村　政壽	蓮澤　奈央	蓮澤　奈央	
11	20	金			内分泌代謝内科		内分泌代謝内科	内分泌代謝内科	救急医学	
					下垂体機能低下症・性腺疾患		下垂体後葉疾患	原発性アルドステロン症	緊急度と重症度評価，緊急度の評価と初期診療	
					出宮　睦之		迫　智基	迫　智基	高須　修	
11	23	月	勤労感謝の日							
11	24	火	救急医学	救急医学	神経内科	神経内科	内分泌代謝内科	内分泌代謝内科	救急医学	
			循環器救急 （総論）	循環器救急 （各論）	序論：神経内科入門，脳神経	筋力・筋トーヌス・深部腱反射	副腎性Cushing症候群	褐色細胞腫	救急病態 Aの異常	
			大塚　麻樹	大塚　麻樹	立石　貴久	立石　貴久	蓮澤　奈央	大滝　聡一朗	高須　修	
11	25	水	救急医学	救急医学	神経内科	神経内科	内分泌代謝内科	内分泌代謝内科	Practical Clinical English M3	
			救急病態 Bの異常	救急病態 Cの異常	失調症・ 不随意運動	歩行障害・ 失語・構音障害	骨粗鬆症	画像診断	Endocrinology 1	
			高須　修	高須　修	立石　貴久	立石　貴久	蘆田　健二	蘆田　健二	Kenji Ashida	
11	26	木	救急医学	救急医学	神経内科	神経内科	内分泌代謝内科	内分泌代謝内科	救急医学	
			心肺停止と 心肺蘇生	意識の異常 （総論）	変性疾患1 （パーキンソン病）	変性疾患2 （パーキンソン症候群）	多腺性内分泌疾患 （MEN，APS，NET）	甲状腺機能亢進症 （Basedow病）	意識の異常（各論）：脳血管障害，中枢神経系の異常	
			大塚　麻樹	菊池　仁	森　慎一郎	森　慎一郎	大滝　聡一朗	渡邉　千加世	菊池　仁	

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	9：20～10：10	10：20～11：10	11：20～12：10	12：20～13：10	14：10～15：00	15：10～16：00	16：10～17：00	17：10～18：00
							実習は14：10～18：00			
11	27	金	救急医学	救急医学	神経内科	神経内科	内分泌代謝内科	内分泌代謝内科	救急医学	
			急性腹症①	急性腹症②	脳波・誘発電位・神経伝導速度検査	筋電図・筋生検・神経生検	甲状腺機能亢進症（甲状腺中毒症・破壊性甲状腺炎）	甲状腺機能低下症・甲状腺腫瘍	環境異常	
			鍋田　雅和	鍋田　雅和	入江　研一	入江　研一	渡邉　千加世	渡邉　千加世	高須　修	
11	30	月	救急医学	救急医学	救急医学	神経内科	内分泌代謝内科	内分泌代謝内科	神経内科	
			熱傷	小児救急	高齢者救急	中枢性脱髄疾患（MS・NMO・ADEM）	副甲状腺の機能と異常	蛋白質・核酸代謝とアミロイドーシス	発作性疾患１（てんかん）	
			高須　修	向井　純平	高須　修	入江　研一	出宮　睦之	出宮　睦之	立石　貴久	
12	1	火	救急医学	救急医学	神経内科	神経内科	内分泌代謝内科	内分泌代謝内科	Practical Clinical English M3	
			中毒総論	医薬品中毒，家庭用品	末梢神経疾患１（障害神経分布による分類・CMT・FAP）	末梢神経疾患２（GBS・CIDP・MMN）	糖尿病の診断と病態	糖尿病の合併症	Psychiatry	
			山下　典雄	山下　典雄	立石　貴久	立石　貴久	大滝　聡一朗	大滝　聡一朗	Mamoru Satoh	
12	2	水	救急医学	救急医学	神経内科	神経内科	内分泌代謝内科	内分泌代謝内科	神経内科	
			農薬中毒，動物毒	外傷総論	脳血管障害１	脳血管障害２	糖尿病の治療（食事・運動療法）	糖尿病の治療（薬物療法）	MG・筋無力症候群・周期性四肢麻痺	
			山下　典雄	山下　典雄	入江　研一	入江　研一	永山　綾子	永山　綾子	森　慎一郎	
12	3	木	救急医学	救急医学	神経内科	神経内科	内分泌代謝内科	内分泌代謝内科	救急医学	
			胸部外傷	腹部外傷	筋疾患１（筋ジストロフィー・Myotonic dystrophy・ミオパチー・ミトコンドリア病）	筋疾患２（炎症性筋疾患）	脂質代謝	妊娠糖尿病・低血糖症	頭頸部・顔面外傷	
			鍋田　雅和	鍋田　雅和	森　慎一郎	森　慎一郎	蓮澤　奈央	永山　綾子	菊池　仁	
12	4	金	救急医学	救急医学	神経内科	神経内科	内分泌代謝内科	内分泌代謝内科	救急医学	
			骨盤・四肢外傷	救急医療体制とMC，病院前救護	変性疾患５（認知症関連）	脊髄疾患（脊髄炎・脊髄空洞症）	肥満，メタボリックシンドローム，消化器ホルモン	やせ，栄養障害（ビタミン，電解質）	敗血症・臓器障害	
			山下　典雄	山下　典雄	本田　裕之	本田　裕之	三浦　満美	三浦　満美	高須　修	
12	7	月	救急医学	救急医学	神経内科	神経内科	内分泌代謝内科	神経内科	神経内科	
			救急医療と集中治療①	救急医療と集中治療②	代謝性疾患（Wilson・Fabry・Pompe）	中毒性神経疾患（金属中毒・有機物質中毒・CO中毒・Wernicke脳症など）	内分泌代謝学総括	変性疾患３（ALS関連・KAS・SMA）	変性疾患４（SCA関連）	
			高須　修	高須　修	原田　雅也	原田　雅也	野村　政壽	立石　貴久	立石　貴久	
12	8	火	救急医学		神経内科	神経内科			神経内科	
			救急医療と災害医療		感染症１（髄膜炎・脳炎）	感染症２（HTLV−I・梅毒・プリオン・トキソプラズマ・破傷風）			発作性疾患２（頭痛）	
			山下　典雄		原田　雅也	原田　雅也			立石　貴久	
12	9	水								
12	10	木	試験日（神経内科／内分泌代謝内科／救急医学）							
12	11	金								

令和９年１月４日（月）～２月17日（水）……６週間

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	9:20～10:10	10:20～11:10	11:20～12:10	12:20～13:10	14:10～15:00	15:10～16:00	16:10～17:00	17:10～18:00
							実習は14:10～18:00			
1	4	月	脳神経外科	脳神経外科	精神神経科	精神神経科	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	
			脳神経外科学総論／頭蓋内圧亢進と脳ヘルニア	脳血管障害と脳循環／脳血管障害総論	不安障害・ストレス関連疾患と身体表現性障害(1)	不安障害・ストレス関連疾患と身体表現性障害(2)	概論・脳神経	喉頭の構造，生理機能	外耳・中耳・内耳の構造	
			坂田　清彦	廣畑　優	大江　美佐里	大江　美佐里	梅野　博仁	千年　俊一	田中　久一郎	
1	5	火	脳神経外科	脳神経外科	精神神経科	精神神経科	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	精神神経科	
			中枢神経組織と脳腫瘍病理／脳腫瘍総論	意識障害	精神医学概論	感情・気分の障害(1)	口腔疾患	咽頭疾患(良性)	感情・気分の障害(2)	
			中村　英夫	下川　尚子	小曽根　基裕	小曽根　基裕	小野　剛治	小野　剛治	小曽根　基裕	
1	6	水	脳神経外科	脳神経外科	精神神経科	精神神経科	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	
			神経膠腫	脊椎脊髄疾患①(総論・変性疾患)	精神科治療学概論(1)	精神科治療学概論(2)	唾液腺疾患	副鼻腔疾患(悪性)	難聴の診断と治療	
			中村　英夫	服部　剛典	内野　俊郎	内野　俊郎	末吉　慎太郎	末吉　慎太郎	田中　久一郎	
1	7	木	精神神経科	精神神経科	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	脳神経外科	脳神経外科	精神神経科	
			統合失調症(1)	統合失調症(2)	喉頭疾患(良性)	喉頭疾患(悪性)	下垂体腺腫・頭蓋咽頭腫	てんかん外科と脳膿瘍	心身症と摂食障害	
			土生川　光成	土生川　光成	梅野　博仁	梅野　博仁	坂田　清彦	音琴　哲也	丸岡　隆之	
1	8	金	精神神経科	精神神経科	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	脳神経外科	脳神経外科	精神神経科	
			器質性・症候性精神障害(1)	器質性・症候性精神障害(2)	聴覚と検査	外耳・中耳疾患	脳神経外科の画像検査	もやもや病	心理的発達の障がい，パーソナリティ障がい	
			本岡　大道	本岡　大道	黒岩　大海	黒岩　大海	吉武　秀展	菊池　仁	内野　俊郎	
1	11	月	成人の日							
1	12	火	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	精神神経科	精神神経科	脳神経外科	脳神経外科	脳神経外科	
			内耳疾患	鼻副鼻腔及び中耳の手術・画像解剖	睡眠と覚醒の障害総論	睡眠と覚醒の障害概論	くも膜下出血と脳動脈瘤	虚血性脳血管障害	特殊な脳血管障害	
			黒岩　大海	黒岩　大海	小鳥居　望	小鳥居　望	折戸　公彦	折戸　公彦	折戸　公彦	
1	13	水	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	精神神経科	精神神経科	脳神経外科	脳神経外科	脳神経外科	
			気管・食道	頸部腫瘤	老年精神医学(1)	老年精神医学(2)	頭部外傷の総論・スポーツ関連脳振盪	頭部外傷の各論・局所性損傷	脳腫瘍手術の実際	
			梅野　博仁	末吉　慎太郎	小路　純央	小路　純央	音琴　哲也	牧園　剛大	中村　英夫	
1	14	木	脳神経外科	脳神経外科	精神神経科	精神神経科	精神神経科	精神神経科	耳鼻咽喉科	
			脳血管内手術の実際	小児の脳腫瘍	てんかん(1)	てんかん(2)	救急と精神	心理検査法	咽頭疾患(悪性)	
			廣畑　優	中村　英夫	本岡　大道	本岡　大道	福山　裕夫	石田　哲也	千年　俊一	
1	15	金	脳神経外科	脳神経外科	精神神経科	精神神経科	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	
			機能的脳神経外科：顔面けいれん，三叉神経痛，パーキンソン病，治療可能な認知症，脳の再生/臓器移植	パーキンソン病および周辺疾患の脳外科治療	サイコオンコロジーと緩和ケア	精神科薬物療法の実際(1)	鼻・副鼻腔の構造	鼻疾患	副鼻腔疾患(良性)	
			坂田　清彦	村岡　範裕	三木　浩司	中村　倫之	佐藤　公宣	佐藤　公宣	佐藤　公宣	
1	18	月	脳神経外科	脳神経外科	精神神経科	脳神経外科	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	
			髄膜腫と聴神経鞘腫	神経皮膚症候群	嗜癖と物質関連障害	小児に特有な脳外科関連疾患	口腔・咽頭の構造	頭頸部の臨床解剖	頭頸部腫瘍の病理	
			坂田　清彦	坂田　清彦	山田　英孝	下川　尚子	佐藤　文彦	佐藤　文彦	佐藤　文彦	
1	19	火	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科	精神神経科	精神神経科	脳神経外科	脳神経外科	脳神経外科	
			体平衡の生理	平衡機能検査	コンサルテーション・リエゾン精神医学	心理療法	一過性脳虚血発作と頭動脈狭窄	脊椎脊髄疾患②(腫瘍・血管障害)	脳脊髄液循環／水頭症総論	
			田中　久一郎	田中　久一郎	柳本　寛子	石田　哲也	折戸　公彦	服部　剛典	下川　尚子	
1	20	水	脳神経外科	脳神経外科	Practical Clinical English M3	精神神経科	精神神経科	精神神経科	精神神経科	
			悪性リンパ腫と転移性脳腫瘍	脳神経外科演習	Emergency Medicine	精神科薬物療法の実際(2)	社会資源や非薬物療法	精神医療と法	臨床脳波学	
			音琴　哲也	坂田　清彦	Osamu Takasu	比江嶋　啓至	松岡　美智子	千葉　比呂美	安元　眞吾	
1	21	木								
1	22	金	試験日（脳神経外科／精神神経科／耳鼻咽喉科）							
1	25	月								
1	26	火	社会と医学･医療（公衆衛生学）	社会と医学･医療（公衆衛生学）	行動科学Ⅰ	行動科学Ⅰ	社会と医学・医療（公衆衛生学）実習			
			公衆衛生学概論	日本の保険医療制度	オリエンテーション	医療経済学の基礎1〈経済学と医療の関係〉	社会と医学・医療（公衆衛生学）実習①			
			谷原　真一	谷原　真一	谷原　真一	谷原　真一	谷原　真一，中尾　元幸，山内　圭子，桑木　光太郎			
1	27	水	社会と医学･医療（公衆衛生学）	社会と医学･医療（公衆衛生学）	行動科学Ⅰ	行動科学Ⅰ	社会と医学・医療（公衆衛生学）実習			
			公衆衛生活動と衛生行政	地域保健医療の現状と動向	医療経済学の基礎2〈経済学的思考方法〉	医療経済学の基礎3〈交易の利益とチーム医療〉	社会と医学・医療（公衆衛生学）実習②			
			桑木　光太郎	桑木　光太郎	谷原　真一	谷原　真一	谷原　真一，中尾　元幸，山内　圭子，桑木　光太郎			

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	9:20～10:10	10:20～11:10	11:20～12:10	12:20～13:10	14:10～15:00	15:10～16:00	16:10～17:00	17:10～18:00
							実習は14:10～18:00			
1	28	木	社会と医学・医療（公衆衛生学）	社会と医学・医療（公衆衛生学）	行動科学Ⅰ	行動科学Ⅰ	社会と医学・医療（公衆衛生学）実習			
			社会保障の現状と動向1	社会保障の現状と動向2	行動経済学基礎1〈医療における行動経済学〉	行動経済学基礎2〈意志決定におけるバイアス〉	社会と医学・医療（公衆衛生学）実習③			
			桑木　光太郎	桑木　光太郎	桑木　光太郎	桑木　光太郎	谷原　真一，中尾　元幸，山内　圭子，桑木　光太郎			
1	29	金	社会と医学・医療（公衆衛生学）	社会と医学・医療（公衆衛生学）	行動科学Ⅰ	行動科学Ⅰ	社会と医学・医療（公衆衛生学）実習			
			保健統計概論	人口静態統計（国勢調査）	行動経済学基礎3	行動経済学基礎4	社会と医学・医療（公衆衛生学）実習④			
			中尾　元幸	中尾　元幸	中尾　元幸	中尾　元幸	谷原　真一，中尾　元幸，山内　圭子，桑木　光太郎			
2	1	月	社会と医学・医療（公衆衛生学）	社会と医学・医療（公衆衛生学）	行動科学Ⅰ	行動科学Ⅰ	社会と医学・医療（公衆衛生学）実習			
			公衆衛生と法1	公衆衛生と法2	医療経済学の基礎4〈需要供給の関係〉	医療経済学の基礎5〈弾力性と医療の特殊性〉	社会と医学・医療（公衆衛生学）実習⑤			
			谷原　真一	谷原　真一	谷原　真一	谷原　真一	谷原　真一，中尾　元幸，山内　圭子，桑木　光太郎			
2	2	火	社会と医学・医療（公衆衛生学）	社会と医学・医療（公衆衛生学）	行動科学Ⅰ	行動科学Ⅰ	社会と医学・医療（公衆衛生学）実習			
			成人・高齢者保健	人口動態統計	行動経済学基礎5	行動経済学基礎6	社会と医学・医療（公衆衛生学）実習⑥			
			山内　圭子	中尾　元幸	中尾　元幸	中尾　元幸	谷原　真一，中尾　元幸，山内　圭子，桑木　光太郎			
2	3	水	社会と医学・医療（公衆衛生学）	社会と医学・医療（公衆衛生学）	行動科学Ⅰ	行動科学Ⅰ	社会と医学・医療（公衆衛生学）実習			
			貧困の問題	医師数に関する諸問題	医療経済学の基礎6〈政策と市場の関係〉	医療経済学の基礎7〈市場効率〉	社会と医学・医療（公衆衛生学）実習⑦			
			桑木　光太郎	桑木　光太郎	谷原　真一	谷原　真一	谷原　真一，中尾　元幸，山内　圭子，桑木　光太郎			
2	4	木	社会と医学・医療（公衆衛生学）	社会と医学・医療（公衆衛生学）	行動科学Ⅰ	行動科学Ⅰ	社会と医学・医療（公衆衛生学）実習			
			医療技術の効果と費用	医師誘発需要とモラルハザード	健康行動理論1〈健康行動と健康行動理論〉	健康行動理論2〈Program planning〉	社会と医学・医療（公衆衛生学）実習⑧			
			桑木　光太郎	桑木　光太郎	山内　圭子	山内　圭子	谷原　真一，中尾　元幸，山内　圭子，桑木　光太郎			
2	5	金	社会と医学・医療（公衆衛生学）	社会と医学・医療（公衆衛生学）	行動科学Ⅰ	行動科学Ⅰ	社会と医学・医療（公衆衛生学）実習			
			母子保健(1)：概論と動向	母子保健(2)：保健行政	健康行動理論3〈個人レベルの理論・モデル①：ヘルスビリーフモデル〉	健康行動理論4〈個人レベルの理論・モデル②：計画的行動理論〉	社会と医学・医療（公衆衛生学）実習⑨			
			山内　圭子	山内　圭子	山内　圭子	山内　圭子	谷原　真一，中尾　元幸，山内　圭子，桑木　光太郎			
2	8	月	社会と医学・医療（公衆衛生学）	社会と医学・医療（公衆衛生学）	Practical Clinical English M3	Practical Clinical English M3	社会と医学・医療（公衆衛生学）実習			
			医療機関へのかかり方－海外との比較	地域医療と地域包括ケアシステム	Neurosurgery	Practice for Medical Writing	社会と医学・医療（公衆衛生学）実習⑩			
			桑木　光太郎	桑木　光太郎		Atsushi Mizoguchi	谷原　真一，中尾　元幸，山内　圭子，桑木　光太郎			
2	9	火	社会と医学・医療（公衆衛生学）	社会と医学・医療（公衆衛生学）	社会と医学・医療（公衆衛生学）	社会と医学・医療（公衆衛生学）	社会と医学・医療（公衆衛生学）実習			
			精神保健	医療政策	学校保健	国際保健	社会と医学・医療（公衆衛生学）実習⑪			
			山内　圭子	佐藤　敏信	山内　圭子	山内　圭子	谷原　真一，中尾　元幸，山内　圭子，桑木　光太郎			
2	10	水	社会と医学・医療（公衆衛生学）	社会と医学・医療（公衆衛生学）	社会と医学・医療（公衆衛生学）	社会と医学・医療（公衆衛生学）	社会と医学・医療（公衆衛生学）実習			
			国民医療費	診療録	医療分野における規制	持続可能な医療システム	社会と医学・医療（公衆衛生学）実習⑫			
			桑木　光太郎	牛島　高介	桑木　光太郎	桑木　光太郎	谷原　真一，中尾　元幸，山内　圭子，桑木　光太郎			
2	11	木	建国記念の日							
2	12	金	社会と医学・医療（公衆衛生学）	社会と医学・医療（公衆衛生学）	社会と医学・医療（公衆衛生学）	社会と医学・医療（公衆衛生学）	社会と医学・医療（公衆衛生学）		Practical Clinical English M3	
			公衆衛生に係る感染症1	公衆衛生に係る感染症2	疾病予防と健康づくり支援1：概論	疾病予防と健康づくり支援2：生活習慣病	疾病予防と健康づくり支援3：がん		Otolaryngology	
			中尾　元幸	中尾　元幸	山内　圭子	山内　圭子	山内　圭子		Takeharu Ono	
2	15	月								
2	16	火	試験日（社会と医学・医療（公衆衛生学）／行動科学Ⅰ／Practical Clinical English M3）							
2	17	水								

第３学年授業期間(受験資格の出欠算出期間)及び試験実施時期一覧表

《自　2026年４月３日（金）　至　2027年３月４日（木)》

学年 / 学期 / 科目	3年 1学期	3年 2学期
Practical Clinical English M3	～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～	～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●
RMCP(Research Mind Cultivation Program)	――――――	
病理学Ⅱ	～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎● ――――――――――――――――	
社会と医学・医療（公衆衛生学）		～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎● ――――――――――――――――
行動科学Ⅰ		～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●
医療倫理学	～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●	
医療安全	～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●	
循環器内科	～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●	
呼吸器内科		～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●
消化器内科	～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●	
腎臓内科		～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●
神経内科		～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●
内分泌代謝内科		～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●
血液内科	～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●	
感染症学	～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●	
膠原病内科(免疫アレルギー)	～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●	
小児科		～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●
精神神経科		～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●
産婦人科		～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●
麻酔科	～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●	
救急医学		～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●
泌尿器科		～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●
心臓・血管外科	～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●	
呼吸器・乳腺外科		～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●
消化器外科	～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●	
小児外科		～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●
脳神経外科		～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●
耳鼻咽喉科		～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●
臨床栄養学	～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●	
漢方医学	～～～～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●	

～～～～～～は講義期間（１/３以上欠席した者は受験資格を与えない）

――――――は実習期間（１/４以上欠席した者は受験資格を与えない）

◎印は各科試験

●印は追試験又は再試験

（注）試験は上記以外にも各科目とも中間試験を行うことがある。

授業科目及び時間数（専門科目）

	授業科目	学年	3年		
		週数	35週		
		区分	講義	実習	合計
		科目責任者・総括責任者	時間数	時間数	
専門科目	教養と科学				
	Practical Clinical English M3	溝口恵	15:00		15:00
	RMCP（Research Mind Cultivation Program）	深水		133:20	133:20
	基礎医学系				
	病理学Ⅱ	秋葉	28:20	66:40	95:00
	社会医学・行動科学系				
	社会と医学・医療（公衆衛生学）	谷原	27:30	36:40	64:10
	行動科学Ⅰ	谷原	15:00		15:00
	医療倫理学	山田	16:40		16:40
	医療安全	横山	5:00		5:00
	臨床医学系				
	循環器内科	福本	20:00		20:00
	呼吸器内科	星野	20:00		20:00
	消化器内科	川口	16:40		16:40
	腎臓内科	深水	20:50		20:50
	神経内科	立石	23:20		23:20
	内分泌代謝内科	野村	20:50		20:50
	血液内科	長藤	13:20		13:20
	感染症学	感染制御学後任教授	20:00		20:00
	膠原病内科（免疫アレルギー）	海江田	18:20		18:20
	小児科	水落	39:10		39:10
	精神神経科	小曽根	25:00		25:00
	産婦人科	津田	28:20		28:20
	麻酔科	平木	24:10		24:10
	救急医学	高須	23:20		23:20
	泌尿器科	井川	14:10		14:10
	心臓・血管外科	田山	13:20		13:20
	呼吸器・乳腺外科	光岡	10:00		10:00
	消化器外科	藤田	10:00		10:00
	小児外科	加治	11:40		11:40
	脳神経外科	脳神経外科学後任教授	23:20		23:20
	耳鼻咽喉科	梅野	20:50		20:50
	臨床栄養学	加治	25:00		25:00
	漢方医学	惠紙	8:20		8:20
合計		必修	557:30	236:40	794:10
		計	794:10		794:10

試験日程及び進級基準

◎　履修及び試験に関する細則の第９条第１項第２号及び第２項については，下記のとおりとする。

第３学年

⑴　各科試験

各科の講義期間終了時に本試験を実施する。

⑵　追試験及び再試験

①　期　間……2026年７月13日（月）～７月24日（金）……２週間

科　目……「病理学Ⅱ」,「医療倫理学」,「医療安全」,「循環器内科」,「消化器内科」,「血液内科」,「感染症学」,「膠原病内科（免疫アレルギー）」,「麻酔科」,「心臓・血管外科」,「消化器外科」,「臨床栄養学」,「漢方医学」

②　期　間……2026年12月14日（月）～12月18日（金）……１週間

科　目……「呼吸器内科」,「腎臓内科」,「神経内科」,「内分泌代謝内科」,「小児科」,「産婦人科」,「救急医学」,「泌尿器科」,「呼吸器・乳腺外科」,「小児外科」

③　期　間……2027年２月22日（月）～２月26日（金）……１週間

科　目……「Practical Clinical English M3」,「社会と医学・医療（公衆衛生学）」,「行動科学Ⅰ」,「精神神経科」,「脳神経外科」,「耳鼻咽喉科」

⑶　臨床医学 CBT……2027年３月４日（木）

進級合否判定基準

⑴　態度評価を判定要件とする。態度評価がＤの場合は他科目の成績の如何に関わらず審議対象とする。

⑵　全科目および臨床医学 CBT の成績が60点以上を合格とする。

⑶　「RMCP（Research Mind Cultivation Program）」は，ＡＡ，Ａ，Ｂ，Ｃを合格とする。

第　4　学　年

第 4 学 年 の 学 修

久留米大学医学部医学科が掲げる基本理念である「国手の理想は常に仁なり」という言葉を第４学年の皆さんは常に念頭においていて日々を過ごしてください。

第４学年では,「患者中心の視点と医師の社会的役割を理解し身につけ，臨床実習に参加する」ことを目標とします。全身に及ぶ生理的変化，病態，診断，治療と関わる統合講義が始まります。このカリキュラムは「症候と病態　診療」,「加齢・老化・死」,「腫瘍学」から構成されています。臓器別に縦に分けた学びに加え，全身的に横断的にとらえる学修も組み合わせ，疾患に対し多角的に症候・病態からのアプローチができる力をつけてください。次のステップである臨床実習に向かう大切な準備になります。

この学年から，いよいよ臨床実習（クリニカル・クラークシップ）が開始され，まずはその準備のための科目として「PCCE（Pre Clinical Clerkship Exercise),「臨床技能統括実習（講義)」があります。PCCE では診療の基本的な事項を学習し，各臨床科で行われている症例カンファレンスの雰囲気のなかで，１人の患者さんについて病歴，診察，検査，診断，治療，予後について総合的に討論します。これまでに身につけた知識を大いに活かしてください。臨床技能実習は基本的なコミュニケーションスキルや診察手技を身につけるために行われます。診療の基本はまさにこの部分にあります。しっかり身につけてください。

クリニカル・クラークシップは診療参加型臨床実習としての位置付けがより強化されてきており，医学教育の大きな柱になります。そこで第４学年では，これまでに修得した医学知識，考え方，診療技能が臨床実習を行うのに十分なものであるかどうかを問うための公的化された全国規模の２つの試験が行われます。医学知識や考え方について問う共用試験 CBT（compter-based testing：コンピュータによる多選択肢試験）と基本的な臨床技能を評価する OSCE（Objective Structured Clinical Examination：客観的臨床能力試験）です。

共用試験に合格した医学生だけが Student　Doctor として臨床実習において医師の指導監督の下で医業ができます。共用試験に合格できなかった場合にはクリニカル・クラークシップに参加することができません。これらに合格するためには，これまでコアカリで学修した内容をしっかり復習しておくことが重要です。臨床実習への参加が決まったら，もう一度医学生，社会人としての在り方を自分なりに問い直してください。Student　Doctor としてふさわしくない言動は厳しく評価されます。

第４学年　授業時間割

令和８年４月３日（金）～７月10日（金）……14週間
＊第５・６週目（４／27（月）～５／８（金））の期間は２週分を１週分として取り扱う。
４月３日（金）１限目（９：20～10：10），２限目（10：20～11：10）は，学年オリエンテーションにあてる。

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	9：20～10：10	10：20～11：10	11：20～12：10	12：20～13：10	14：10～15：00	15：10～16：00	16：10～17：00	17：10～18：00
							実習は14：10～18：00			
4	3	金	学年オリエンテーション		社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）実習	
					社会と医学・医療（講義・実習オリエンテーション）	社会・環境と健康	産業保健（化学的要因・物理的要因）	産業保健（化学的要因・物理的要因）	テーマ研究①	
					森松　嘉孝，森　美穂子，増田　宏	森松　嘉孝	合志　清隆	合志　清隆	森松　嘉孝，森　美穂子，増田　宏	
4	6	月	行動科学Ⅱ	行動科学Ⅱ	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）実習	
			医療経済学の基礎８〈課税の費用〉	医療経済学の基礎９〈外部性とワクチンの有用性〉	産業保健（メンタルヘルス）	産業保健（メンタルヘルス）	産業保健（総論）	産業保健（総論）	テーマ研究②	
			谷原　真一	谷原　真一	江嵜　高史	江嵜　高史	堀江　正知	堀江　正知	森松　嘉孝，森　美穂子，増田　宏	
4	7	火	行動科学Ⅱ	行動科学Ⅱ	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）	健康診断	
			患者とのコミュニケーション〈意識とその障害〉	医療経済学の基礎10〈経済学における財と医療〉	環境保健（居住環境，廃棄物と健康）	産業保健（大気と健康）	産業保健（高気圧環境）	産業保健（高気圧環境）		
			小曽根　基裕	谷原　真一	森　美穂子	森松　嘉孝	望月　徹	望月　徹		
4	8	水	行動科学Ⅱ	行動科学Ⅱ	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）実習	
			医療経済学の基礎11〈生産理論と医療経営〉	予防医学	環境保健（総論）	環境保健（総論）	地域保健（地域医療連携，社会的処方）	地域保健（地域医療連携，社会的処方）	テーマ研究③	
			谷原　真一	野村　政壽	原　邦夫	原　邦夫	内藤　美智子	内藤　美智子	森松　嘉孝，森　美穂子，増田　宏	
4	9	木	行動科学Ⅱ	行動科学Ⅱ	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）	
			医療経済学の基礎12〈完全競争市場〉	医療経済学の基礎13〈独占市場〉	地域保健（保健医療行政・保健所の健康危機管理）	地域保健（保健医療行政・保健所の健康危機管理）	環境保健（室内環境と環境測定）	地域保健（地域医療）	地域保健（地域医療）	
			谷原　真一	谷原　真一	藤田　利枝	藤田　利枝	森　美穂子	玉木　英樹	玉木　英樹	
4	10	金	行動科学Ⅱ	行動科学Ⅱ	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）実習				
			自然災害の行動科学	外傷性ストレスの行動科学	環境保健（水と健康）	環境測定：１～８班 テーマ研究④：９～20班				
			大江　美佐里	大江　美佐里	森　美穂子	森松　嘉孝，森　美穂子，増田　宏				
4	13	月	PCCE	PCCE	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）実習				
			多職種連携	多職種連携	産業保健（雇用と健康）	テーマ研究④：１～８班 環境測定：９～20班				
					森松　嘉孝	森松　嘉孝，森　美穂子，増田　宏				
4	14	火	行動科学Ⅱ	行動科学Ⅱ	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）実習				
			行動経済学基礎７〈時間を考慮した行動選択〉	行動経済学基礎８〈学習理論〉	産業保健（職場の健康増進①）	テーマ研究⑤				
			中尾　元幸	中尾　元幸	森松　嘉孝	森松　嘉孝，森　美穂子，増田　宏				
4	15	水	行動科学Ⅱ	行動科学Ⅱ	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）実習			
			健康行動理論５〈個人レベルの理論・モデル③：トランスセオレティカルモデル〉	健康行動理論６〈個人間レベルの理論・モデル：社会的認知理論〉	精神保健	精神保健	テーマ研究⑥			
			山内　圭子	山内　圭子	佐藤　圭	佐藤　圭	森松　嘉孝，森　美穂子，増田　宏			
4	16	木	行動科学Ⅱ	行動科学Ⅱ	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）実習				
			医療面接と行動変容／動機付け１	医療面接と行動変容／動機付け２	環境保健（リスクアセスメントの基礎）	テーマ研究⑦				
			向原　圭	向原　圭	増田　宏	森松　嘉孝，森　美穂子，増田　宏				
4	17	金	行動科学Ⅱ	行動科学Ⅱ	社会と医学・医療（環境医学）実習					
			健康行動理論７〈集団レベルの理論・モデル①：ソーシャルマーケティング〉	生活習慣に合わせた糖尿病診療	テーマ研究⑧発表会					
			山内　圭子	岩田　慎平	森松　嘉孝，森　美穂子，増田　宏					
4	20	月	行動科学Ⅱ	行動科学Ⅱ	Practical Clinical English M４	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）	社会と医学・医療（環境医学）	
			行動経済学基礎９〈社会的選好〉	行動経済学基礎10〈行動経済学と医療政策〉	Environmental Medicine	食品保健	環境保健（物理的環境因子の生体影響）	産業保健（職場の健康増進②）	海外の労働衛生	
			中尾　元幸	桑木　光太郎	Yoshitaka Morimatsu	森　美穂子	増田　宏	森松　嘉孝	森松　嘉孝	

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	9：20～10：10	10：20～11：10	11：20～12：10	12：20～13：10	14：10～15：00	15：10～16：00	16：10～17：00	17：10～18：00
							実習は14：10～18：00			
4	21	火	行動科学Ⅱ	行動科学Ⅱ	行動科学Ⅱ	Practical Clinical English M 4				
			健康行動理論 8〈集団レベルの理論・モデル②：オタワ憲章におけるヘルスプロモーション―コミュニティ・ビルディング〉	医療経済学の基礎14〈その他の市場構造〉	まとめ	Public Health				
			山内　圭子	谷原　真一	谷原　真一	Shinichi Tanihara				
4	22	水								
4	23	木	試験日（社会と医学・医療（環境医学）／行動科学Ⅱ）							
4	24	金								
4	27	月	放射線医学	放射線医学	放射線医学	放射線医学	形成外科	形成外科	Practical Clinical English M 4	
			放射線の医療への応用とリスク管理	放射線災害医療	核医学 1	脳腫瘍の画像診断	創傷治癒：総論	創傷治癒：各論	Endocrinology 2	
			田上　秀一	長田　周治	倉田　精二	田上　秀一	力丸　由起子	力丸　由起子	Nao Hasuzawa	
4	28	火	放射線医学	放射線医学	口腔外科	口腔外科	放射線医学	放射線医学	放射線医学	
			骨腫瘍の画像診断	癌治療における IVR，緩和 IVR	咬合異常と顎変形症	咀嚼障害・口腔衛生管理	緊急症例の画像下治療	胆膵内視鏡を用いた診断と治療	放射線治療（脳腫瘍・小児がん・緩和）	
			長田　周治	久原　麻子	安陪　由思	安陪　由思	小金丸　雅道	阪上　尊彦	淡河　恵津世	
4	29	水	昭和の日							
4	30	木	休講							
5	1	金	休講							
5	4	月	みどりの日							
5	5	火	こどもの日							
5	6	水	振替休日							
5	7	木	放射線医学	放射線医学	口腔外科	口腔外科		放射線医学		
			腎・泌尿器	胸部 1	顎関節障害	顎・口腔の外傷		肝胆膵の画像診断 1		
			角　明子	藤本　公則	中村　守厳	中村　守厳		東南　辰幸		
5	8	金	放射線医学	放射線医学	口腔外科	口腔外科	放射線医学	放射線医学	Practical Clinical English M 4	
			放射線治療（頭頸部・食道癌）	画像診断に必要な血管解剖	口腔の構造と機能	歯や顎の疾患	軟部腫瘍の画像診断	放射線治療（肺癌・乳癌・良性腫瘍）	Pediatrics 2	
			鈴木　弦	田上　秀一	喜久田　翔伍	喜久田　翔伍	長田　周治	淡河　恵津世	Ryuta Nishikomori	
5	11	月		放射線医学	口腔外科	口腔外科	放射線医学	放射線医学	放射線医学	
				脳血管障害の画像診断	口腔粘膜疾患と唾液腺腫瘍	全身疾患と口腔症状	画像下治療の応用	女性骨盤	脊椎・脊髄の画像診断	
				田上　秀一	中村　守厳	中村　守厳	小金丸　雅道	角　明子	田上　秀一	
5	12	火	放射線医学	放射線医学	形成外科	形成外科	Practical Clinical English M 4		形成外科	
			中枢神経の感染症や炎症・脱髄性疾患の画像診断	胸部 2	形成外科的手術手技 1	形成外科的手術手技 2	Practice for Medical Writing		頭頸部・頭蓋底再建	
			内山　雄介	藤本　公則	守永　圭吾	守永　圭吾	Atsushi Mizoguchi		力丸　英明	
5	13	水	形成外科	形成外科	口腔外科	口腔外科	放射線医学	放射線医学		
			顔面外傷（骨折・軟部組織損傷）	四肢・体幹の外傷・再建における形成外科	口腔腫瘍	口腔腫瘍	放射線治療（腹部・皮膚・骨軟部）	血管奇形・血管腫の診断と治療		
			右田　尚	右田　尚	楠川　仁悟	楠川　仁悟	淡河　恵津世	久原　麻子		
5	14	木	放射線医学	放射線医学	形成外科	形成外科	放射線医学	放射線医学	形成外科	
			核医学 2	胸部 3	頭蓋・顎・顔面の先天異常	美容外科・再生医療	頭頸部疾患の画像診断	肝胆膵の画像診断 2	難治性創傷の治療	
			倉田　精二	藤本　公則	力丸　英明	力丸　英明	内山　雄介	東南　辰幸	井野　康	
5	15	金								
5	18	月	試験日（放射線医学／形成外科／口腔科学）							
5	19	火								
5	20	水	眼科	眼科	眼科	眼科	整形外科	皮膚科	整形外科	
			授業ガイダンス，眼球と付属器の構造と機能，先天異常	屈折矯正，調節と加齢	網膜電図，視覚誘発電位，色覚障害	白内障	骨病 I	皮膚の構造と機能	その他の脊椎・脊髄疾患	
			吉田　茂生	門田　遊	門田　遊	永江　朗人	濱田　哲矢	古賀　浩嗣	吉田　龍弘	
5	21	木	眼科	眼科	眼科	眼科	皮膚科	皮膚科	整形外科	
			身体診察と基本的眼科検査	身体診察と基本的眼科検査	アデノウイルス，角膜上皮，角膜内皮，角膜移植，アイバンク	アデノウイルス，角膜上皮，角膜内皮，角膜移植，アイバンク	発疹学／検査と治療	特別講義	総論Ⅱ	
			嵩　翔太郎	嵩　翔太郎	門田　遊	門田　遊	加来　洋	鶴田　大輔	山田　圭	
5	22	金	眼科	眼科	眼科	眼科	皮膚科	皮膚科	整形外科	
			眼球付属器，眼窩疾患，眼外傷	眼球運動	ぶどう膜炎	ぶどう膜炎	乾癬と角化症	薬疹・薬物障害	最新スポーツ予防医学	
			林　　亮	林　　亮	小嶋　修生	小嶋　修生	嘉多山　絵理	嘉多山　絵理	村上　秀孝	

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	9：20～10：10	10：20～11：10	11：20～12：10	12：20～13：10	14：10～15：00	15：10～16：00	16：10～17：00	17：10～18：00
							実習は14：10～18：00			
5	25	月	眼科	眼科	眼科	皮膚科	皮膚科	皮膚科	整形外科	
			網膜剥離	黄斑疾患	視神経疾患	母斑と色素異常症	蕁麻疹・紅斑症・皮膚瘙痒症	水疱症と膿疱症	リハビリテーション医学Ⅰ	
			春田　雅俊	春田　雅俊	春田　雅俊	古賀　浩嗣	石井　文人	石井　文人	名護　健	
5	26	火	整形外科	整形外科	眼科	眼科	整形外科	皮膚科	整形外科	
			スポーツ医学	外傷Ⅲ	網膜血管障害	網膜血管障害	外科系Ⅲ	湿疹・皮膚炎	人工関節の基礎と臨床	
			光井　康博	田渕　幸祐	吉田　茂生	吉田　茂生	吉田　史郎	田尻　真貴子	久米　慎一郎	
5	27	水	整形外科	整形外科	眼科	眼科	加齢・老化・死	整形外科	加齢・老化・死	
			総論Ⅰ	骨病Ⅱ	緑内障	緑内障	老年医学総論	外科系Ⅰ	加齢・老化と内分泌疾患	
			平岡　弘二	平岡　弘二	坂井　貴三彦	坂井　貴三彦	野村　政壽	濵田　哲矢	蘆田　健二	
5	28	木	整形外科	整形外科	眼科	眼科	整形外科	皮膚科	皮膚科	
			リハビリテーション医学Ⅱ	骨・関節疾患Ⅰ	国試演習	国試演習	骨・関節疾患Ⅱ	特別講義	皮膚腫瘍	
			名護　健	久米　慎一郎	佐々木　研輔	佐々木　研輔	原口　敏昭	江良　拓実	名嘉眞　健太	
5	29	金	整形外科	整形外科	眼科	眼科	眼科	眼科	加齢・老化・死	
			外科系Ⅱ	頸椎・胸椎疾患	眼内腫瘍，網膜芽細胞腫	網膜変性疾患	斜視・弱視・複視1	斜視・弱視・複視2	高齢者の運動器疾患	
			横須賀　公章	横須賀　公章	古嶋　慧	新井　律樹	迫　菜央子	迫　菜央子	横須賀　公章	
6	1	月	整形外科	整形外科	整形外科	整形外科	加齢・老化・死	加齢・老化・死	Practical Clinical English M 4	
			外傷Ⅰ	外傷Ⅱ	腰痛症	脊髄損傷のリハビリ	高齢者の消化器疾患	皮膚の老化	Orthopedic Surgery	
			吉田　健治	吉田　健治	横須賀　公章	松瀬　博夫	古賀　浩徳	加来　洋	Kei Yamada	
6	2	火	整形外科		加齢・老化・死	加齢・老化・死	加齢・老化・死	皮膚科	加齢・老化・死	
			リハビリテーションの概念と脳血管障害のリハビリテーション		加齢に伴う体組成の変化と疾患	高齢者に多く認められる精神疾患と症状	高齢者に特有な症状	全身疾患にともなう皮膚疾患，光線性皮膚疾患，皮膚付属器疾患	高齢者の救急疾患	
			柳　東次郎		大滝　聡一朗	中村　倫之	立石　貴久	石井　文人	山下　典雄	
6	3	水	整形外科	整形外科	加齢・老化・死	加齢・老化・死	皮膚科	Practical Clinical English M 4	加齢・老化・死	
			小児整形外科Ⅰ	小児整形外科Ⅱ	高齢者と腎障害	高齢者の周術期管理	皮膚細菌・ウイルス感染症，皮膚のSTI，皮膚寄生虫性疾患	Ophthalmology	高齢者の心血管系疾患の診断，処置	
			中村　英智	中村　英智	甲斐田　裕介	石橋　生哉	安元　慎一郎	Masatoshi Haruta	榎本　美佳	
6	4	木	皮膚科	皮膚科	整形外科	整形外科	加齢・老化・死	加齢・老化・死	加齢・老化・死	
			皮膚真菌症	皮膚遺伝性疾患	外傷Ⅴ	外傷Ⅶ	高齢者の泌尿器疾患	高齢者の栄養マネジメント	高齢者における薬剤処方	
			楠原　正洋	濱田　尚宏	大園　宏城	横須賀　公章	渡辺　晃太	出宮　睦之	出宮　睦之	
6	5	金		整形外科	加齢・老化・死		Practical Clinical English M 4	整形外科	加齢・老化・死	
				外傷Ⅳ	加齢・老化とメタボリックシンドローム		Dermatology	外傷Ⅵ	高齢者虐待	
				後藤　昌史	渡邉　千加世			吉光　一浩		
6	8	月		整形外科	整形外科	加齢・老化・死	加齢・老化・死	加齢・老化・死		
				運動器の慢性疼痛Ⅰ	運動器の慢性疼痛Ⅱ	リハビリテーション医学	高齢化社会を支える医療制度	終末期医療を考える		
				山田　圭	山田　圭	松瀬　博夫	出宮　睦之	野村　政壽		
6	9	火								
6	10	水	試験日（整形外科／眼科／皮膚科／加齢・老化・死）							
6	11	木								
6	12	金								
6	15	月	疫学	疫学	疫学	症候と病態　診療	腫瘍学	腫瘍学	腫瘍学	
			疫学の概念	疫学で用いられる指標―頻度の測定	疫学で用いられる指標―頻度の比較	全身倦怠感	がんの診断法	がんの放射線療法	がんと痛み	
			谷原　真一	中尾　元幸	中尾　元幸	永山　綾子	古賀　浩徳	淡河　恵津世	中川　景子	
6	16	火	症候と病態　診療				腫瘍学	症候と病態　診療		
			発熱				がん遺伝子 がん抑制遺伝子	血尿・蛋白尿		
			海江田　信二郎				古田　拓也	深水　圭		
6	17	水	疫学	疫学	症候と病態　診療	腫瘍学	症候と病態　診療	症候と病態　診療	腫瘍学	
			保健統計概論と標準化	記述疫学，分析疫学―生態学的研究と横断研究	食欲不振	がん免疫と免疫療法	悪心・嘔吐	めまい	がん序論	
			中尾　元幸	山内　圭子	石橋　生哉	小松　誠和	森　直樹	田中　久一郎	秋葉　純	
6	18	木				腫瘍学	症候と病態　診療	症候と病態　診療	症候と病態　診療	
						がんの臨床試験	血尿・排尿異常	嚥下困難・障害	婦人科的腹部膨隆・腫瘤・腹痛	
						三輪　啓介	上村　慶一郎	千年　俊一	田崎　和人	
6	19	金	症候と病態　診療	症候と病態　診療	疫学	疫学	症候と病態　診療	症候と病態　診療	腫瘍学	
			便秘・下痢	下血・吐血	疫学研究デザイン(1) コホート研究	疫学研究デザイン(2) 症例対照研究	発疹	意識障害・失神	がんの疫学と予防	
			竹田津　英稔	竹田津　英稔	中尾　元幸	中尾　元幸	古賀　浩嗣	板家　直樹	新関　敬	

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	9：20～10：10	10：20～11：10	11：20～12：10	12：20～13：10	14：10～15：00	15：10～16：00	16：10～17：00	17：10～18：00
							実習は14：10～18：00			
6	22	月	Practical Clinical English M 4	症候と病態　診療	腫瘍学	症候と病態　診療	疫学	疫学	症候と病態　診療	
			Oncology	ショック	ウィルスと発がん	物忘れ	バイアスと交絡，因果関係	システマティックレビュー，メタアナリシス，個人情報の取り扱い	呼吸困難	
			Nobukazu Komatsu	川上　将司	原　好勇	佐藤　守	谷原　真一	桑木　光太郎	富永　正樹	
6	23	火		腫瘍学	症候と病態　診療	症候と病態　診療	症候と病態　診療	症候と病態　診療	腫瘍学	
				がんと精神（サイコオンコロジー，せん妄，気持ちのつらさ）	小児の黄疸	小児の下痢	小児の発熱・発疹	出血傾向	がんの浸潤と転移	
				小曽根　基裕	水落　建輝	水落　建輝	屋宮　清仁	長藤　宏司	近藤　礼一郎	
6	24	水		症候と病態　診療	疫学	疫学	症候と病態　診療	症候と病態　診療	症候と病態　診療	
				黄疸	介入研究	EBM の基本 1	不安・抑うつ	頭痛	運動麻痺・筋力低下	
				川口　巧	中尾　元幸	中尾　元幸	堀川　直希	立石　貴久	立石　貴久	
6	25	木	症候と病態　診療			症候と病態　診療	腫瘍学	Practical Clinical English M 4	症候と病態　診療	
			血痰・喀血			浮腫	がんと痛み症状緩和	Communication with patients	リンパ節腫脹	
			川山　智隆			山方　勇樹	平木　照之		長藤　宏司	
6	26	金	疫学	疫学	疫学	症候と病態　診療	腫瘍学	腫瘍学	腫瘍学	
			EBM の基本 2	スクリーニング検査	診断学的検査	貧血	がんの化学療法	がんの分子標的療法	がんの統計	
			中尾　元幸	中尾　元幸	中尾　元幸	長藤　宏司	長藤　宏司	長藤　宏司	古川　恭治	
6	29	月	症候と病態　診療	症候と病態　診療	疫学	疫学	Practical Clinical English M 4	症候と病態　診療	腫瘍学	
			腰背部痛	脱水	疫学研究のトピック 1	疫学研究のトピック 2	Community medicine	月経異常	がんの外科治療	
			佐藤　公昭	甲斐田　裕介	頼藤　貴志	頼藤　貴志	Masaki Tominaga	三田尾　拡	石橋　生哉	
6	30	火	症候と病態　診療	症候と病態　診療	症候と病態　診療	症候と病態　診療	症候と病態　診療	Practical Clinical English M 4	症候と病態　診療	
			咳・痰	小児の腹痛・腹部膨隆／腫瘤	小児の下血・吐血	動悸	けいれん	Summary	胸痛	
			星野　友昭	古賀　義法	古賀　義法	大江　征嗣	安元　眞吾	Emiko Mizoguchi	佐々木　健一郎	
7	1	水	疫学	疫学			症候と病態　診療	症候と病態　診療	症候と病態　診療	
			疫学で用いられる統計学的方法とその解釈	生命表・平均寿命			腹部膨隆・腫瘤	外傷・熱傷	肥満・メタボリックシンドローム	
			山内　圭子	桑木　光太郎			大地　貴史	力丸　由起子	蘆田　健二	
7	2	木		症候と病態　診療	症候と病態　診療		疫学	疫学		
				心停止	関節痛・関節腫脹		疫学研究と倫理	まとめ		
				高須　修	久米　慎一郎		桑木　光太郎	谷原　真一		
7	3	金		症候と病態　診療	症候と病態　診療					
				胸水	腹痛					
				東　公一	久下　亨					
7	6	月	試験日（Practical Clinical English M 4／疫学／症候と病態　診療／腫瘍学）							
7	7	火								
7	8	水								
7	9	木	集中講義							
7	10	金								

令和８年９月１日（火）～10月29日（木）

時限			1	2	3	4	5	6	7	8
月	日	曜日	9：20～10：10	10：20～11：10	11：20～12：10	12：20～13：10	14：10～15：00	15：10～16：00	16：10～17：00	17：10～18：00
							実習は14：10～18：00			
9	1	火								
9	2	水								
9	3	木								
9	4	金	臨床技能統括実習				臨床技能統括実習			
9	7	月	臨床技能統括実習				臨床技能統括実習			
9	8	火								
9	9	水								
9	10	木								
9	11	金								
9	14	月	臨床技能統括実習				臨床技能統括実習			
9	15	火								
9	16	水								
9	17	木								
9	18	金								
9	21	月	敬老の日							
9	22	火	国民の休日							
9	23	水	秋分の日							
9	24	木	臨床技能統括実習				臨床技能統括実習			
9	25	金								
9	28	月	臨床技能統括実習				臨床技能統括実習			
9	29	火								
9	30	水								
10	1	木								
10	2	金								
10	5	月								
10	6	火								
10	7	水								
10	8	木								
10	9	金								
10	12	月	スポーツの日							
10	13	火								
10	14	水								
10	15	木	PCCE（Pre-.clinical Clerkship Exercise）（予定）							
10	16	金								
10	19	月	PCCE（Pre-clinical Clerkship Exercise）							
10	20	火								
10	21	水								
10	22	木								
10	23	金								
10	26	月	PCCE（Pre-clinical Clerkship Exercise）							
10	27	火								
10	28	水								
10	29	木								

令和８年11月２日（月）～令和９年３月12日（金）……18週間（クリニカル・クラークシップ）
※令和８年10月30日（金）　白衣授与式（予定）

1	11／２（月）～11／６（金）
2	11／９（月）～11／13（金）
3	11／16（月）～11／20（金）
4	11／24（火）～11／27（金）
5	11／30（月）～12／４（金）
6	12／７（月）～12／11（金）
7	12／14（月）～12／18（金）
8	12／21（月）～12／25（金）
9	１／４（月）～１／８（金）
10	１／12（火）～１／15（金）
11	１／18（月）～１／22（金）
12	１／25（月）～１／29（金）
13	２／１（月）～２／５（金）
14	２／８（月）～２／12（金）
15	２／15（月）～２／19（金）
16	２／22（月）～２／26（金）
17	３／２（火）～３／５（金）
18	３／８（月）～３／12（金）

第４学年授業期間(受験資格の出欠算出期間)及び試験実施時期一覧表

《自　2026年４月３日（金）　至　2027年３月12日（金)》

学年 / 学期 / 科目	4年 1学期	4年 2学期
Practical Clinical English M4	～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●	
社会と医学・医療（環境医学）	～～～～～～～～～～～～～～～ ◎● ――――――――――――――	
行動科学Ⅱ	～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●	
疫学	～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●	
整形外科	～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●	
眼科	～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●	
皮膚科	～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●	
放射線医学	～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●	
形成外科	～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●	
口腔外科	～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●	
加齢・老化・死	～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●	
症候と病態　診療	～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●	
腫瘍学	～～～～～～～～～～～～～～～ ◎●	
臨床技能統括実習（講義含む）		～～～～～～～～ ◎● ――――――――
PCCE（Pre-clinical Clerkship Exercise）		～～～～～～～～～～～ ◎●

～～～～～～は講義期間（１／３以上欠席した者は受験資格を与えない）
――――――は実習期間（１／４以上欠席した者は受験資格を与えない）
◎印は各科試験
●印は追試験又は再試験
（注）試験は上記以外にも各科目とも中間試験を行うことがある。

授業科目及び時間数（専門科目）

		授業科目	学年	4年		
			週数	20週		
			区分	講義	実習	合計
			科目責任者・総括責任者	時間数	時間数	
専門科目	必修科目	教養と科学				
		Practical Clinical English M4	溝口恵	12:30		12:30
		社会医学・行動科学系				
		社会と医学・医療（環境医学）	環境医学後任教授	25:50	29:10	55:00
		行動科学Ⅱ	谷原	19:10		19:10
		疫学	谷原	16:40		16:40
		臨床医学系				
		整形外科	平岡	25:50		25:50
		眼科	吉田茂	20:50		20:50
		皮膚科	古賀	12:30		12:30
		放射線医学	田上	23:20		23:20
		形成外科	力丸	8:20		8:20
		口腔外科	楠川	8:20		8:20
		加齢・老化・死	野村	16:40		16:40
		症候と病態診療	富永	41:40		41:40
		腫瘍学	長藤	13:20		13:20
		臨床技能統括実習（講義含む）	石橋	20:00	86:40	106:40
		PCCE（Pre-clinical Clerkship Exercise）	川山	52:30		52:30
合計			必修	317:30	155:50	433:20
			計	433:20		433:20

試験日程及び進級基準

◎　履修及び試験に関する細則の第９条第１項第２号及び第２項については，下記のとおりとする。

第４学年

⑴　各科試験

各科の講義期間終了時に本試験を実施する。

⑵　追試験及び再試験

期　間……2026年７月13日（月）～７月23日（木）……２週間

科　目……「社会と医学・医療（環境医学）」,「行動科学Ⅱ」,「疫学」,「整形外科」,
「眼科」,「皮膚科」,「放射線医学」,「形成外科」,「口腔外科」,
「加齢・老化・死」,「症候と病態　診療」,「腫瘍学」,
「Practical Clinical English M4」

⑶　共用試験

2026年９月～11月予定

共用試験の具体的な実施については，追って通知する。

⑷　第４学年総合試験……2027年３月１日（月）

⑸　MEC 全国公開模擬試験……2026年７月24日（金）

進級合否判定基準

⑴　態度評価を判定要件とする。態度評価がＤの場合は他科目の成績の如何に関わらず審議対象とする。

⑵　全科目の成績が60点以上を合格とする。

⑶　共用試験 CBT，臨床実習前 OSCE の成績が当該年度における医療系大学間共用試験実施評価機構が定める統一合格基準（※）を上回ることを必須とする。

※当該年度の医療系大学間共用試験実施評価機構が定める合格基準は別途通知する。

⑷　進級判定は共用試験 CBT，臨床実習前 OSCE，第４学年総合試験を総合的に勘案し決定する。

⑸　合同学習会および集中講義の出席状況を判定の参考とする。

⑹　クリニカル・クラークシップの成績は，第５学年の進級判定の要件とする。

※共用試験 CBT，臨床実習前 OSCE ともに医療系大学間共用試験実施評価機構が定める統一合格基準全てに合格しなければ，クリニカル・クラークシップを履修することはできない。不合格の場合，別プログラムを履修することとする。なお，本プログラムの履修は翌年度の共用試験受験資格とし，欠席は認めない。

※共用試験 CBT，臨床実習前 OSCE ともに医療系大学間共用試験実施評価機構が定める統一合格基準全てに合格し，進級判定で留年となった場合，次年度の共用試験については受験の必要はない。

2026年度第４学年
2027年度第５学年　クリニカル・クラークシップ履修時間割60週

学年	講座	期間	心臓・血管内科	心臓・血管外科	呼吸器内科	呼吸器外科／乳腺外科	消化器内科	消化管外科	肝胆膵外科	麻酔科	救命救急センター	腎臓内科	泌尿器科	内分泌代謝内科	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	眼科	脳神経内科／膠原病内科	脳神経外科	整形外科	血液・腫瘍内科	医療安全／感染制御科	皮膚科／形成外科・顎顔面外科	病理学	放射線科	産婦人科	小児科／小児外科 ※１	精神神経科	医療センター／医療センター総合診療科
	系統週数		2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	４週	４週	４週	４週
	週数内訳																											
第４学年（2026年度）	1	11／２（月）～11／６（金）	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓・㉔	㉕・㉖	㉗・㉘	㉙・㉚
	2	11／９（月）～11／13（金）																										
	3	11／16（月）～11／20（金）	㉒	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑				
	4	11／24（火）～11／27（金）																										
	5	11／30（月）～12／４（金）	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑・㉒	㉓・㉔	㉕・㉖	㉗・㉘
	6	12／７（月）～12／11（金）																										
	7	12／14（月）～12／18（金）	⑳	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲				
	8	12／21（月）～12／25（金）																										
	冬季休暇（12／26～１／３）																											
	9	１／４（月）～１／８（金）	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲・⑳	㉑・㉒	㉓・㉔	㉕・㉖
	10	１／12（火）～１／15（金）																										
	11	１／18（月）～１／22（金）	⑱	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰				
	12	１／25（月）～１／29（金）																										
	13	２／１（月）～２／５（金）	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰・⑱	⑲・⑳	㉑・㉒	㉓・㉔
	14	２／８（月）～２／12（金）																										
	15	２／15（月）～２／19（金）	⑯	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮				
	16	２／22（月）～２／26（金）																										
	第４学年総合試験（３／１）																											
	17	３／２（火）～３／５（金）	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮・⑯	⑰・⑱	⑲・⑳	㉑・㉒
	18	３／８（月）～３／12（金）																										
	春季休暇（３／13～）																											

第５学年 (2027年度)		1	4／5(月)～4／9(金)	⑭	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑮・⑯	⑰・⑱	⑲・⑳	㉑・㉒
		2	4／12(月)～4／16(金)																									
		3	4／19(月)～4／23(金)	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬・⑭	⑮・⑯	⑰・⑱	⑲・⑳
	※2	4	4／26(月)～4／30(金)																									
	※2	4	5／6(木)～5／7(金)																									
		5	5／10(月)～5／14(金)	⑫	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪				
		6	5／17(月)～5／21(金)																									
		7	5／24(月)～5／28(金)	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪・⑫	⑬・⑭	⑮・⑯	⑰・⑱
		8	5／31(月)～6／4(金)																									
		9	6／7(月)～6／11(金)	⑩	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
		10	6／14(月)～6／18(金)																									
		11	6／21(月)～6／25(金)	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨・⑩	⑪・⑫	⑬・⑭	⑮・⑯
		12	6／28(月)～7／2(金)																									
		13	7／5(月)～7／9(金)	⑧	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦				
		14	7／12(月)～7／16(金)																									
		15	7／20(火)～7／23(金)	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦・⑧	⑨・⑩	⑪・⑫	⑬・⑭
		16	7／26(月)～7／30(金)																									
夏季休暇（５週間）（７／31～８／29），実力試験Ａ（８／30～８／31予定）																												
		17	9／1(水)～9／3(金)(予定)	⑥	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑦・⑧	⑨・⑩	⑪・⑫	⑬・⑭
		18	9／6(月)～9／10(金)																									
		19	9／13(月)～9／17(金)	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤・⑥	⑦・⑧	⑨・⑩	⑪・⑫
		20	9／20(月)～9／24(金)																									
		21	9／27(月)～10／1(金)	④	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③				
		22	10／4(月)～10／8(金)																									
		23	10／11(月)～10／15(金)	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③・④	⑤・⑥	⑦・⑧	⑨・⑩
		24	10／18(月)～10／22(金)																									
		25	10／25(月)～10／29(金)	②	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①				
	※3	26	11／1(月)～11／2(火)(予定)																									
試験前休暇（11／３～11／７），実力試験Ｂ（11／８～11／９予定）																												
	※3	26	11／10(水)～11／12(金)(予定)	②	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	③・④	⑤・⑥	⑦・⑧	⑨・⑩
		27	11／15(月)～11／19(金)	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①・②	③・④	⑤・⑥	⑦・⑧
		28	11／22(月)～11／26(金)																									
		29	11／29(月)～12／3(金)	㉚	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙				
		30	12／6(月)～12／10(金)																									
		31	12／13(月)～12／17(金)	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙・㉚	①・②	③・④	⑤・⑥
		32	12／20(月)～12／24(金)																									
冬季休暇（12／26～１／３）																												
		33	1／4(火)～1／7(金)	㉘	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉙・㉚	①・②	③・④	⑤・⑥
		34	1／11(火)～1／14(金)																									

	講座		心臓・血管内科	心臓・血管外科	呼吸器内科	呼吸器外科／乳腺外科	消化器内科	消化管外科	肝胆膵外科	麻酔科	救命救急センター	腎臓内科	泌尿器科	内分泌代謝内科	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	眼科	脳神経内科／膠原病内科	脳神経外科	整形外科	血液・腫瘍内科	医療安全／感染制御科	皮膚科／形成外科・顎顔面外科	病理学	放射線科	産婦人科	小児科／小児外科 ※1	精神神経科	医療センター／医療センター総合診療科
	系統週数	期間	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	4週	4週	4週	4週
学年	週数内訳																											
	35	1／17(月)～1／21(金)	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗・㉘	㉙・㉚	①・②	③・④
	36	1／24(月)～1／28(金)																										
	37	1／31(月)～2／4(金)	㉖	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕				
	38	2／7(月)～2／10(木)																										
	39	2／14(月)～2／18(金)	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕・㉖	㉗・㉘	㉙・㉚	①・②
	40	2／21(月)～2／25(金)																										
	41	2／28(月)～3／3(金)(予定)	㉔	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓				
	42	3／6(月)～3／10(金)																										
		第5学年総合試験（未定）																										

※1　「小児科／小児外科」については，「小児科3週，小児外科1週」とする。
※2　5学年第5週目（4／26（月）～5／7（金））については，期間中計5日実習を行い，2週を1週分として取り扱う。
※3　5学年第26週目（11／1（月），11／2（火）），（11／10（水）～11／12（金））については，2週を1週分として取り扱う。
※「履修時間について」……クリニカル・クラークシップの履修時間は，原則として8：30～17：00とする。
※「再履修について」
1．2026年11月2日（月）～2027年3月12日（金）までの再履修は，土日及び春季休暇期間中に行う。
2．2027年4月5日（月）～2027年7月30日（金）までの再履修は，土日及び夏季休暇期間中に行う。
3．2027年9月1日（水）～2027年12月24日（金）および2028年1月4日（月）～2028年3月10日（金）までの再履修は，土日及び冬期休暇期間中に行う。
※「第4学年総合試験」……2027年3月1日（月）（予定）
※「実力試験A」……2027年8月30日（月）～2027年8月31日（火）（予定）
※「実力試験B」……2027年11月8日（月）～2027年11月9日（火）（予定）
※「第5学年総合試験」……未定

第　5　学　年

第 5 学 年 の 学 修

久留米大学医学部医学科が掲げる基本理念である「国手の理想は常に仁なり」という言葉を第５学年の皆さんは常に念頭においていて日々を過ごしてください。また，第５学年はクリニカル・クラークシップが引き続き行われます，「仁」の心をさらに深めていきましょう。

全国の君たちの先輩の若手医師の多くは，この臨床実習を熱心に行うことが医師国家試験勉強と卒業してからの研修に大変役に立ったといっています。この実習では，４年生までに君たちが積み上げてきた医学の知識を臨床の場で確認していく作業を行うと同時に，スチューデントドクターとして患者さんに診療という形で接する過程に，より実践的に参加することになります。４年生までに学んだ内容は常に頭のどこかに，すぐに思い浮かべられるように予習復習を怠らないようにしてください。そうすることで実習の成果は何倍にも上がります。第５学年修了時には医師国家試験に合格できるレベルの知識と技能を身につけることを求めます。そのためにも日々努力を続けてください。またスチューデントドクターとして，清潔できちんとした身なりで実習に臨んでください。皆さんの姿勢・言葉・態度は常に注目されています。患者さんに対して安心感を与えられるよう，何事も早めに準備し，常に考えながら行動してください。さまざまな診療科で実習を受けることになりますが，まず行うことは挨拶です。指導医への挨拶は勿論，看護師さんや助産師さん，看護助手さんへの挨拶をしましょう。それから患者さんへの挨拶です。患者さんからよい印象をもたれるように努力してください。第一印象はとても大切です。病歴と内科的診察はどの診療科でも必ずさせてもらうようにしてください。その際にはOSCEを思い出しながら行いましょう。病歴は基本的事項に関しては各診療科共通です（主訴，現病歴，既往歴，家族歴，生活歴等）。その上に各診療科に特有な病歴部分が強調されてカルテ（診療録）が作られています。そこで少なくとも基本的な病歴は確実にとれるようになってください。

今，国は卒前教育から卒後教育へのよりシームレスな移行を目指しています。クリニカル・クラークシップで身につけたものは間違いなく君たちの一生の財産となります。基本的臨床手技に習熟していることが初期臨床研修での成果をあげることができる重要な条件の１つになります。こんな簡単な基本手技や問診法はいつでも身につけることができると思っていたら，いつまでも身に付かないものです。１日１日を大切にし，実習を通して君たちの一生の財産を身につけましょう。

最後に，患者さんが望む医師は，君たちの最愛の人，例えば両親，兄弟などが病んだ時に君たちが安心してまかせようと思う医師です。常にそのことを念頭において，実習に　学修に臨んでください。

試験日程・評価及び進級基準

履修及び試験に関する細則の第９条第１項第２号及び第２項については下記のとおりとする。

１．クリニカル・クラークシップ（各科評価）

履修期間……2025年11月４日（火）～2027年３月12日（金）

※「再履修について」

・2025年11月４日（火）～2026年３月13日（金）までの再履修は，春季休暇期間中に行う。

・2026年４月６日（月）～2026年７月31日（金）までの再履修は，夏季休暇期間中に行う。

・2026年９月２日（水）～2026年12月25日（金）および2027年１月４日（月）～2027年３月12日（金）までの再履修は土日に行う。

評価方法……Hondanaにおけるクリニカル・クラークシップ評価による【実技評価】及び各科における総括や評価表による【総括評価】で評価する。

総括評価の主な項目

・基礎知識の量と理解度

・病歴聴取

・身体診察

・カルテ記載

・症例のプレゼンテーション

・臨床医としての態度

・自己学習能力と柔軟性

・患者とのコミュニケーション

・医療チームの他のメンバーとの関係

・出席の評価

２．第５学年総合試験

試験日……2027年３月２日（火）

３．MEC 全国公開模擬試験

2026年９月26日（土）

2027年３月13日（土）

4．実力試験

実力試験Ａ……2026年８月31日（月）・９月１日（火）の２日間

実力試験Ｂ……2026年11月９日（月）・10日（火）の２日間

進級合否判定基準

⑴　態度評価を判定要件とする。態度評価がＤの場合は他科目の成績の如何に関わらず審議対象とする。

⑵　クリニカル・クラークシップの成績（第４学年履修科目を含む）および第５学年総合試験の成績が全て60点以上を合格とする。

⑶　実力試験Ａおよび実力試験Ｂの成績は必修問題60％，医学総論・医学各論の合計50％以上を合格とする。

⑷　進級判定は実力試験Ａ，実力試験Ｂ，第５学年総合試験，クリニカル・クラークシップを総合的に勘案し決定する。

※なお，実力試験Ａ，実力試験Ｂ，第５学年総合試験の配分は20：30：50とする。

⑸　クリニカル・クラークシップの態度評価は，ＡＡ，Ａ，Ｂ，Ｃを合格とする。

⑹　合宿講義および集中講義の出席状況を判定の参考とする。

2025年度第４学年
2026年度第５学年　クリニカル・クラークシップ履修時間割60週

学年	講座	期間	心臓・血管内科	心臓・血管外科	呼吸器内科	呼吸器外科／乳腺外科	消化器内科	消化管外科	肝胆膵外科	麻酔科	救命救急センター	腎臓内科	泌尿器科	内分泌代謝内科	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	眼科	脳神経内科／膠原病内科	脳神経外科	整形外科	血液・腫瘍内科	医療安全／感染制御科	皮膚科／形成外科・顎顔面外科	病理学	放射線科	産婦人科	小児科／小児外科 ※1	精神神経科	医療センター／医療センター総合診療科
	系統週数	期間	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	4週	4週	4週	4週
	週数内訳																											
第４学年（2025年度）	1	11／４(火)～11／７(金)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓・㉔	㉕・㉖	㉗・㉘	㉙・㉚
	2	11／10(月)～11／14(金)																										
	3	11／17(月)～11／21(金)	㉒	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑				
	4	11／25(火)～11／28(金)																										
	5	12／１(月)～12／５(金)	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑・㉒	㉓・㉔	㉕・㉖	㉗・㉘
	6	12／８(月)～12／12(金)																										
	7	12／15(月)～12／19(金)	⑳	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲				
	8	12／22(月)～12／26(金)																										
	冬期休暇（12／28～１／５）																											
	9	１／５(月)～１／９(金)	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲・⑳	㉑・㉒	㉓・㉔	㉕・㉖
	10	１／13(火)～１／16(金)																										
	11	１／19(月)～１／23(金)	⑱	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰				
	12	１／26(月)～１／30(金)																										
	13	２／２(月)～２／６(金)	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰・⑱	⑲・⑳	㉑・㉒	㉓・㉔
	14	２／９(月)～２／13(金)																										
	15	２／16(月)～２／20(金)	⑯	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮				
	16	２／24(火)～２／27(金)																										
	第４学年総合試験（３／２）																											
	17	３／３(火)～３／６(金)	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮・⑯	⑰・⑱	⑲・⑳	㉑・㉒
	18	３／９(月)～３／13(金)																										
	春季休暇（３／14～）																											

第５学年 （2026年度）		1	4／6（月）～4／10（金）	⑭	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑮・⑯	⑰・⑱	⑲・⑳	㉑・㉒
		2	4／13（月）～4／17（金）																									
		3	4／20（月）～4／24（金）	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬・⑭	⑮・⑯	⑰・⑱	⑲・⑳
	※2	4	4／27（月）～5／1（金）																									
	※2	4	5／7（木）～5／8（金）																									
		5	5／11（月）～5／15（金）	⑫	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪				
		6	5／18（月）～5／22（金）																									
		7	5／25（月）～5／29（金）	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪・⑫	⑬・⑭	⑮・⑯	⑰・⑱
		8	6／1（月）～6／5（金）																									
		9	6／8（月）～6／12（金）	⑩	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
		10	6／15（月）～6／19（金）																									
		11	6／22（月）～6／26（金）	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨・⑩	⑪・⑫	⑬・⑭	⑮・⑯
		12	6／29（月）～7／3（金）																									
		13	7／6（月）～7／10（金）	⑧	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦				
		14	7／13（月）～7／17（金）																									
		15	7／21（火）～7／24（金）	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦・⑧	⑨・⑩	⑪・⑫	⑬・⑭
		16	7／27（月）～7／31（金）																									
	夏季休暇（５週間）（８／１～８／30），実力試験Ａ（８／31～９／１予定）																											
		17	9／2（水）～9／4（金）	⑥	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤	⑦・⑧	⑨・⑩	⑪・⑫	⑬・⑭
		18	9／7（月）～9／11（金）																									
		19	9／14（月）～9／18（金）	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③	④	⑤・⑥	⑦・⑧	⑨・⑩	⑪・⑫
		20	9／21（月）～9／25（金）																									
		21	9／28（月）～10／2（金）	④	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③				
		22	10／5（月）～10／9（金）																									
		23	10／13（火）～10／16（金）	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	②	③・④	⑤・⑥	⑦・⑧	⑨・⑩
		24	10／19（月）～10／23（金）																									
		25	10／26（月）～10／30（金）	②	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①				
	※3	26	11／2（月）（予定）																									
	試験前休暇（11／３～11／８），実力試験Ｂ（11／９～11／10予定）																											
	※3	26	11／11（水）～11／13（金）（予定）	②	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①	③・④	⑤・⑥	⑦・⑧	⑨・⑩
		27	11／16（月）～11／20（金）	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	①・②	③・④	⑤・⑥	⑦・⑧
		28	11／24（火）～11／27（金）																									
		29	11／30（月）～12／4（金）	㉚	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙				
		30	12／7（月）～12／11（金）																									
		31	12／14（月）～12／18（金）	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙・㉚	①・②	③・④	⑤・⑥
		32	12／21（月）～12／25（金）																									
	冬季休暇（12／26～１／３）																											

	講座		心臓・血管内科	心臓・血管外科	呼吸器内科	呼吸器外科／乳腺外科	消化器内科	消化管外科	肝胆膵外科	麻酔科	救命救急センター	腎臓内科	泌尿器科	内分泌代謝内科	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	眼科	脳神経内科／膠原病内科	脳神経外科	整形外科	血液・腫瘍内科	医療安全／感染制御科	皮膚科／形成外科・顎顔面外科	病理学	放射線科	産婦人科	小児科／小児外科 ※1	精神神経科	医療センター／医療センター総合診療科
	系統週数	期間	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	2週	4週	4週	4週	4週
学年	週数内訳																											
	33	1／4(月)～1／8(金)	㉘	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉙・㉚	①・②	③・④	⑤・⑥
	34	1／12(火)～1／15(金)																										
	35	1／18(月)～1／22(金)	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖				
	36	1／25(月)～1／29(金)																							㉗・㉘	㉙・㉚	①・②	③・④
	37	2／1(月)～2／5(金)	㉖	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕				
	38	2／8(月)～2／12(金)																										
	39	2／15(月)～2／19(金)	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕・㉖	㉗・㉘	㉙・㉚	①・②
	40	2／22(月)～2／26(金)																										
	試験前休暇（3／1），第5学年総合試験（3／2）																											
	41	3／3(水)～3／5(金)	㉔	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉕・㉖	㉗・㉘	㉙・㉚	①・②
	42	3／8(月)～3／12(金)(予定)																										

※1　「小児科／小児外科」については，「小児科3週，小児外科1週」とする。
※2　5学年第5週目（4／27（月）～5／8（金））については，期間中計5日実習を行い，2週を1週分として取り扱う。
※3　5学年第26週目（11／4（火）），（11／12（水）～11／14（金））については，2週を1週分として取り扱う。
※「履修時間について」……クリニカル・クラークシップの履修時間は，原則として8：30～17：00とする。
※「再履修について」
1．2025年11月4日（火）～2026年3月13日（金）までの再履修は，土日及び春季休暇期間中に行う。
2．2026年4月6日（月）～2026年7月31日（金）までの再履修は，土日及び夏季休暇期間中に行う。
3．2026年9月2日（水）～2026年12月25日（金）および2027年1月4日（月）～2027年3月12日（金）までの再履修は，土日及び冬期休暇期間中に行う。
※「第4学年総合試験」……2026年3月2日（月）
※「実力試験A」……2026年8月31日（月）～2026年9月1日（火）（予定）
※「実力試験B」……2026年11月9日（月）～2026年11月10日（火）（予定）
※「第5学年総合試験」……2027年3月2日（火）

第　6　学　年

第 6 学 年 の 学 修

いよいよ最終学年になります。ここまでに身に着けてきた知識と技能は確かなものでしょうか。また繰り返しになりますが久留米大学医学部医学科が掲げる基本理念である「国手の理想は常に仁なり」という言葉に恥じることのない行動と生活ができてきたでしょうか。第6学年の皆さんはもう一度「仁」について自分としての向き合い方を振り返ってみてください。そして来るべき国家試験に向けて頭と心と体を整えていきましょう。

第6学年の前半はクリニカル・クラークシップです。第5学年までの実習での経験を生かし，チーム医療の一員としての責任をはたせるさらに一歩進んだ診療参加型臨床実習を実践してください。臨床技能で足りないところがないかどうかを自己点検して，足りないところがあればこの期間中に習得するように努力してください。その集大成として実施される臨床実習後 OSCE ではより高いレベルでの臨床推論や臨床技能の力が求められます。またこの期間の実習は自分の将来の進路にも影響してくるかもしれません。それくらい高い意識をもって最終段階の実習に臨みましょう。

後半は本格的に国家試験に向けた知識の総まとめをする時期です。まずは国家試験受験資格を得るための卒業試験を乗り越えなくてはなりません。卒業試験をクリアすることは決してたやすいものではありません。しかしここまで積み重ねてきた確かな知識と経験があれば，普通に乗り越えられるはずです。そして卒業試験に向けた学修は国家試験にも必ず役立ちます。真摯に取り組みましょう。

最後になりますが，医師としてのあなたに期待しているのは何も家族や友人だけではありません，世の全ての人であるということを忘れずに，その時々に行うべきことを素直にそして真剣な気持ちで行いましょう。

試験日程・評価及び卒業基準

履修及び試験に関する細則の第９条第１項第２号及び第２項については下記のとおりとする。

１．クリニカル・クラークシップ（各科評価）

履修期間……2026年４月６日（月）～2026年７月10日（金）

※「再履修について」

夏季休暇期間中に行う。

評価方法……Hondana におけるクリニカル・クラークシップ評価による【実技評価】及び各科における総括や評価表による【総括評価】で評価する。

総括評価の主な項目

・基礎知識の量と理解度
・病歴聴取
・身体診察
・カルテ記載
・症例のプレゼンテーション
・臨床医としての態度
・自己学習能力と柔軟性
・患者とのコミュニケーション
・医療チームの他のメンバーとの関係
・出席の評価

２．卒業試験

卒業試験Ａ……2026年８月31日（月）・９月１日（火）の２日間

卒業試験Ｂ……2026年11月９日（月）・10日（火）の２日間

卒業試験再試……2027年１月４日（月）

３．共用試験臨床実習後 OSCE

本試験……2026年７月～８月予定

再試験……2026年７月～８月予定

4．メディックメディア医師国試模試

第１回（夏）　2026年７月４日（土）・５日（日）

第２回（冬）　2026年11月下旬～12月上旬

第３回（直前）　2027年１月上旬

卒業合否判定基準

⑴ 態度評価を判定要件とする。態度評価がＤの場合は他科目の成績の如何に関わらず審議対象とする。

⑵ クリニカル・クラークシップの成績，共用試験臨床実習後 OSCE の成績が60点以上を合格とする。

⑶ クリニカル・クラークシップの態度評価はＡＡ，Ａ，Ｂ，Ｃを合格とする。

⑷ 卒業試験Ａ，Ｂの配分を４：６として集計したものが必修問題80％以上，医学総論・医学各論の合計70％以上，禁忌肢問題選択数が各３問以下を合格とする。

なお，合否判定は卒業試験Ａ，Ｂおよび卒業試験再試験の結果を総合的に勘案し決定する。

⑸ 卒前医学総合講義，合宿講義および集中講義の出席状況を判定の参考とする。

2026年度　第６学年クリニカル・クラークシップ履修時間割14週

<table>
<tr><td colspan="3" rowspan="2"></td><td colspan="29">選択必修科目（学内）</td><td colspan="16">選択必修科目（学外）</td><td rowspan="2">LIC（長期統合型臨床実習）</td></tr>
<tr><td>呼吸器内科</td><td>脳神経内科</td><td>膠原病内科</td><td>消化器内科</td><td>心臓・血管内科</td><td>内分泌代謝内科</td><td>腎臓内科</td><td>血液・腫瘍内科</td><td>心臓・血管外科</td><td>呼吸器外科</td><td>乳腺外科</td><td>消化管外科</td><td>脳神経外科</td><td>小児外科</td><td>麻酔科</td><td>救命救急センター</td><td>泌尿器科</td><td>耳鼻咽喉科・頭頸部外科</td><td>眼科</td><td>整形外科</td><td>感染制御科</td><td>皮膚科</td><td>形成外科・顎顔面外科</td><td>産科</td><td>婦人科</td><td>小児科</td><td>精神神経科</td><td>放射線科</td><td>医療センター総合診療科</td><td>聖マリア病院</td><td>久留米総合病院</td><td>公立八女総合病院</td><td>筑後市立病院</td><td>大牟田市立病院</td><td>朝倉医師会病院</td><td>柳川病院</td><td>済生会日田病院</td><td>社会保険田川病院</td><td>宗像水光会総合病院</td><td>熊本セントラル病院</td><td>福岡記念病院</td><td>済生会二日市病院</td><td>新古賀病院</td><td>戸畑共立病院</td><td>済生会大牟田病院</td></tr>
<tr><td colspan="3">１クール履修受入最大者数</td><td rowspan="2">6</td><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">6</td><td rowspan="2">8</td><td rowspan="2">5</td><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">6</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">6</td><td rowspan="2">5</td><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">8</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2" colspan="2">5</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">6</td><td rowspan="2">17</td><td rowspan="2">5</td><td rowspan="2">8</td><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">10</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">0</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">2</td><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">未定</td></tr>
<tr><td>クール</td><td colspan="2">期間</td></tr>
<tr><td>1</td><td>４／６（月）～５／１（金）</td><td>４週</td><td colspan="29">B，C，D</td><td colspan="16">A</td><td rowspan="3">E</td></tr>
<tr><td>2</td><td>５／７（木）～５／29（金）</td><td>４週</td><td colspan="29">A，C，D</td><td colspan="16">B</td></tr>
<tr><td>3</td><td>６／１（月）～６／19（金）</td><td>３週</td><td colspan="29">A，B，D</td><td colspan="16">C</td></tr>
<tr><td>4</td><td>６／22（月）～７／10（金）</td><td>３週</td><td colspan="29">A，B，C，E</td><td colspan="16">D</td></tr>
</table>

※　１クール履修受付最大者数は，昨年度の実績を示す。
※　2026年５月４日（月）～５月６日（水）の期間は，自主学習とする。
※　「履修時間について」……クリニカル・クラークシップの履修時間は，原則として８：30～17：00とする。
※　「再履修について」……原則，夏季休暇期間中に行う。

卒前医学総合講義授業時間割

2026年 9 月 3 日（木）～10月21日（水）…… 7 週間

時間	1	2	3	4	5	6
曜日	8:40～9:30	9:40～10:30	10:40～11:30	11:40～12:30	13:30～14:20	14:30～15:20
月	総合講義				総合講義	
火	総合講義				総合講義	
水	総合講義				総合講義	
木	総合講義				総合講義	
金	総合講義				総合講義	

クリニカル・クラークシップ

このクリニカル・クラークシップで何を学ぶか

わが国では診療参加型臨床実習と訳されているが，その主旨は学生が診療チームに参加し，その一員として診療業務を分担しながら医師の職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な部分を学ぶことにあり，教育上の主な特徴としては，以下の項目があげられる。

1．学生は教科書，文献的知識だけでなく現場での思考法（臨床推論法）や実技，診療上や学習上の態度も含めて医師としての能力を総合的に学ぶ。

2．患者さんの診療を通じて学生の指導にあたる医師群（診療に直接あたる医師を中心とし，研修医等），看護職等の診療スタッフは，患者さんの診療業務のうち，学生の能力に応じた役割を任せる。学生の能力向上に応じて，より高度な業務を任せることにより，学生は，必要な知識・思考法・技能・態度を段階的に学ぶことができる。

3．クリニカル・クラークシップは医師国家試験（国試）に役立たないのか？

個別の勉強会のさまたげになり国試に役立たないと言う学生もいるが，これは大きな誤りで，国は机上の勉強をする学生より臨床実習をきちんとやっている学生を国試で選ぶ事を重視している。

4．新しいクリニカル・クラークシップはどこが変わったか？

国の目指す卒前・卒後教育と一貫性をもたせるため，５年生でモデル・コア・カリキュラムの基幹科目（プライマリ・ケアを含む），６年生で選択科目を学ぶように分類した。従って，５年生クリニカル・クラークシップ終了時には実技，態度，知識の３つがきちんと学習されている事が総合的に評価される事となった。

第４・５・６学年

授業科目及び時間数（専門科目）

		学年	４・５年		６年		合計
		週数	60		8	14	
		区分	講　義	実　習	講　義	実　習	
		授業科目	時間数	時間数	時間数	時間数	
専門科目	必修科目	クリニカル・クラークシップ					
		心臓・血管内科		70:00			70:00
		心臓・血管外科		70:00			70:00
		呼吸器内科		70:00			70:00
		呼吸器外科／乳腺外科		70:00			70:00
		消化器内科		70:00			70:00
		消化管外科		70:00			70:00
		肝胆膵外科		70:00			70:00
		麻酔科		70:00			70:00
		救命救急センター		70:00			70:00
		腎臓内科		70:00			70:00
		泌尿器科		70:00			70:00
		内分泌代謝内科		70:00			70:00
		耳鼻咽喉科・頭頸部外科		70:00			70:00
		眼科		70:00			70:00
		脳神経内科／膠原病内科		70:00			70:00
		脳神経外科		70:00			70:00
		整形外科		70:00			70:00
		血液・腫瘍内科		70:00			70:00
		医療安全／感染制御科		70:00			70:00
		皮膚科／形成外科・顎顔面外科		70:00			70:00
		病理学		70:00			70:00
		放射線科		70:00			70:00
		産婦人科		140:00			140:00
		小児科／小児外科		140:00			140:00
		精神神経科		140:00			140:00
		医療センター　総合診療科		140:00			140:00
		クリニカル・クラークシップ				490:00	490:00
		卒前医学総合講義			133:20		133:20
合　　計				2100:00	133:20	490:00	2723:20
			2100:00		623:20		

クリニカル・クラークシップ実施要綱

1．目　標

(1) 獲得すべき資質・能力（全体）

技　能

1）実地診療において，患者の問題解決ができるように，問診に始まり診察，検査，診断および治療までの基本的技能態度を修得する。

態度・習慣

2）チーム医療を理解して分担し，チームの一員として望ましい行動をとる。

3）患者を全人的に理解し，患者から医学を学ばせていただくという態度を身につける。

4）好ましい医師―患者関係およびコメディカル関係を保つ。

5）患者から得た情報の守秘義務を全うする。

6）医の倫理を理解し実行する。

7）医師となる使命・責任感を培う。

8）自学自習の習慣を養う。

9）医師候補生たるに望ましい日常の態度と習慣を身につける。

知　識

10）これまで得た知識をより確実にする。

11）患者の愁訴，症状，徴候や所見を十分に解釈する。

12）患者の問題解決のための診断・検査計画，手術適応を含む治療計画を立てる能力を身につける。

13）地域医療を理解し，大学附属病院とその医師の役割を知る。

14）医療経済の一端を知り，あり方を考える。

15）臨床実習を自己評価し，自らの向上へフィードバックする。

(2) 獲得すべき資質・能力（個別）

1）スタッフ，レジデント，研修医，ナース，そのほかの医療従事者の診療チームのなかのクリニカル・クラークとして行動する。単なる見学者や「お客様」ではなく，積極的参加者である。

2）患者の主治医であるスタッフ，レジデント，研修医の紹介によって自己紹介し，患者の同意を得て，指導医の立ち合い・指導によってカリキュラムに示された医行為を伴う臨床行動を行う。

3）患者の病歴をとり，診察を行い，検査に参加し，診断の進め方を演習する。

4）手術を含む治療適応を考え整理し，カンファレンスで述べる。

5）指導医とともに，患者の治療に参加する。

6）手術を行う場合は（以下11）まで，患者の術前準備・処置に参加する。

7）手術室で正しく手洗い（scrub）し，手術に助手として入る。

8）基本的手術手技を図に描いて説明できる。

9）基本的手術器械を手にとって説明できる。

10）麻酔と術中管理に参加し，説明できる。

11）術後管理に参加する。

12）治療の結果を追跡し評価する。

13）退院後の患者へのケアの説明に参加する。

学生諸君へ

(1) 疾患中心の実習から全人的医療実習へ

臨床実習の対象は疾患ではなく，疾患という身体的問題を有し，その解決を希望する患者であり，心理的存在，社会的存在としての人間である。したがって，全人的医療の実習でなければならない。

(2) 自学自習で問題解決

教科書は臨床実習における学習の対象ではなく，教科書を利用して患者の臨床実習を行うのである。教科書を記憶するのではなく，教科書を活用して問題解決能力を身につける。

(3) ブックサイドやデスクサイドからベッドサイドへ

本来，臨床実習は患者のベッドサイドのみで行われるものである。しかし，医学生は患者のベッドサイドよりもナースステーション，病歴室や図書室のデスクサイドにこもりがちになる，望ましくない習慣を身につける傾向がある。またクルズスなど小グループで講義を受けることを喜ぶ。

これは臨床実習の目的に反するものであるから，ベッドサイドで患者の近く，それも足側でなく情報の多い頭側にいる時間を長くもつように努める。回診のときも，患者の足側で遠巻きにして両腕を拱いて見ている姿は，実習に対する受身の態度であり，消極性の表れである。

(4) チェックリストの活用と自己点検自己評価

学生諸君は実施回数の記入を行い，未修得の内容を注意して満たす。疑問や不明の事態，できない技能は先輩レジデントや上級生はもちろん，同級生にも尋ねたり教えを請うたりして切磋琢磨する。各チームと積極的に相互評価を行う。

(5) 意識改革

臨床実習は二度と同じことは再現しない。明日ありと思うな。その場の恥は明日の恥よりはるかに小さいと銘ずべし。

２．期　間

４年生の11月より，６年生の前期（８月まで）の期間をクリニカル・クラークシップにあてる。但し，５年次の終了時に成績評価，進級判定を行う。

３．各科の受け入れ人数

「履修時間割表」に定めるグループごとに履修する。

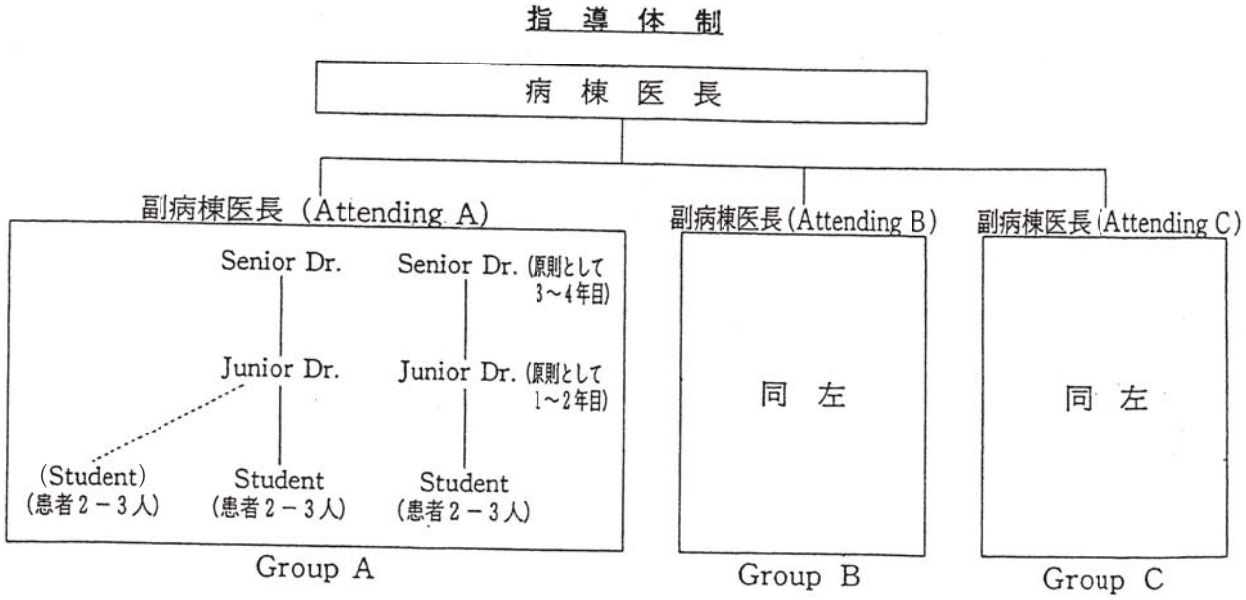
４．指導体制

文部科学省の定める基幹科目（内科，外科，小児科，婦人科，救急救命医学，精神神経科）の病棟実習は，下記に示すチーム医療体制を基本に，学生が医療チームの一員として，参加型臨床実習を行う。外来ならびに院外施設による実習は各科ごとの指導要項に従う。

指導は各講座員および病棟スタッフ全員により行うが，主として学生は指導医（シニアレジデント），研修医（ジュニアレジデント）の下に配属され，チーム医療を実践するものとする。すなわち，学生を主に教えるのはジュニアレジデント（研修医）。その研修医を指導するのはシニアレジデントである。つまり，指導しながら学ぶこととなる。

下図のとおり原則として学生，研修医，指導医の３名を１チームとするが，この体制をとることが困難な診療科においては，各科の事情を考慮するものとする。

その他，病棟医長，アテンディング機能をおく。



上記基幹科目以外の科目については，臨床参加型の方式を可能な限り尊重しながら，各科の専門性，特殊性に基づき，適宜，従来の BSL 方式やチュートリアル形式，小講義，レポート作成などを組み合わせて，各科ごとの教育体制で行う。

5．学生の行為，実習内容

病棟における医療行為は当時の厚生省（現厚生労働省）が1991年に定めた水準に準拠する（表1）。

学生は患者さんの病歴聴取や診察をした後，これらを整理して本物のカルテに記載することを原則とする。ただし，カルテ記載に関しては各科の事情を考慮するものとする。

また，検査，治療のプランも原則として学生が本物のカルテに記載するものとする。

なお，学生であることを明記するために，学生であることのサインを残すものとする（名前　M.S.と記載）。

（例）入院時

〈Student Admission Note〉

病　　歴……

理学所見……

検　　査……

A & P……

久留米　太　郎　　M．S．

その後（毎日）

〈Student Progress Note〉

Subjective（S）：胸が痛い

Objective（O）：心電図所見

Assessment and Plan（A&P）

……

……

久留米　太　郎　　M．S．

クリニカル・クラークシップ中の医行為について

⑴　医行為の範囲

医学生の行う医行為の範囲の基準は，文部科学省の定めた「診療参加型臨床実習ガイドライン」に記載されているレベルⅠ・レベルⅡ（レベルⅡは介助もしくは見学のみ）の医行為および厚生労働省が定める「医師養成の観点から医学生が実施する医行為の例示について」に記載されている必須項目・推奨項目とする。なお，レベルⅡおよび上記項目以外の医行為を行う場合は，患者から個別同意を取得した場合のみ実施可能となるので，十分留意すること。（次ページ参照。）

⑵　インフォームドコンセント

外来で医学生の臨床実習に関する説明を行い，包括同意を得る。（外来担当医，外来主任等）

①　入院手続きの際に再度説明を行い，包括同意を得る。（病棟医長）

②　更に詳しい説明を求められた場合は，補足の説明を行う。（外来医長，担当医）

③　同意が得られている患者さんに対しても，個々の医行為の実施時に口頭で説明，承諾を得る。（病棟医長・外来医長・担当医・指導医・学生）

⑶　困った事が生じた場合

何らかのトラブルが生じた場合には指導医（主治医）に報告すると共に，病棟責任者か教育連絡主任に連絡する。→当該患者と学生への対応は病棟主任と学生担当または主治医，教授で協議して決定する。

担当患者の診察に際しては，積極的に主治医と連絡を取ること。主治医が不在の場合の指示や診察は，学生担当医や病棟主任等各病棟のスタッフが代行するので，必ず相談する事。

診察や医行為を主治医その他病棟スタッフの許可なしに行わないこと。

⑷　その他

主治医や指導医とは必ず連絡を取り，スケジュールの確認を行うこと。帰宅する時は主治医あるいはその他のスタッフに連絡して帰宅すること。

病棟を離れる際には，看護師や看護助手の方へも連絡を怠らない事。

以上は「基本の基本」である事を認識して欲しい。各講座，各科でやり方は少し異なると思うが，臨床実習中の医学生は「医療スタッフの一員」である事を十分認識して欲しい。

失敗は恐れてはいけないが，不勉強な学生のために患者さんがいるのではない。４学年までの知識と経験をふまえ，実地の中で少しでもスキルアップできる様，努力して欲しい。

診療参加型臨床実習における医行為（文部科学省）

①レベルⅠ：指導医の指導・監督のもとで医学生が実施できる医行為

- ・診療の基本　臨床推論，診断・治療計画立案，EBM［エビデンスに基づく医療］，診療録作成，症例プレゼンテーション
- ・一般手技　体位交換，移送，皮膚消毒，外用薬の貼付・塗布，気道内吸引，ネブライザー，静脈採血，末梢静脈確保，胃管挿入，尿道カテーテル挿入・抜去，注射(皮内・皮下・筋肉内・静脈内)，診療記録
- ・外科手技　清潔操作，手洗い，ガウンテクニック，縫合，抜糸，消毒，ガーゼ交換
- ・検査手技　尿検査，末梢血塗抹標本，微生物学的検査（グラム染色を含む），妊娠反応検査，血液型判定，脳波検査（記録），超音波検査（心臓・腹部），12誘導心電図，視力・視野・聴力・平衡検査，経皮的酸素飽和度モニター
- ・診察手技　医療面接，診察法（成人・小児，全身・臓器）（侵襲性・羞恥的医行為は除く），基本的な婦人科診察，バイタルサイン，耳鏡，鼻鏡，眼底鏡，直腸診察，前立腺診察，乳房診察，高齢者の診察（ADL 評価，高齢者総合機能評価）
- ・救急　一次救命処置

②レベルⅡ：指導医の実施を医学生の介助か見学にとどめている医行為

- ・一般手技　中心静脈カテーテル挿入，動脈採血，動脈ライン確保，腰椎穿刺，膀胱洗浄，ドレーン挿入・抜去，全身麻酔，局所麻酔，輸血，眼球に触れる治療，各種診断書・検案書・証明書の作成
- ・外科手技　手術，術前・術中・術後管理
- ・検査手技　脳波検査（判読），筋電図，眼球に触れる検査，超音波検査（判読），X線検査，CT・MRI・核医学・内視鏡検査
- ・診察手技　婦人科疾患の診察，妊婦の診察と分娩
- ・救急　救命治療（二次救命処置など），救急病態の初期治療，外傷処置

医師養成の観点から医学生が実施する医行為の例示（厚生労働省）

①必須項目：臨床実習中に実施されるべき医行為

- ・診察　診療記録記載（診療録作成），医療面接，バイタルサインチェック，診察法（全身・臓器），耳鏡，鼻鏡，眼底鏡，基本的な婦人科診察，乳房診察，直腸診察，前立腺診察，高齢者の診察（ADL 評価，高齢者総合機能評価）
- ・一般手技　皮膚消毒，外用薬の貼付・塗布，気道内吸引，ネブライザー，静脈採血，末梢静脈確保，胃管挿入，尿道カテーテル挿入・抜去，注射（皮内・皮下・筋肉内・静脈内），予防接種
- ・外科手技　清潔操作，手指消毒（手術前の手洗い），ガウンテクニック，皮膚縫合，抜糸，消毒，ガーゼ交換，止血処置，手術助手
- ・検査手技　尿検査，血液塗抹標本の作製と観察，微生物学的検査（グラム染色を含む），妊娠反応検査，超音波検査（心臓血管・腹部），心電図，経皮的酸素飽和度モニター，病原体抗原の迅速検査，簡易血糖測定
- ・救急　一次救命処置，気道確保，胸骨圧迫，バックバルブマスクによる換気，AED
- ・治療　処方薬(内服薬)・注射・点滴などのオーダー，食事指示，安静度指示，定型的な術前・術後管理の指示，酸素投与量の調整，診療計画の作成

②推奨項目：臨床実習中に実施が望ましい医行為

- ・診察　患者・家族への病状説明，分娩介助，直腸鏡，肛門鏡
- ・一般手技　ギプス巻き，小児からの採血，カニューレ交換，浣腸
- ・外科手技　膿瘍切開，排膿，嚢胞・腫瘍穿刺（体表），創傷処置，熱傷処置
- ・検査手技　血液型判定，交差適合試験，アレルギー検査（塗布），発達テスト，知能テスト，心理テスト
- ・救急　電気ショック，気管挿管，整形外科的保存療法（固定など）
- ・治療　健康教育

クリニカル・クラークシップ検査・処置マニュアル

各科共通の必修事項

A　患者・家族・医療従事者との人間関係（実習態度・一般的マナーを含む。）

マナー

1．時間を厳守する。

2．身だしなみ

3．挨　拶

4．言葉づかい

5．仕事のマナー

6．積極性

7．責任感

B　面接などによる情報収集

コミュニケーション

1．挨拶をする。

2．自己紹介をする。

3．患者の安楽に配慮する。

4．環境に配慮する。

5．プライバシーの保護に留意する。

6．eye contact に努める。

7．面接・問診のための時間の90％は患者が話す。

8．患者の理解しやすい言葉を用いる。

9．open-ended question を多用する。

10．コミュニケーションを促進する技法を積極的に用いる。

C　診察による情報収集

診察技術のチェックリスト

1．環境に配慮する。

2．プライバシーの保護に留意する。

3．患者の安楽に配慮する。

4．診察に適切な体位を保持する。

5．患者に説明してから次の診察行動に移る。

6．正しい方法で診察を行う。

7．診察器具を正しく用いる。

基本的診察チェック法　（実施または該当欄に○をつける）

項　目	実　施	見　学	月／日
体温測定			
血圧測定			
眼底検査			
耳　鏡			
鼻　鏡			
喉頭鏡			
舌圧子			
肛門鏡			
直腸指診			

D　検査・処置・手術などの手技

基本的検査チェック表　（実施または該当欄に○をつける）

項　目	実　施	見　学	月／日
検　尿			
検　便			
検　痰			
検　血（血球算定）			
白血球分類（ギムザ染色）			
血液型判定			
クロスマッチ			
赤　沈			
心電図			
超音波検査			

操作の基本手技

項　目	実　施	見　学	月／日
採　血			
導　尿			
経鼻カテーテル			
消　毒			
手洗い			
ガウンテクニック			
気道確保			
人工呼吸			
心マッサージ			
注射法			
穿刺（胸腔，腹腔）法			
腰椎穿刺			
止血法			
創傷処置			
静脈確保			
固定，テーピング			
処方箋作成			
食事伝票作成			
診断書作成			

E　診察記録（問題解決過程を含む。）

治療計画

1．診断と治療が合致している。

2．治療を実施することによって得られる効果と患者固有の診療目標とにくい違いがない。

3．患者の quality of life に配慮されている。

4．経済効率に十分配慮している。

F　症例提示のチェック

(1)　病歴記載事項

1．氏名，年齢，性別，職業

2．主　訴

3．現病歴

4．既往歴

5．家族歴

6．現　症

7．検査所見

8．診　断

9．鑑別診断

10．予想される合併症

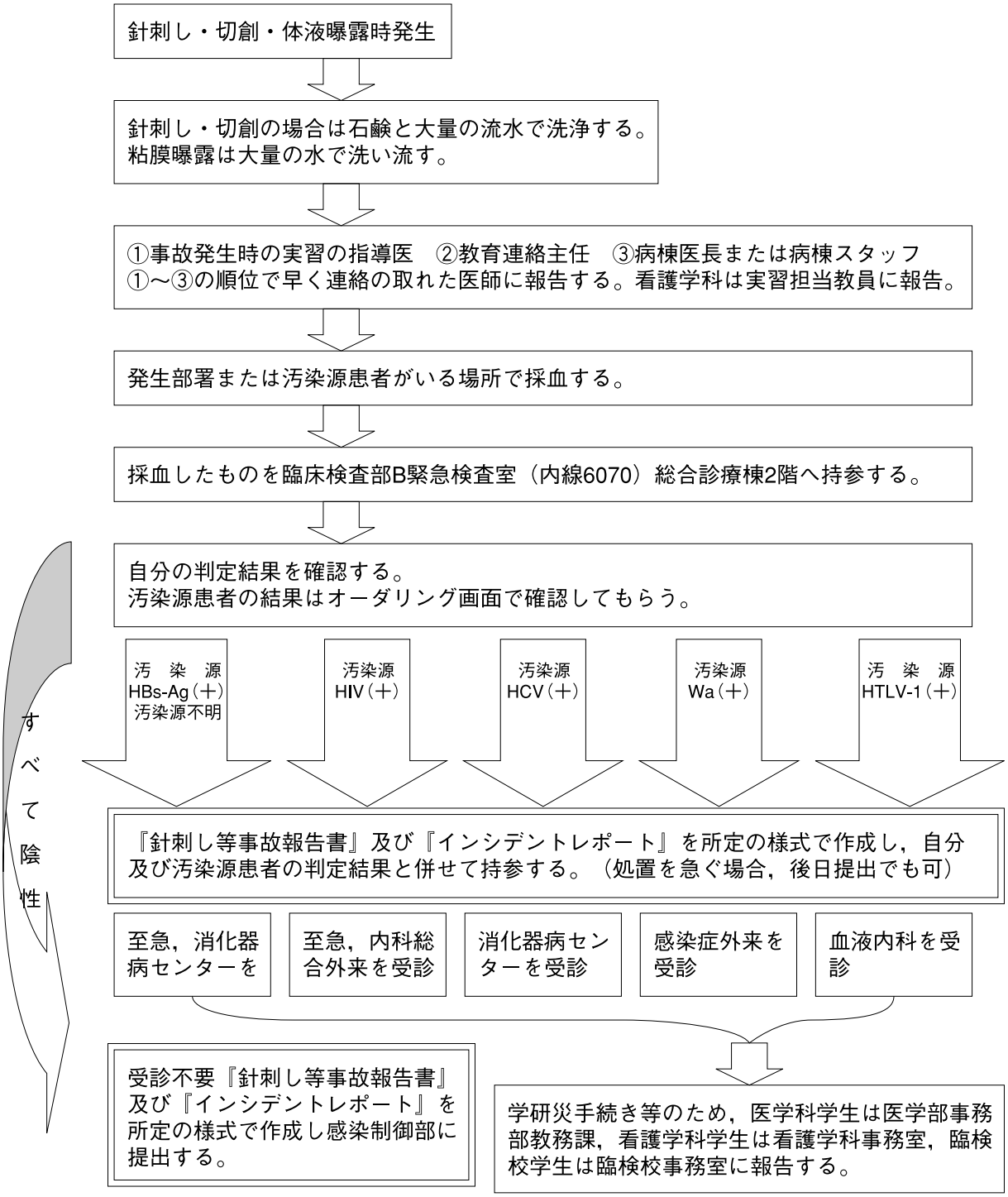
11．要　約

(2)　準備を十分に行う。

(3)　よく分かるように話す。

(4)　決められた時間を守る。

学生の針刺し・切創・体液曝露時対応マニュアル(簡易版)



履　修　系　統　図

履修系統図

2022年度入学生から実施【改訂版】

よき医師として医道を究めるための基礎を形成する。	人体と生命について深く理解する。	人の心と体の疾病と治療について深く理解する。	患者中心の視点と医師の社会的役割を理解し身につける。	診療技能とコミュニケーション能力を身につけ臨床実習で実践する。	臨床推論技法を活用し、臨床医としての基本を固める。

	1年次		2年次	3年次	4年次		5年次	6年次
選択必修科目	教養と科学 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	専門科目	教養と科学 Practical Clinical English M2 基礎医学系 神経科学 人体機能生理学 発生学 臨床解剖学 系統解剖学実習 医化学 細菌学 ウイルス学 寄生虫学 免疫学 薬理学Ⅰ 薬理学Ⅱ 病理学Ⅰ 社会医学・行動科学系 医療概説 法医学 施設体験学習Ⅱ 臨床医学系 基礎放射線医学 臨床検査医学	教養と科学 Practical Clinical English M3 RMCP(Research Mind Cultivation Program) 基礎医学系 病理学Ⅱ 社会医学・行動科学系 社会と医学・医療(公衆衛生学) 行動科学Ⅰ 医療倫理学 医療安全 臨床医学系 循環器内科 呼吸器内科 消化器内科 腎臓内科 神経内科 内分泌代謝内科 血液内科 感染症学 膠原病内科(免疫アレルギー) 小児科 精神神経科 産婦人科 麻酔科 救急医学 泌尿器科 心臓・血管外科 呼吸器・乳腺外科 消化器外科 小児外科 脳神経外科 耳鼻咽喉科 臨床栄養学 漢方医学	教養と科学 Practical Clinical English M4 社会医学・行動科学系 社会と医学・医療(環境医学) 行動科学Ⅱ 疫学 臨床医学系 放射線医学 形成外科 口腔外科 整形外科 眼科 皮膚科 加齢・老化・死 症候と病態　診療 腫瘍学 臨床技能統括実習(講義含む) PCCE(Pre-clinical Clerkship Exercise)	クリニカル・クラークシップ	クリニカル・クラークシップ	クリニカル・クラークシップ 卒前医学総合講義
選択科目	教養と科学 文学 歴史学 社会学 法学 論理学 健康・スポーツ科学概論 文化人類学 数学 文献調査法 哲学 心理学 人文地理学 職業の倫理 いのちの倫理 英語TOEFL 基礎医学ディベート 久留米・筑後体験演習 社会心理学 スポーツカルチャーを解剖する。 観光英語 経済学概論							
必修科目	教養と科学 英語(リーディング) オーラルイングリッシュ 協同学習 医学史 アカデミックリテラシー 生命科学(物理) 生命科学(化学) 生命科学(生物) 自然科学実習(物理) 自然科学実習(化学) 自然科学実習(生物) 基礎医学系 細胞機能生理学 人体の構築Ⅰ(骨学実習を含む) 組織学実習 社会医学・行動科学系 医療プロフェッショナリズム 地域医療学 医学心理学 医学統計学(基礎) 医学統計学(応用) 医学入門実習 施設体験学習Ⅰ							

※一部改正の可能性があります。

履修系統図

2018年度入学生から実施

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次
よき医師として医道を究めるための基礎を形成する。	人体と生命について深く理解する。	人の心と体の疾病と治療について深く理解する。	患者中心の視点と医師の社会的役割を理解し身につける。	診療技能とコミュニケーション能力を身につけ臨床実習で実践する。	臨床推論技法を活用し，臨床医としての基本を固める。

1年次

選択必修科目
- ドイツ語
- フランス語
- 中国語
- 韓国語

選択科目
- 文学
- 歴史学
- 社会学
- 法学
- 論理学
- 健康・スポーツ科学概論
- 文化人類学
- 数学
- 文献調査法
- 哲学
- 心理学
- 人文地理学
- 職業の倫理
- いのちの倫理
- 英語TOEFL
- 基礎医学ディベート
- 久留米・筑後体験演習
- 社会心理学
- スポーツカルチャーを解剖する。
- 観光英語
- 経済学概論

必修科目
- 人間関係論
- 行動科学Ⅰ（医療倫理学・地域医療学）
- 医学史
- 行動科学Ⅰ（アカデミックリテラシー）
- 医学統計学（基礎）
- 医学心理学
- 医学統計学（応用）
- 基礎遺伝学
- 分子生物学
- 生命基礎物理学
- 生命基礎化学
- 基礎生物学
- 自然科学実習（物理）
- 自然科学実習（化学）
- 自然科学実習（生物）
- 人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む）
- 組織学実習
- 協同学習
- 医学入門実習
- 施設体験学習Ⅰ
- 英語（リーディング）
- オーラルイングリッシュ

2年次

専門科目

必修科目
- Practical Clinical English M2
- 基礎医学系
  - 人体の構築Ⅱ（神経解剖）
  - 生理学Ⅰ
  - 生理学Ⅱ
  - 発生学
  - 臨床解剖学
  - 系統解剖学実習
  - 医化学
  - 細菌学
  - ウイルス学
  - 寄生虫学
  - 免疫学
  - 薬理学Ⅰ
  - 病理学Ⅰ
  - 基礎放射線医学
- 社会行動医学系
  - 行動科学Ⅱ
  - 法医学
- 施設体験学習Ⅱ

3年次

- Practical Clinical English M3
- 基礎医学系
  - 薬理学Ⅱ
  - 病理学Ⅱ
  - 臨床検査医学
- 社会行動医学系
  - 行動科学Ⅲ
  - 臨床栄養学
  - 医療安全
  - 漢方医学
- 臨床医学系
  - 循環器内科
  - 呼吸器内科
  - 消化器内科
  - 腎臓内科
  - 神経内科
  - 内分泌代謝内科
  - 血液内科
  - 感染症学
  - 膠原病内科（免疫アレルギー）
  - 小児科
  - 精神神経科
  - 放射線医学
  - 産婦人科
  - 麻酔科
  - 救急医学
  - 泌尿器科
  - 心臓・血管外科
  - 呼吸器・乳腺外科
  - 消化器外科
  - 小児外科
  - 脳神経外科
  - 耳鼻咽喉科
  - 形成外科
  - 口腔外科

RMCP（Research Mind Cultivation Program）

4年次

- Practical Clinical English M4
- 社会行動医学系
  - 社会と医学・医療（環境医学）
  - 社会と医学・医療（公衆衛生学）
  - 行動科学Ⅳ
- 臨床医学系
  - 整形外科
  - 眼科
  - 皮膚科
- 統合医療系
  - 加齢・老化・死
  - 症候と病態　診療
  - 腫瘍学
- 臨床実習系
  - 臨床技能統括実習（講義含む）

PCCE（Pre-clinical Clerkship Exercise）

5年次

臨床実習系

クリニカル・クラークシップ

6年次

クリニカル・クラークシップ

卒前医学総合講義

ナンバリング一覧

久留米大学医学部医学科ナンバリング一覧

学年	授業科目	ナンバリング	教員(※1)
1	基礎医学ディベート	SBM1101MMa	
1	ドイツ語	FLE1311MMb	
1	フランス語	FLE1321MMb	
1	中国語	FLE1331MMb	
1	韓国語	FLE1341MMb	
1	英語（リーディング）	FLE1351MMb	
1	オーラルイングリッシュ	FLE1361MMb	
1	協同学習	SBM1281MMa	
1	医学史	SBM1103MMa	
1	アカデミックリテラシー	SBM1215MMa	
1	生命科学（物理）	BMS1112MMa	
1	生命科学（化学）	BMS1113MMa	
1	生命科学（生物）	BMS1115MMa	
1	自然科学実習（物理）	PHS1411MMa	
1	自然科学実習（化学）	CHM1411MMa	
1	自然科学実習（生物）	BIO1411MMa	
1	細胞機能生理学	BMS1123MMa	
1	人体の構築Ⅰ（骨学実習を含む）	BMS1122MMa	
1	組織学実習	BMS1423MMa	
1	人間関係論	SBM1102MMa	
1	地域医療学	SBM1114MMa	
1	医学心理学	SBM1104MMa	
1	医学統計学（基礎）	STS1111MMa	
1	医学統計学（応用）	STS2212MMa	
1	医学入門実習	CCS1411MMa	○
1	施設体験学習Ⅰ	CCS1412MMa	○
2	Practical Clinical English M2	FLE2371MMb	
2	神経科学	BMS2138MMs	
2	人体機能生理学	BMS2139MMs	
2	発生学	BMS2134MMs	
2	臨床解剖学	BMS2135MMs	
2	系統解剖学実習	BMS2436MMs	
2	医化学	BMS2137MMs	
2	細菌学	BMS2141MMs	
2	ウイルス学	BMS2142MMs	
2	寄生虫学	BMS2143MMs	
2	免疫学	BMS2144MMs	
2	薬理学Ⅰ	BMS2145MMs	
2	薬理学Ⅱ	BMS3147MMs	
2	病理学Ⅰ	BMS2151MMs	
2	医療概説	SBM2111MMs	
2	法医学	SBM3141MMs	
2	施設体験学習Ⅱ	CCS2413MMs	○
2	基礎放射線医学	BMS3146MMs	
2	臨床検査医学	BMS3153MMs	

（備考）　選択科目（一般教養）は記載していません。
※基礎医学ディベートは記載。

学年	授業科目	ナンバリング	教員(※1)
3	Practical Clinical English M3	FLE3372MMb	
3	RMCP(Research Mind Cultivation Program)	SBM3491MMt	
3	病理学Ⅱ	BMS3452MMt	
3	社会と医学・医療（公衆衛生学）	SBM3231MMt	
3	行動科学Ⅰ	SBM3114MMt	
3	医療倫理学	SBM3112MMt	
3	医療安全	SBM3171MMt	
3	循環器内科	CLM3111MMt	
3	呼吸器内科	CLM3112MMt	
3	消化器内科	CLM3113MMt	
3	腎臓内科	CLM3114MMt	
3	神経内科	CLM3115MMt	
3	内分泌代謝内科	CLM3116MMt	
3	血液内科	CLM3117MMt	
3	感染症学	CLM3121MMt	
3	膠原病内科（免疫アレルギー）	CLM3118MMt	
3	小児科	CLM3119MMt	
3	精神神経科	CLM3152MMt	
3	産婦人科	CLM3131MMt	
3	麻酔科	CLM3132MMt	
3	救急医学	CLM3133MMt	
3	泌尿器科	CLM3134MMt	
3	心臓・血管外科	CLM3135MMt	
3	呼吸器・乳腺外科	CLM3136MMt	
3	消化器外科	CLM3137MMt	
3	小児外科	CLM3138MMt	
3	脳神経外科	CLM3153MMt	
3	耳鼻咽喉科	CLM3154MMt	
3	臨床栄養学	SBM3151MMt	
3	漢方医学	SBM3161MMt	
4	Practical Clinical English M4	FLE3373MMb	
4	社会と医学・医療（環境医学）	SBM3121MMu	
4	行動科学Ⅱ	SBM3113MMu	
4	疫学	SBM3115MMu	
4	整形外科	CLM3151MMu	
4	眼科	CLM3155MMu	
4	皮膚科	CLM3156MMu	
4	放射線医学	CLM3157MMu	
4	形成外科	CLM3158MMu	
4	口腔外科	CLM3159MMu	
4	加齢・老化・死	ITM3131MMu	
4	症候と病態　診療	ITM3111MMu	
4	腫瘍学	ITM3121MMu	
4	臨床技能統括実習（講義含む）	ITM3151MMu	
4	PCCE(Pre-clinical Clarkship Exercise)	ITM3141MMu	
6	自主学習	CCS4489MMw	
6	卒前医学総合講義	ITM3161MMw	

久留米大学医学部医学科ナンバリング一覧

（クリニカル・クラークシップ）

学年	授業科目	ナンバリング	教員（※1）
4~5	心臓・血管内科	CCS4421MMw	○
4~5	心臓・血管外科	CCS4422MMw	○
4~5	呼吸器内科	CCS4423MMw	○
4~5	呼吸器外科／乳腺外科	CCS4424MMw	○
4~5	消化器内科	CCS4425MMw	○
4~5	消化管外科	CCS4426MMw	○
4~5	肝胆膵外科	CCS4450MMw	○
4~5	麻酔科	CCS4427MMw	○
4~5	救命救急センター	CCS4428MMw	○
4~5	腎臓内科	CCS4429MMw	○
4~5	泌尿器科	CCS4430MMw	○
4~5	内分泌代謝内科	CCS4431MMw	○
4~5	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	CCS4432MMw	○
4~5	眼科	CCS4433MMw	○
4~5	脳神経内科／膠原病内科	CCS4434MMw	○
4~5	脳神経外科	CCS4435MMw	○
4~5	整形外科	CCS4436MMw	○
4~5	血液・腫瘍内科	CCS4437MMw	○
4~5	医療安全／感染制御科	CCS4451MMw	○
4~5	皮膚科／形成外科・顎顔面外科	CCS4438MMw	○
4~5	病理学	CCS4445MMw	○
4~5	放射線科	CCS4444MMw	○
4~5	産婦人科	CCS4439MMw	○
4~5	小児科／小児外科	CCS4441MMw	○
4~5	精神神経科	CCS4443MMw	○
4~5	医療センター　総合診療科	CCS4446MMw	○
6	呼吸器内科	CCS4457MMw	○
6	脳神経内科	CCS4447MMw	○
6	膠原病内科	CCS4448MMw	○
6	消化器内科	CCS4458MMw	○
6	心臓・血管内科	CCS4459MMw	○
6	内分泌代謝内科	CCS4460MMw	○
6	腎臓内科	CCS4461MMw	○
6	血液・腫瘍内科	CCS4462MMw	○
6	心臓・血管外科	CCS4466MMw	○
6	呼吸器外科	CCS4449MMw	○
6	乳腺外科	CCS4498MMw	○
6	消化器外科	CCS4465MMw	○
6	脳神経外科	CCS4469MMw	○
6	小児外科	CCS4468MMw	○
6	麻酔科	CCS4464MMw	○
6	救命救急センター	CCS4463MMw	○
6	泌尿器科	CCS4477MMw	○
6	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	CCS4476MMw	○
6	眼科	CCS4479MMw	○
6	整形外科	CCS4474MMw	○
6	感染制御科	CCS4499MMw	○
6	皮膚科	CCS4478MMw	○
6	形成外科・顎顔面外科	CCS4475MMw	○
6	産科	CCS4440MMw	○
6	婦人科	CCS4471MMw	○
6	小児科	CCS4470MMw	○
6	精神神経科	CCS4472MMw	○
6	放射線科	CCS4473MMw	○
6	医療センター　総合診療科	CCS4456MMw	○
6	聖マリア病院	CCS4481MMw	○
6	久留米総合病院	CCS4482MMw	○
6	公立八女総合病院	CCS4484MMw	○
6	筑後市立病院	CCS4485MMw	○
6	大牟田市立病院	CCS4486MMw	○
6	朝倉医師会病院	CCS4487MMw	○
6	柳川病院	CCS4488MMw	○
6	済生会日田病院	CCS4491MMw	○
6	社会保険田川病院	CCS4492MMw	○
6	宗像水光会総合病院	CCS4493MMw	○
6	熊本セントラル	CCS4494MMw	○
6	福岡記念病院	CCS4495MMw	○
6	済生会二日市病院	CCS4496MMw	○
6	新古賀病院	CCS4497MMw	○
6	戸畑共立病院	CCS4490MMw	○
6	済生会大牟田病院	CCS4489MMw	○
6	LIC（長期統合型臨床実習）	CCS4483MMw	○

※1　実務経験のある教員による授業科目

ナンバリングコード内訳

形式	内容
アルファベット3文字	学問分野の区分
数字1桁	学修レベル
数字1桁	授業形態
数字1桁	学問分野小分野
数字1桁	科目部門
アルファベット2文字	開設部門
英数字1桁	卒業要件類別

実務経験のある教員等による授業科目（医学部医学科）

学年	授業科目	授業の方法	授業時間数	単位数（換算後）	主な実習先
1	施設体験学習Ⅰ	実習		2.5	久留米市周辺の介護老人保健施設及びデイサービス施設など
1	医学入門実習	実習		1	久留米大学病院，久留米大学医療センター等
2	施設体験学習Ⅱ	実習	66:40:00	2	学外の緩和ケア・ホスピス・リハビリテーションを持つ地域病院や診療所，在宅医療施設，さらに消防署や社会福祉施設等
4・5	クリニカル・クラークシップ	実習	2100:00:00	90	久留米大学病院
6	クリニカル・クラークシップ	実習	490:00:00	21	久留米大学病院および学外病院（聖マリア病院，JCHO 久留米総合病院，公立八女総合病院など）
合計				116.5	

オフィスアワー

令和８年度オフィスアワーについて

オフィスアワーとは，授業科目等に関する学生の質問・相談等に応じるための時間として，先生方があらかじめ示す特定の時間帯のことであり，その時間帯であれば，学生は研究室を訪問することができるというものです。

この時間を積極的に活用し，学業や学生生活上の諸問題を解決してください。

なお，オフィスアワーに設定している時間帯であっても，診療，会議，出張などで在室できない場合がありますので，予めご承知おきください。

また，非常勤の先生については授業終了後に教室等で質問を受け付けていただく時間がオフィスアワーとなります。

氏　名	曜日	時間帯始～時間帯終	場　所	連絡先	所　属	職　名
佐藤敏信	水午前中 木金終日	10：00～17：00	北館１階佐藤特命教授室	内線5506	学長直属	教授
守屋普久子	火	13：00～17：00	基礎１号館５階病理学講座第１研究室	moriya_fukuko@kurume-u.ac.jp	学長直属	准教授
福山裕夫	水	12：30～13：30	御井学舎500号館５階研究室	fukuyama_hiroh@kurume-u.ac.jp	文学部社会福祉学科	教授
安永悟	月	12：00～13：00	御井学舎1000号館６階安永研究室	御井(代表)0942－43－4411 (内線1062)	文学部心理学科	教授
浅野良輔	金	13：10～14：40	御井学舎1000号館６階浅野研究室	asano_ryousuke@kurume-u.ac.jp	文学部心理学科	准教授
岡村尚昌				okamura_hisayoshi@kurume-u.ac.jp	文学部心理学科	教授
平井太規	月	12：20～13：20	教育１号館２階教員控室		文学部情報社会学科	准教授
崎田誠志郎	水	12：15～13：00	御井学舎本館６階2624研究室	sakita_seishirou@kurume-u.ac.jp	文学部国際文化学科	准教授
藤本晃嗣	水	12：15～13：10	御井本館藤本研究室	授業終了後に質問を受け付ける。また，随時質問をメールで受け付ける。 fujimoto_akitsugu@kurume-u.ac.jp	文学部国際文化学科	講師
薗田史	月	授業終了後	教育１号館1611教室	sonoda_fumi@kurume-u.ac.jp	法学部法律学科	准教授
副島崇	金	12：30～13：00	御井学舎本館６階2653室		人間健康学部スポーツ医科学科	教授
右田孝志	月	10：00～11：00	御井学舎研究棟2651	migita_takashi@kurume-u.ac.jp	人間健康学部スポーツ医科学科	教授
榎本美佳	木	15：00～16：00	臨床研究棟９階内科学（心臓・血管内科部門）講座医局	内線3746	人間健康学部スポーツ医科学科	教授
大橋充典	月	11：00～12：10	御井学舎本館６階2656室	ohhashi_mitsunori@kurume-u.ac.jp	人間健康学部スポーツ医科学科	准教授
奥野真由	水	12：30～13：00	御井学舎本館６階2654研究室	okuno_mayu@kurume-u.ac.jp	人間健康学部スポーツ医科学科	講師
李偉	月	13：10～14：40	御井学舎800号館６階研究室	御井(代表)0942－43－4411 (内線8065)	外国語教育研究所	教授
李熙卿	火	13：10～14：40	御井学舎800号館５階研究室	御井(代表)0942－43－4411 (内線8053)	外国語教育研究所	教授
Kathleen Brown	火	授業終了後		brown@std.mii.kurume-u.ac.jp	外国語教育研究所	教授
梶浦直子				t226kajiuran@std.mii.kurume-u.ac.jp	外国語教育研究所	准教授
小澤南海	金	13：10～14：40	御井学舎800号館５階研究室	ozawa_minami@kurume-u.ac.jp	外国語教育研究所	講師
佐藤貴弘	月	16：00～17：00	基礎３号館分子生命科学研究所遺伝情報研究部門	直通0942－37－6313 内線8201	分子生命科学研究所（遺伝情報研究部門）	教授
佐野浩子	金	16：00～17：00	基礎３号館分子生命科学研究所遺伝情報研究部門	直通0942－37－6313 内線8201	分子生命科学研究所（遺伝情報研究部門）	准教授
椎村祐樹	水	16：00～17：00	基礎３号館分子生命科学研究所遺伝情報研究部門	直通0942－37－6313 内線8201	分子生命科学研究所（遺伝情報研究部門）	講師
齋藤成昭	月	13：00～14：00	基礎３号館分子生命科学研究所細胞工学研究部門	直通0942－37－6317 内線8220	分子生命科学研究所（細胞工学部門）	教授
豊田雄介	火	13：00～14：00	基礎３号館分子生命科学研究所細胞工学研究部門	直通0942－37－6317 内線8221	分子生命科学研究所（細胞工学部門）	講師
石川健	水	13：00～14：00	基礎３号館分子生命科学研究所細胞工学研究部門	直通0942－37－6317 内線8221	分子生命科学研究所（細胞工学部門）	講師
大沼雅明	月	16：00～17：00	基礎２号館３階生物学教室	mohnuma@med.kurume-u.ac.jp	生物学	准教授
森部弘樹	月	16：00～17：00	基礎２号館３階生物学教室	himoribe@med.kurume-u.ac.jp	生物学	講師
高橋知子	月	16：00～17：00	基礎２号館３階生物学教室	tomoko_t@med.kurume-u.ac.jp	生物学	助教
東元祐一郎	月	16：00～17：00	基礎２号館３階化学教室セミナー室	内線3326	化学	教授
本田健	金	16：00～17：00	基礎２号館３階化学教室	内線3327	化学	准教授
長澤真樹子	金	15：30～16：30	基礎２号館３階物理学教室	内線3348	物理学	教授
花山秀和	火	16：00～17：00	基礎２号館３階物理学教室	内線3348	物理学	准教授

氏　名	曜日	時間帯始～時間帯終	場　所	連絡先	所　属	職　名
渡部功一	月・水	8：00～8：30	基礎1号館4階解剖学（肉眼・臨床解剖部門）講座教授室	直通0942－31－7540 内線3138	解剖学（肉眼・臨床解剖部門）	教授
田平陽子	水	17：30～18：30	基礎1号館4階解剖学（肉眼・臨床解剖部門）講座スタッフ室	直通0942－31－7540 内線3138	解剖学（肉眼・臨床解剖部門）	講師
中村悠	月・金	12：00～13：00	基礎1号館4階解剖学（肉眼・臨床解剖部門）講座スタッフ室	直通0942－31－7540 内線3140	解剖学（肉眼・臨床解剖部門）	助教
嶋雄一	月～金	17：30～18：30	基礎1号館4階解剖学（顕微解剖・生体形成部門）講座	事前に連絡をおねがいします。内線3150 yshima@kurume-u.ac.jp	解剖学(顕微解剖・生体形成部門)	教授
井上実紀	月～金	17：30～18：30	基礎1号館4階解剖学（顕微解剖・生体形成部門）講座	事前に連絡をおねがいします。内線3150 inoue_miki@kurume-u.ac.jp	解剖学(顕微解剖・生体形成部門)	助教
嶋香奈子	月～金	17：00～18：00	基礎1号館4階解剖学（顕微解剖・生体形成部門）講座	事前に連絡をおねがいします。内線3150 shima_kanako@kurume-u.ac.jp	解剖学(顕微解剖・生体形成部門)	助教
高橋史也	月～金	17：30～18：30	基礎1号館4階解剖学（顕微解剖・生体形成部門）講座	事前に連絡をおねがいします。内線3150 takahashi_fumiya@kurume-u.ac.jp	解剖学(顕微解剖・生体形成部門)	助教
吉田史章	木	12：30～13：30	基礎2号館7階生理学（脳・神経機能部門）講座図書室	内線3448	生理学（脳・神経機能部門）	教授
村井恵良	木	12：30～13：30	基礎2号館7階生理学（脳・神経機能部門）講座図書室	内線3448	生理学（脳・神経機能部門）	准教授
菊池清志	木	12：30～13：30	基礎2号館7階生理学（脳・神経機能部門）講座図書室	内線3448	生理学（脳・神経機能部門）	准教授
中島則行	月	12：00～13：00	基礎2号館7階生理学(統合自律機能部門)講座	事前連絡が必要 内線3464 p2print@kurume-u.ac.jp	生理学（統合自律機能部門）	教授
中島明子	月	12：00～13：00	基礎2号館7階生理学(統合自律機能部門)講座	事前連絡が必要 内線3464 p2print@kurume-u.ac.jp	生理学（統合自律機能部門）	助教
山本健	火	12：00～14：00	基礎2号館6階医化学講座教授室	内線3415	医化学	教授
佐藤秀明	金	16：00～17：00	基礎2号館6階医化学講座	内線3417	医化学	准教授
杉島正一	金	17：00～18：00	基礎2号館6階医化学講座	内線3417	医化学	准教授
原田二朗	火	10：00～11：00	基礎2号館6階医化学講座図書室	内線3422	医化学	講師
塚口舞	水	10：00～11：00	基礎2号館6階医化学講座	内線3422	医化学	助教
河原幸江	木・金	16：00～17：00	基礎2号館6階薬理学講座図書室	内線3434	薬理学	准教授
首藤隆秀	木	16：00～17：00	基礎2号館6階薬理学講座図書室	内線3434	薬理学	准教授
黒岩真帆美	水	16：00～17：00	基礎2号館6階薬理学講座図書室	内線3434	薬理学	講師
大西克典	水	16：00～17：00	基礎2号館6階薬理学講座第1研究室	内線3434	薬理学	助教
中村祐樹	木	16：00～17：00	基礎2号館6階薬理学講座図書室	内線3434	薬理学	助教
秋葉純	火	15：00～17：00	基礎1号館5階病理学講座教授室	直通0942－31－7546 内線3167	病理学	教授
三好寛明	火	13：00～14：00	基礎1号館5階病理学講座教授室	直通0942－31－7547 内線3181	病理学	教授
草野弘宣	水	16：00～17：00	北館3階病理診断科・病理部部長室	kusano_hironori@kurume-u.ac.jp	病理診断科・病理部／病理学	准教授
近藤礼一郎	火	16：00～17：00	基礎1号館5階病理学講座講師室	kondou_reiichirou@kurume-u.ac.jp	病理学	講師
中山正道	火	16：00～17：00	基礎1号館5階病理学講座第1研究室	nakayama_masamichi@med.kurume-u.ac.jp	病理学	講師
古田拓也	火	14：00～15：00	基礎1号館5階病理学講座第8研究室	直通0942－31－7547 内線3181	病理診断科・病理部／病理学	講師
谷川雅彦	水	13：00～14：00	基礎1号館5階病理学講座第1研究室	tanigawa_masahiko@kurume-u.ac.jp	病理学	助教
水落伸治	木	16：00～17：00	基礎1号館5階病理学講座第1研究室	mizuochi_shinji@kurume-u.ac.jp	病理学	助教
塩賀太郎	木	16：00～17：00	基礎1号館5階病理学講座第1研究室	shioga_tarou@kurume-u.ac.jp	病理学	助教
山田恭平	火	15：00～16：00	基礎1号館5階病理学講座第2研究室	直通0942－31－7547 内線3181	病理学	助教
森坪麻友子	火	14：00～15：00	基礎1号館5階病理学講座第8研究室	直通0942－31－7547 内線3181	病理学	助教
光山佳菜子	月	15：00～16：00	基礎1号館5階病理学講座第2研究室	直通0942－31－7547 内線3181	病理学	助教
髙橋孝一朗	水	14：00～15：00	基礎1号館5階病理学講座第1研究室	直通0942－31－7546 内線3167	病理学	助教
小椋義俊	月～金	16：00～18：00	基礎1号館6階感染医学（基礎感染医学部門）教授室	y_ogura@med.kurume-u.ac.jp	感染医学（基礎感染医学部門）	教授
山本武司	月～金	15：00～17：00	基礎1号館6階感染医学（基礎感染医学部門）スタッフ室（1）	t_yamamoto@med.kurume-u.ac.jp	感染医学（基礎感染医学部門）	講師
奥野未来	月～木	16：00～18：00	基礎1号館6階感染医学（基礎感染医学部門）スタッフ室（1）	okuno_miki@med.kurume-u.ac.jp	感染医学（基礎感染医学部門）	講師

氏　名	曜日	時間帯始～時間帯終	場　所	連絡先	所　属	職　名
原　好勇	火	16：00～17：00	基礎1号館6階感染制御学講座医局	直通0942－31－7549	感染制御学	准教授
後藤憲志	水	15：00～16：00	基礎1号館6階感染制御学講座医局	直通0942－31－7549	感染制御学	講師
岩橋　潤	金	16：00～17：00	基礎1号館6階感染制御学講座スタッフ室1	直通0942－31－7549	感染制御学	講師
井上雅広	水	17：00～18：00	基礎1号館7階感染医学（真核微生物学部門）講座図書室	内線3229	感染医学（真核微生物学部門）	教授
栗原悠介	水	17：00～18：00	基礎1号館7階感染医学（真核微生物学部門）講座図書室	内線3229	感染医学（真核微生物学部門）	准教授
溝口充志	月	16：00～17：00	基礎1号館7階免疫学講座医局	内線3241	免疫学	教授
溝口恵美子	木	16：00～17：00	基礎1号館7階免疫学講座	内線3241	免疫学	教授
仁平寛士	木	16：00～17：00	基礎1号館7階免疫学講座	内線3241	免疫学	講師
岡田季之	水	16：00～17：00	基礎1号館7階免疫学講座	内線3241	免疫学	助教
森松嘉孝	火	16：00～17：00	基礎2号館5階環境医学講座図書室	内線3386 yoshitaka_morimatsu@med.kurume-u.ac.jp	環境医学	准教授
森　美穂子	火	16：00～17：00	基礎2号館5階環境医学講座図書室	内線3386 mkano@med.kurume-u.ac.jp	環境医学	講師
増田　宏	火	16：00～17：00	基礎2号館5階環境医学講座図書室	内線3386 bdxmsdb@kurume-u.ac.jp	環境医学	助教
谷原真一	水	13：00～14：00	基礎2号館5階公衆衛生学講座図書室	内線3400	公衆衛生学	教授
中尾元幸	火	16：30～17：30	基礎2号館5階公衆衛生学講座図書室	内線3400	公衆衛生学	准教授
山内圭子	火	16：30～17：30	基礎2号館5階公衆衛生学講座図書室	内線3400	公衆衛生学	講師
桑木光太郎	月	16：30～17：30	基礎2号館5階公衆衛生学講座図書室	内線3400	公衆衛生学	助教
副島美貴子	月～金	16：00～17：00	基礎1号館3階法医学講座第1研究室	内線3125	法医学	准教授
太田啓介	火	17：00～18：00	基礎1号館4階先端イメージング研究センター	内線3854 kohta@med.kurume-u.ac.jp	先端イメージング研究センター	教授
渡邊順子	金	16：00～17：00	臨床研究棟6階小児科学講座医局	york@med.kurume-u.ac.jp	質量分析医学応用研究施設	教授
久志野彰寛	金	16：00～17：00	放射性同位元素施設1階教員室	0942－31－7584	RI施設	講師
柏木孝仁	水	16：00～17：00	教育1号館6階医学教育研究センター	内線3068	医学教育研究センター	教授
山田　圭	月	16：00～17：00	教育1号館6階医学教育研究センター	内線3068	医学教育研究センター	教授
小松誠和	月	16：00～17：00	教育1号館6階医学教育研究センター	内線3068	医学教育研究センター	准教授
片山礼司	水	16：00～17：00	総合診療棟8階クリニカルスキル・トレーニングセンター	内線6597	医学教育研究センター	助教
星野友昭	水	12：00～13：00	臨床研究棟7階内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）講座カンファランスルーム	内線3686，3687	内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）	教授
川山智隆	月・金 火・木 水	14：00～17：00 9：00～17：00 11：00～17：00	臨床研究棟7階内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）第6研究室	内線3686，3687	内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）	教授
海江田信二郎	火・水	9：00～13：00	臨床研究棟7階内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）講座医局	内線3686，3687	内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）	准教授
東　公一	水	16：00～17：00	臨床研究棟7階内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）講座医局	内線3686，3687	内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）	准教授
立石貴久	月	16：00～17：00	臨床研究棟7階内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）講座カンファレンスルーム	内線3686，3687	内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）	准教授
時任高章	月	16：00～17：00	臨床研究棟7階内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）講座医局	内線3686，3687	内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）	講師
石井秀宣	水	16：00～17：00	臨床研究棟7階内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）講座カンファレンスルーム	内線3686，3687	内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）	講師
木下　隆	水	16：00～17：00	臨床研究棟7階内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）講座医局	内線3686，3687	内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）	講師
財前圭晃			臨床研究棟7階内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）講座医局	事前に医局へご連絡ください 内線3687	内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）	講師
德永佳尚			臨床研究棟7階内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）講座医局	事前に医局へご連絡ください 内線3687	内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）	助教
森　慎一郎			臨床研究棟7階内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）講座医局	事前に医局へご連絡ください 内線3687	内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）	助教
入江研一			臨床研究棟7階内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）講座医局	事前に医局へご連絡ください 内線3687	内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）	助教
古賀琢眞			臨床研究棟7階内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）講座医局	事前に医局へご連絡ください 内線3687	内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）	助教
原田雅也			臨床研究棟7階内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）講座医局	事前に医局へご連絡ください 内線3687	内科学（呼吸器・神経・膠原病内科部門）	助教
川口　巧	火	16：00～18：00	臨床研究棟8階内科学（消化器内科部門）講座医局	事前連絡が望ましい 内線3714	内科学（消化器内科部門）	教授
古賀浩徳	木	16：00～17：30	基礎2号館4階先端癌治療研究センター肝癌部門	事前連絡が望ましい 内線3357	内科学（消化器内科部門）	教授
黒松亮子	火	17：00～18：00	総合診療棟3階肝がんセンター	事前連絡が望ましい 内線3714	内科学（消化器内科部門）	教授

氏　名	曜日	時間帯始～時間帯終	場　所	連絡先	所　属	職　名
竹田津 英稔	金	14：00～16：00	臨床研究棟８階内科学（消化器内科部門）講座医局	事前連絡が望ましい 内線3714	内科学（消化器内科部門）	教授
中村　徹	水	15：00～17：00	基礎２号館４階先端癌治療研究センター肝癌部門スタッフ室	事前連絡が望ましい 内線3714	内科学（消化器内科部門）	准教授
新関　敬	月・木	9：00～12：00	総合診療棟３階血管造影室	事前連絡が望ましい 内線3714	内科学（消化器内科部門）	講師
吉岡 慎一郎	水	16：30～17：30	臨床研究棟８階内科学（消化器内科部門）講座医局	事前連絡が望ましい 内線3714	内科学（消化器内科部門）	講師
福永 秀平	金	16：00～17：00	消化器病センター内視鏡室	事前連絡が望ましい 内線6325（受付）	内科学（消化器内科部門）	助教
井上 博人	火	16：00～18：00	消化器病センター内視鏡室	事前連絡が望ましい 内線3714	内科学（消化器内科部門）	講師
天野 恵介	水	15：00～16：00	臨床研究棟８階内科学（消化器内科部門）講座医局	事前連絡が望ましい 内線3714	内科学（消化器内科部門）	助教
中野 聖士	月	15：00～16：00	総合診療棟３階肝がんセンター	事前連絡が望ましい 内線3714／6320（受付）	内科学（消化器内科部門）	講師
平井 真吾	水・金	16：00～17：00	消化器病センター	事前連絡が望ましい 内線3714	内科学（消化器内科部門）	助教
中根 智幸	水	16：00～17：00	消化器病センター内視鏡室	事前連絡が望ましい 内線3714	内科学（消化器内科部門）	助教
阪上 尊彦	水	16：00～17：00	消化器病センター内視鏡室	事前連絡が望ましい 内線3714	内科学（消化器内科部門）	助教
福本 義弘	火	14：00～15：00	臨床研究棟９階内科学（心臓・血管内科部門）講座教授室	内線3746	内科学（心臓・血管内科部門）	教授
安川 秀雄	火	15：00～16：00	保健管理センター長室	内線2815	内科学（心臓・血管内科部門）	教授
大江 征嗣	水	14：00～17：00	総合診療棟２階循環器病センター	内線3746	内科学（心臓・血管内科部門）	准教授
深水 亜子	木	16：00～17：00	臨床研究棟９階内科学（心臓・血管内科部門）講座医局	内線3746	内科学（心臓・血管内科部門）	准教授
加藤 倫子	水	11：00～13：00	臨床研究棟９階内科学（心臓・血管内科部門）講座医局	内線3746	内科学（心臓・血管内科部門）	准教授
佐々木 健一郎	水	16：00～17：00	医療センター医局	0942－22－6111	内科学（心臓・血管内科部門）	准教授
光武 良亮	水	15：00～16：00	臨床研究棟９階内科学（心臓・血管内科部門）講座医局	内線3746	内科学（心臓・血管内科部門）	准教授
本多 亮博	水	11：00～12：00	病院本館11階	内線3746	内科学（心臓・血管内科部門）	講師
仲吉 孝晴	月	16：00～17：00	臨床研究棟９階内科学（心臓・血管内科部門）講座医局	内線3746	内科学（心臓・血管内科部門）	講師
板家 直樹	金	13：00～14：00	臨床研究棟９階内科学（心臓・血管内科部門）講座医局	内線3746	内科学（心臓・血管内科部門）	講師
川上 将司	火	12：00～14：00	高度救命救急センターCCU	内線5374 要事前連絡	内科学（心臓・血管内科部門）	講師
山方 勇樹	水	13：00～14：00	臨床研究棟９階内科学（心臓・血管内科部門）講座医局	内線3746	内科学（心臓・血管内科部門）	講師
野村 政壽	月	16：00～17：00	臨床研究棟９階内科学（内分泌代謝内科部門）講座医局	0942－31－7563（医局電話）	内科学（内分泌代謝内科部門）	教授
蘆田 健二	月	16：00～17：00	臨床研究棟９階内科学（内分泌代謝内科部門）講座医局	0942－31－7563（医局電話）	内科学（内分泌代謝内科部門）	准教授
永山 綾子	月	16：00～17：00	臨床研究棟９階内科学（内分泌代謝内科部門）講座医局	0942－31－7563（医局電話）	内科学（内分泌代謝内科部門）	助教
蓮澤 奈央	月	16：00～17：00	臨床研究棟９階内科学（内分泌代謝内科部門）講座医局	0942－31－7563（医局電話）	内科学（内分泌代謝内科部門）	講師
出宮 睦之	月	16：00～17：00	臨床研究棟９階内科学（内分泌代謝内科部門）講座医局	0942－31－7563（医局電話）	内科学（内分泌代謝内科部門）	助教
渡邉 千加世	月	16：00～17：00	臨床研究棟９階内科学（内分泌代謝内科部門）講座医局	0942－31－7563（医局電話）	内科学（内分泌代謝内科部門）	助教
三浦 満美	月	16：00～17：00	臨床研究棟９階内科学（内分泌代謝内科部門）講座医局	0942－31－7563（医局電話）	内科学（内分泌代謝内科部門）	助教
深水　圭	火・木	13：00～14：00	病院北館４階内科学（腎臓内科部門）講座医局	内線5346	内科学（腎臓内科部門）	教授
柴田　了	月	13：30～14：30	病院北館４階内科学（腎臓内科部門）講座医局	内線5346	内科学（腎臓内科部門）	准教授
甲斐田 裕介	金	16：00～17：00	病院北館４階内科学（腎臓内科部門）講座医局	内線5346	内科学（腎臓内科部門）	准教授
田口 顕正	木	15：00～17：00	病院北館４階内科学（腎臓内科部門）講座医局	内線5346	内科学（腎臓内科部門）	講師
児玉　豪	木	14：00～17：00	病院北館４階内科学（腎臓内科部門）講座医局	内線5346	内科学（腎臓内科部門）	助教
長藤 宏司	月	16：00～17：00	病院本館東棟14階病院本館東棟14階カンファランスルーム	knagafuji@med.kurume-u.ac.jp	内科学（血液・腫瘍内科部門）	教授
毛利 文彦	火	10：00～11：00	病院本館東棟14階	mouri_fumihiko@med.kurume-u.ac.jp	内科学（血液・腫瘍内科部門）	講師
小澤 秀俊	火	16：00～17：00	病院北館５階	ozawa_hidetoshi@med.kurume-u.ac.jp	内科学（血液・腫瘍内科部門）	助教
中村 剛之	火	15：00～16：00	病院本館東棟14階	nakamura_takayuki@med.kurume-u.ac.jp	内科学（血液・腫瘍内科部門）	講師

氏　名	曜日	時間帯始～時間帯終	場　所	連絡先	所　属	職　名
山崎嘉孝	木	13：00～14：00	病院本館東棟14階	yamasaki_yoshitaka@med.kurume-u.ac.jp	内科学（血液・腫瘍内科部門）	助教
西小森隆太	月・金	10：00～17：00	臨床研究棟６階小児科学講座医局	要事前連絡 直通0942－31－7565	小児科学	教授
大園秀一	火	15：00～17：00	臨床研究棟６階小児科学講座医局	要事前連絡 直通0942－31－7565	小児科学	准教授
水落建輝	火	14：00～15：00	臨床研究棟６階小児科学講座医局	要事前連絡 直通0942－31－7565	小児科学	教授
田中征治	金	12：00～17：00	臨床研究棟６階小児科学講座医局	要事前連絡 直通0942－31－7565	小児科学	講師
寺町陽三	金	16：00～17：00	臨床研究棟６階小児科学講座医局	要予約 直通0942－31－7565	小児科学	講師
原　宗嗣	木	午後	臨床研究棟６階小児科学講座医局	要事前連絡 直通0942－31－7565	小児科学	講師
満尾美穂	水・金	14：00～16：00	臨床研究棟６階小児科学講座医局	要事前連絡 直通0942－31－7565	小児科学	助教
石井隆大	金	9：30～11：30	臨床研究棟６階小児科学講座医局	要事前連絡 直通0942－31－7565	小児科学	助教
海野聡子	火	16：00～17：00	臨床研究棟６階小児科学講座医局	要事前連絡 直通0942－31－7565	小児科学	助教
向井純平	火曜以外の平日	午後	臨床研究棟６階小児科学講座医局	要事前連絡 直通0942－31－7565	小児科学	助教
屋宮清仁	火	16：00～17：00	北２研究室	要事前連絡 直通0942－31－7565	小児科学	助教
田中悠平				屋宮清仁先生対応	小児科学	助教
小池敬義	火	16：00～17：00	臨床研究棟６階小児科学講座医局	要事前連絡 直通0942－31－7565	小児科学	助教
嶽間澤昌史	水	13：00～14：00	病院本館東棟６階病棟	要事前連絡 直通0942－31－7565	小児科学	助教
齊木玲央	木	15：00～16：00	臨床研究棟６階小児科学講座医局	要事前連絡 直通0942－31－7565 不在時はメールでアポイントをとり日時を決定し対応致します。	小児科学	助教
中村美彩	月	12：00～13：00	臨床研究棟６階小児科学講座医局	要事前連絡 直通0942－31－7565	小児科学	助教
鍵山慶之	木	13：00～14：00	病院本館東棟６階病棟	要事前連絡 直通0942－31－7565	小児科学	助教
津村直弥	月	12：00～13：00	病院本館東棟６階病棟	要事前連絡 直通0942－31－7565	小児科学	助教
田上秀一	水	16：00～17：00	病院本館西棟３階画像診断センター	事前に連絡をおねがいします。内線3790	放射線医学	教授
藤本公則	火	16：00～17：00	臨床研究棟10階放射線科医局または病院本館３階画像診断センター	事前に連絡をおねがいします。内線3790	放射線医学	教授
内山雄介	火 木 金	15：00～17：00 15：00～17：00 15：00～17：00	病院本館西棟３階画像診断センター読影室	事前に連絡をおねがいします。内線3790	放射線医学	教授
小金丸雅道	月	16：00～17：00	臨床研究棟10階放射線医学講座医局	事前に連絡をおねがいします。内線3790	放射線医学	准教授
長田周治	火	16：00～17：00	病院本館西棟３階画像診断センター	事前に連絡をおねがいします。内線3790	放射線医学	准教授
角　明子	金	15：00～16：00	病院本館西棟３階画像診断センター	事前に連絡をおねがいします。内線3790	放射線医学	講師
小曽根基裕	火	17：00～18：00	臨床研究棟10階神経精神医学講座医局	医局へ事前にお問い合わせください。 0942－31－7564　内線3777	神経精神医学	教授
本岡大道	木	12：00～14：00	総合診療棟２階精神神経科外来	医局へ事前にお問い合わせください。 0942－31－7564　内線3777	神経精神医学	教授
内野俊郎	火	14：00～16：00	臨床研究棟10階神経精神医学講座医局	医局へ事前にお問い合わせください。 0942－31－7564　内線3777	神経精神医学	教授
大江美佐里	月	11：00～12：00	臨床研究棟10階神経精神医学講座医局	医局へ事前にお問い合わせください。 0942－31－7564　内線3777	神経精神医学	准教授
安元眞吾	火	15：00～16：00	総合診療棟２階精神神経科外来	医局へ事前にお問い合わせください。 0942－31－7564　内線3777	神経精神医学	准教授

氏　名	曜日	時間帯始～時間帯終	場　所	連絡先	所　属	職　名
比江嶋 啓至	月	16：00～17：00	臨床研究棟10階神経精神医学講座医局	医局へ事前にお問い合わせください。 0942－31－7564　内線3777	神経精神医学	准教授
柳本 寛子	火	10：00～11：00	臨床研究棟10階神経精神医学講座医局	医局へ事前にお問い合わせください。 0942－31－7564　内線3777	神経精神医学	講師
中村 倫之	月	13：00～14：00	臨床研究棟10階神経精神医学講座医局	医局へ事前にお問い合わせください。 0942－31－7564　内線3777	神経精神医学	講師
千葉 比呂美	月	11：00～12：00	病院本館東７階精神神経科病棟	医局へ事前にお問い合わせください。 0942－31－7564　内線3777	神経精神医学	講師
松岡 美智子	木	12：00～13：30	病院本館３階精神科デイケアセンター	医局へ事前にお問い合わせください。 0942－31－7564　内線3777	神経精神医学	講師
石田 哲也	木	16：00～17：00	病院本館西棟２階カウンセリングセンター	医局へ事前にお問い合わせください。 0942－31－7564　内線3777	神経精神医学	助教
古賀 浩嗣	水	13：00～14：00	臨床研究棟８階皮膚科学講座医局	直通0942－31－7571	皮膚科学	教授
石井 文人	火	16：00～17：00	臨床研究棟８階皮膚科学講座医局	直通0942－31－7571	皮膚科学	准教授
嘉多山 絵理	月	16：00～17：00	病院本館西棟12階	直通0942－31－7571	皮膚科学	助教
名嘉眞 健太	月	16：00～17：00	病院本館西棟12階	直通0942－31－7571	皮膚科学	助教
加来　洋	水	15：30～16：30	臨床研究棟８階皮膚科学講座医局	直通0942－31－7571	皮膚科学	助教
田尻 真貴子	木	13：30～15：00	総合診療棟１階皮膚科外来	直通0942－31－7571	皮膚科学	助教
大園 綾花	月	15：00～16：00	総合診療棟１階皮膚科外来	直通0942－31－7571	皮膚科学	助教
光岡 正浩	火	15：00～16：00	外科医局	事前に医局へご連絡ください。内線3537	外科学	教授
唐　宇飛	水	16：00～17：00	総合診療棟乳腺外科外来	事前に医局へご連絡ください。内線3537	外科学	教授
藤田 文彦	月	14：00～15：00	外科医局	事前に医局へご連絡ください。内線3501	外科学	教授
主藤 朝也	水 木・金	AM 15：00～18：00	外科医局	事前に医局へご連絡ください。　内線3507	外科学	准教授
寺崎 泰宏	火	15：00～16：00	外科医局	事前に医局へご連絡ください。内線3537	外科学	准教授
樫原 正樹	火	15：00～16：00	外科医局	事前に医局へご連絡ください。内線3537	外科学	講師
森　直樹	水	15：00～16：00	外科医局	事前に医局へご連絡ください。内線3507	外科学	准教授
磯邉 太郎	月	15：00～16：00	外科医局	事前に医局へご連絡ください。内線3507	外科学	講師
石橋 生哉	金	16：00～17：00	外科医局	事前に医局へご連絡ください。内線3507	外科学	教授
吉田 武史	月	17：00～18：00	外科医局	事前に医局へご連絡ください。内線3507	外科学	講師
大地 貴史	月	14：00～15：00	総合診療棟消化器病センター外来	事前に医局へご連絡ください。内線3507	外科学	助教
吉田 直裕	月	13：30～14：30	外科医局	事前に医局へご連絡ください。内線3507	外科学	助教
仕垣 隆浩	月	15：00～18：00	外科医局	事前に医局へご連絡ください。内線3507	外科学	助教
田中 侑哉	月	15：00～18：00	外科医局	事前に医局へご連絡ください。内線3507	外科学	助教
横山 新太郎	月	15：00～16：00	外科医局	事前に医局へご連絡ください。内線3537	外科学	助教
最所 公平	月	18：00～19：00	外科医局	事前に医局へご連絡ください。内線3507	外科学	助教
田山 栄基	木	10：00～12：00	臨床研究棟２階外科教授室	内線3535	外科学	教授
久下　亨	金	16：00～17：00	臨床研究棟２階外科教授室	指定日以外は，事前に医局へご連絡ください。 内線3507	外科学	教授
廣松 伸一				事前に医局へご連絡ください。内線3539	外科学	教授
大塚 裕之	木	10：00～11：00	臨床研究棟２階外科医局	内線3539	外科学	准教授
髙瀬谷　徹	火	9：00～11：00	臨床研究棟２階外科医局	内線3539	外科学	准教授
酒井 久宗	木	16：00～17：00	臨床研究棟１階外科医局	内線3541	外科学	准教授

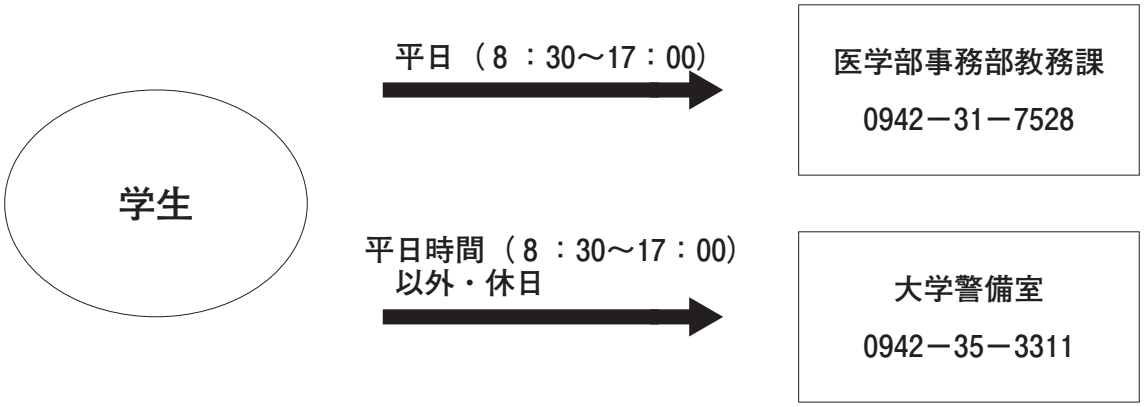
氏　名	曜日	時間帯始～時間帯終	場　所	連絡先	所　属	職　名
高木数実	木	10：00～12：00	臨床研究棟２階外科医局	内線3539	外科学	准教授
後藤祐一	木	16：00～17：00	臨床研究棟２階外科医局	事前に医局へご連絡ください。内線3541	外科学	講師
新谷悠介	火	11：00～13：00	臨床研究棟２階外科医局	事前に医局へご連絡ください。内線3539	外科学	講師
廣畑　優	月	13：00～15：00	臨床研究棟３階脳神経外科学講座医局	内線3579	脳神経外科学	教授
中村英夫	月 金	15：00～17：00 16：00～17：00	臨床研究棟３階脳神経外科学講座医局	内線3579	脳神経外科学	教授
下川尚子	火	16：00～17：00	臨床研究棟３階脳神経外科学講座医局	内線3579	脳神経外科学	講師
坂田清彦	月	9：00～12：00	臨床研究棟３階脳神経外科学講座医局	内線3579	脳神経外科学	准教授
服部剛典	月	15：00～16：00	臨床研究棟３階脳神経外科学講座医局	内線3579	脳神経外科学	講師
折戸公彦	木	17：00～18：00	臨床研究棟３階脳神経外科学講座医局	内線3579	脳神経外科学	講師
音琴哲也	月	15：00～16：00	臨床研究棟３階脳神経外科学講座医局	内線3579	脳神経外科学	助教
加治　建	月	16：00～17：00	病院北館５Ｆ外科学（小児外科）講座医局	kurume_pedsurg@med.kurume-u.ac.jp	外科学（小児外科部門）	教授
古賀義法	金	16：00～17：00	病院北館５Ｆ外科学（小児外科）講座医局	kurume_pedsurg@med.kurume-u.ac.jp	外科学（小児外科部門）	助教
升井大介	月	16：00～17：00	病院北館５Ｆ外科学（小児外科）講座医局	kurume_pedsurg@med.kurume-u.ac.jp	外科学（小児外科部門）	助教
橋詰直樹	水	11：00～12：00	病院北館５Ｆ外科学（小児外科）講座医局	kurume_pedsurg@med.kurume-u.ac.jp	外科学（小児外科部門）	講師
平岡弘二	月・火	16：00～17：00	臨床研究棟５階整形外科学講座医局	事前に医局へご連絡ください。内線3624	整形外科学	教授
佐藤公昭	月	16：00～17：00	臨床研究棟５階整形外科学講座医局	事前に医局へご連絡ください。内線3624	整形外科学	教授
濵田哲矢	月	16：00～17：00	臨床研究棟５階整形外科学講座医局	事前に医局へご連絡ください。内線3624	整形外科学	准教授
橋田竜騎	月	9：00～10：00	大学病院本館３階リハビリテーション室	事前に医局へご連絡ください。内線3624	整形外科学	講師
横須賀公章	火・金	14：00以降	臨床研究棟５階整形外科学講座医局	事前に医局へご連絡ください。内線3624	整形外科学	講師
吉田史郎	月	16：00～17：00	臨床研究棟５階整形外科学講座医局	事前に医局へご連絡ください。内線3624	整形外科学	講師
吉田茂生			臨床研究棟７階眼科教授室	直通0942－31－7574 内線3699 事前にご連絡ください。	眼科学	教授
門田　遊	月	17：00～18：00	病院本館西棟13階眼科病棟	直通0942－31－7676 内線5680 事前にご連絡ください。	眼科学	教授
春田雅俊	水	15：00～17：00	臨床研究棟７階眼科学講座医局	直通0942－31－7574 内線3699 事前にご連絡ください。	眼科学	教授
嵩　翔太郎				直通0942－31－7574 内線3699 事前にご連絡ください。	眼科学	助教
佐々木研輔				直通0942－31－7574 内線3699 事前にご連絡ください。	眼科学	助教
小嶋修生				直通0942－31－7574 内線3699 事前にご連絡ください。	眼科学	助教
坂井貴三彦				直通0942－31－7574 内線3699 事前にご連絡ください。	眼科学	助教
永江朗人				直通0942－31－7574 内線3699 事前にご連絡ください。	眼科学	助教
新井律樹				直通0942－31－7574 内線3699 事前にご連絡ください。	眼科学	助教
佐藤一徳				直通0942－31－7574 内線3699 事前にご連絡ください。	眼科学	助教
古嶋　慧				直通0942－31－7574 内線3699 事前にご連絡ください。	眼科学	助教
林　亮				直通0942－31－7574 内線3699 事前にご連絡ください。	眼科学	助教

氏　名	曜日	時間帯始～時間帯終	場　所	連絡先	所　属	職名
西原由華				直通0942－31－7574 内線3699 事前にご連絡ください。	眼科学	助教
石尾大樹				直通0942－31－7574 内線3699 事前にご連絡ください。	眼科学	助教
迫　菜央子				直通0942－31－7574 内線3699 事前にご連絡ください。	眼科学	助教
加藤喜大				直通0942－31－7574 内線3699 事前にご連絡ください。	眼科学	助教
繁永かれん				直通0942－31－7574 内線3699 事前にご連絡ください。	眼科学	助教
藤堂佑一				直通0942－31－7574 内線3699 事前にご連絡ください。	眼科学	助教
佐藤大二朗				直通0942－31－7574 内線3699 事前にご連絡ください。	眼科学	助教
福嶋宏樹				直通0942－31－7574 内線3699 事前にご連絡ください。	眼科学	助教
永吉治親				直通0942－31－7574 内線3699 事前にご連絡ください。	眼科学	助教
鶴地宏弥				直通0942－31－7574　内線3699 事前にご連絡ください。	眼科学	助教
津田尚武	月	11：00～12：00	臨床研究棟3階産婦人科学講座教授室	内線3565	産婦人科学	教授
西尾　真	木	16：00～17：00	病院本館東棟5階医師室	内線3565	産婦人科学	准教授
堀之内崇士	火	16：00～17：00	病院本館西棟5階産科病棟		産婦人科学	講師
三田尾　拡	月	15：00～16：00	病院本館東棟5階医師室	内線3565	産婦人科学	助教
横峯正人	火		臨床研究棟3階産婦人科学講座医局	事前連絡お願いします。	産婦人科学	助教
田崎和人	月		臨床研究棟3階産婦人科学講座医局	事前連絡お願いします。	産婦人科学	助教
宮原英之	火	15：00～16：00	病院本館西棟5階医師室	内線3565	産婦人科学	助教
権藤佳奈子	火	15：00～16：00	病院本館東棟5階医師室	内線3565	産婦人科学	助教
勝田隆博	水	16：00～17：00	臨床研究棟3階産婦人科学講座医局	内線3565	産婦人科学	助教
清水隆宏	水	15：00～16：00	病院本館西棟5階医師室	内線3565	産婦人科学	助教
宗　邦夫	水	15：00～16：00	病院本館西棟5階医師室	内線3565	産婦人科学	助教
井川　掌	木	16：00～17：00	臨床研究棟5階泌尿器科学講座教授室	直通0942－31－7572	泌尿器科学	教授
名切　信	月	15：00～16：00	臨床研究棟5階泌尿器科学講座医局	直通0942－31－7572	泌尿器科学	准教授
西原聖顕	水	16：00～17：00	臨床研究棟5階泌尿器科学講座講師室	直通0942－31－7572	泌尿器科学	講師
植田浩介	水	16：00～17：00	臨床研究棟5階泌尿器科学講座医局	直通0942－31－7572	泌尿器科学	講師
築井克聡	木	16：00～17：00	臨床研究棟5階泌尿器科学講座医局	直通0942－31－7572	泌尿器科学	助教
上村慶一郎	木	14：00～16：00	臨床研究棟5階泌尿器科学講座医局	直通0942－31－7572	泌尿器科学	講師
梅野博仁	水	13：00～14：30	臨床研究棟4階耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座医局	事前連絡要 内線3592	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	教授
千年俊一	月・木	17：00～18：00	臨床研究棟4階耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座医局	事前連絡要 内線3592	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	教授
小野剛治	金	17：00～18：00	臨床研究棟4階耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座医局	事前連絡要 内線3592	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	准教授
栗田　卓	水	17：00～18：00	臨床研究棟4階耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座医局・研究室	事前連絡要 内線3592	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	講師
末吉慎太郎	金	17：00～18：00	臨床研究棟4階耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座医局	事前連絡要 内線3592	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	講師
田中久一郎	月	17：00～18：00	臨床研究棟4階耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座医局	事前連絡要 内線3592	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	助教
佐藤文彦	水	17：00～18：00	臨床研究棟4階耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座医局	事前連絡要 内線3592	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	助教
佐藤公宣	水	17：00～18：00	臨床研究棟4階耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座医局	事前連絡要 内線3592	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	助教
平木照之	月	16：00～17：00	臨床研究棟4階麻酔学講座研究室	内線3610	麻酔学	教授
原　将人	水	12：30～13：30	総合診療棟4階麻酔科医控室	内線3610	麻酔学	准教授
横溝美智子	木	12：30～13：30	総合診療棟4階麻酔科医控室	内線3610	麻酔学	助教

氏　名	曜日	時間帯始～時間帯終	場　所	連絡先	所　属	職　名
中川景子	月	12：30～13：30	総合診療棟4階麻酔科医控室	内線3610	麻酔学	講師
大下健輔	月	12：30～13：30	総合診療棟4階麻酔科医控室	内線3610	麻酔学	講師
亀山直光	月	12：30～13：30	総合診療棟4階麻酔科医控室	内線3610	麻酔学	講師
太田　聡	月	12：30～13：30	総合診療棟4階麻酔科医控室	内線3610	麻酔学	助教
服部美咲	月	12：30～13：30	総合診療棟4階麻酔科医控室	内線3610	麻酔学	助教
高須　修	月	17：00～18：00	病院本館西棟1階高度救命救急センター	内線3552	救急医学	教授
山下典雄	月	17：00～18：00	病院本館西棟1階高度救命救急センター	内線3552	高度救命救急センター	教授
鍋田雅和	月	12：00～13：00	病院本館西棟1階高度救命救急センター	内線3552	救急医学	准教授
力丸英明	火	16：00～17：00	臨床研究棟1階形成外科・顎顔面外科学講座カンファランス室	内線3520	形成外科・顎顔面外科学	教授
守永圭吾	月	16：00～17：00	臨床研究棟1階形成外科・顎顔面外科学講座カンファランス室	内線3520	形成外科・顎顔面外科学	准教授
井野　康	月	16：00～17：00	臨床研究棟1階形成外科・顎顔面外科学講座カンファランス室	内線3520	形成外科・顎顔面外科学	講師
力丸由起子	火	16：00～17：00	臨床研究棟1階形成外科・顎顔面外科学講座カンファランス室	内線3520	形成外科・顎顔面外科学	講師
田中啓二郎	月	16：00～17：00	臨床研究棟1階形成外科・顎顔面外科学講座カンファランス室	内線3520	形成外科・顎顔面外科学	助教
久冨健太郎	月	16：00～17：00	臨床研究棟1階形成外科・顎顔面外科学講座カンファランス室	内線3520	形成外科・顎顔面外科学	助教
草場啓彰	月	16：00～17：00	臨床研究棟1階形成外科・顎顔面外科学講座カンファランス室	内線3520	形成外科・顎顔面外科学	助教
梅田詩乃	月	16：00～17：00	臨床研究棟1階形成外科・顎顔面外科学講座カンファランス室	内線3520	形成外科・顎顔面外科学	助教
牧　希光枝	月	16：00～17：00	臨床研究棟1階形成外科・顎顔面外科学講座カンファランス室	内線3520	形成外科・顎顔面外科学	助教
新垣　匠	火	16：00～17：00	臨床研究棟1階形成外科・顎顔面外科学講座カンファランス室	内線3520	形成外科・顎顔面外科学	助教
野田慎太郎	月	16：00～17：00	臨床研究棟1階形成外科・顎顔面外科学講座カンファランス室	内線3520	形成外科・顎顔面外科学	助教
井上侑	月	16：00～17：00	臨床研究棟1階形成外科・顎顔面外科学講座カンファランス室	内線3520	形成外科・顎顔面外科学	助教
古村美津代	木	17：00～18：00	看護学科古村研究室	内線3931	看護学科	教授
楠川仁悟	金	15：00～17：00	臨床研究棟6階歯科口腔医療センター研究室	内線3669	歯科口腔医療センター	教授
中村守厳	月・水	10：00～16：00	臨床研究棟6階歯科口腔医療センター研究室	内線3669	歯科口腔医療センター	准教授
富永正樹	月 月 水 水	9：00～12：00 13：00～17：00 10：00～12：00 13：00～17：00	基礎2号館2階地域医療連携講座医局	内線3860 tominaga_masaki@kurume-u.ac.jp	地域医療連携	教授
山田　亮	水	16：00～17：00	基礎2号館4階先端癌治療研究センター腫瘍免疫学教授室	0942－31－7744	学長直属	教授
古川恭治	金	11：00～12：00	医学部B棟7階バイオ統計センター古川教授室	内線3482	バイオ統計センター	教授
安川圭司	金	11：00～12：00	医学部B棟7階バイオ統計センター安川教授室	内線3481	バイオ統計センター	教授
大山哲司	火	14：00～15：00	医学部B棟7階バイオ統計センター大山准教授室	内線3483	バイオ統計センター	准教授
矢野望夢	火	14：00～15：00	医学部B棟7階バイオ統計センター矢野助教室	内線3490	バイオ統計センター	助教
青木浩樹	月	10：00～11：00	基礎3号館循環器病研究所	内線8800 haoki@med.kurume-u.ac.jp	循環器病研究所	教授
光武良亮	水	15：00～16：00	臨床研究棟9階内科学（心臓・血管内科部門）講座医局	内線3746	循環器病研究所	准教授
大野聡子	金	16：00～17：00	基礎3号館循環器病研究所	内線8800 要予約	循環器病研究所	講師
小路純央	水	16：00～17：00	高次脳疾患研究所医局	内線3891，PHS13130	高次脳疾患研究所	教授
高橋知之	水	16：00～17：00	高次脳疾患研究所	事前に連絡をしてください。 内線3891	高次脳疾患研究所	教授
佐藤　守	月	16：00～17：00	精神科医局	PHS13132	高次脳疾患研究所	講師
倉田精二	木・金	16：00～17：00	PETセンター	事前に連絡をお願いします。 内線3790	画像診断センター	准教授
松瀬博夫	月	13：00～15：00	病院北館3階リハビリテーションスタッフ室	内線5322	大学病院リハビリ部	教授
淡河悦代	金	16：00～17：00	放射線腫瘍センター	事前にご連絡ください。 内線5335	放射線部	教授
服部睦行	月	16：00～17：00	放射線腫瘍センター	事前にご連絡ください。 内線5335	放射線部	助教
辻　千代子	金	16：00～17：00	放射線腫瘍センター	事前にご連絡ください。 内線5335	放射線科	助教
宮田裕作	月	16：00～17：00	放射線腫瘍センター	事前にご連絡ください。 内線5335	放射線科	助教

氏　名	曜日	時間帯始～時間帯終	場　所	連絡先	所　属	職　名
内藤嘉紀	火	16：00～17：00	病院北館3階	内線5440	臨床検査部	准教授
山口真紀	水	16：00～17：00	病院北館5階	内線3545	臨床検査部	助教
田原宣広	水	15：00～16：00	臨床研究室9階内科学（心臓・血管内科部門）講座医局	内線3746	循環器病センター	教授
木下正啓	月 金	13：00～16：00 17：00～18：00	病院本館西病棟6階新生児センター	直通0942－31－7565　要事前連絡	総合周産期母子医療センター	講師
三輪啓介	月・木	16：00～17：00	病院本館東棟9階がん集学治療センター	miwa_keisuke@kurume-u.ac.jp	がん集学治療センター	准教授
酒井義朗	火	10：00～11：00	総合診療棟1階薬剤部	事前に連絡をお願いします。内線6042	薬剤部	医療技術員
堀之内瑞貴	12／10（水）	11：20～11：30	講義終了後に対応	内線5430	臨床工学センター	臨床工学技士
有永康一	木	13：00～15：00	総合診療棟7階SICU記録室		集中治療部	教授
横山晋二	火	16：00～17：00	医療安全管理部	内線5004	医療安全管理部	教授
早川晴美	水	10：00～11：00	医療安全管理部	内線5004	医療安全管理部	医療技術員
堤　一貴	水	10：00～11：00	医療安全管理部	内線5004	医療安全管理部	医療技術員
合原則隆	水	10：00～11：00	医療安全管理部	内線5004	医療安全管理部	医療技術員
田中美穂	水	10：00～11：00	医療安全管理部	内線5004	医療安全管理部	医療技術員
大津　寧	月	16：00～17：00	医療センター医局	医療センター（医局） 0942－22－6530 要事前連絡	小児科	講師
向原　圭	月	16：00～17：00	医療センター医局	医療センター（代表） 0942－22－6111 事前の予約をお願いいたします。	総合診療科	准教授
惠紙英昭	金	16：00～18：00	医療センター	医療センター（代表） 0942－22－6111 mkegamie@med.kurume-u.ac.jp	先進漢方治療センター	教授
田中聡子	金	16：00～18：00	医療センター	医療センター（代表） 0942－22－6111 tanaka_satoko@med.kurume-u.ac.jp	先進漢方治療センター	助教
武谷三恵	月・火・金	12：00～13：00	看護学科・医療検査学科2号館4階教員室	takeya@kurume-u.ac.jp 事前連絡が必要	医療検査学科	教授

医学部医学科緊急連絡網



○緊急事態（事故・傷病など）が発生した場合は，大学，その他必要な機関（警察，消防など）に連絡し，適切な行動をとってください。

○連絡時には，学年，氏名，連絡先を伝えてください。

令和８年度シラバス受領および内容確認証

私は令和８年度シラバスを受領し，以下の重要確認事項を含め，内容を確認しましたので，受領後に本確認証に署名の上，提出いたします。

併せて，久留米大学医学部医学科の学生として医学生，社会人，医療人，研究者としてのルールを遵守し，違反やシラバス記載内容に反した場合，受験失格や留年などを含めた厳正な処分が課せられる場合があることを確認いたします。

【重要確認事項】

・「履修及び試験に関する細則（医学部医学科）」（P９－P10）
・「学内・外実習時の心得」（P22）
・「定期試験・各科試験」（P23）
・「各学年進級・卒業基準」

日　　付　　＿＿＿＿年＿＿＿＿月＿＿＿＿日

学　　年　　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿年＿

学籍番号　　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

学年番号　　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名（自署）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

提　出　先：医学部事務部教務課
提出締切日：４月10日（金）17時迄